

NEC プロジェクター

**ViewLight**<sup>®</sup>  
ビューライト

**NP-PX803UL-WHJD/  
NP-PX803UL-BKJD**

# 取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために  
ご使用の前に必ずお読みください

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| 1. 添付品や名称を<br>確認する   | ● | 1 |
| 2. 映像を投写する<br>(基本操作) | ● | 2 |
| 3. 便利な機能             | ● | 3 |
| 4. マルチスクリーン<br>投写    | ● | 4 |
| 5. オンスクリーン<br>メニュー   | ● | 5 |
| 6. 機器と接続する           | ● | 6 |
| 7. 本体のお手入れ           | ● | 7 |
| 8. ユーザーサポート<br>ウェア   | ● | 8 |
| 9. 付録                | ● | 9 |

# はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピュータやブルーレイプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

- 本書で説明している機種名

NP-PX803UL-WHJD/NP-PX803UL-BKJD

- 機種名について

本機に貼付しているラベルでは、機種名を「NP-PX803UL」と表記しています。

取扱説明書では、機種名の末尾に「-WHJD」または「-BKJD」を付けて表記しています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。

その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。



## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。




# 本機を安全にお使いいただくために、ご使用前の必ずお読みください

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

## 絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

# 警告

## レーザー光線の安全に関する警告



- 本製品は、IEC 60825-1:2007 規格でクラス 3R に、IEC 60825-1 :2014 規格でクラス 1 に分類されています。  
また IEC 62471:2006 規格ではリスクグループ 2 に分類されています。
- 本書に掲載した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
- 本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。廃棄の際に、お客様自身で本機を分解しないでください。
- お子様一人で本機を操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。

## プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。  
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。  
視力障害の原因となります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 本機は日本国内専用です



決められた電源電圧以外での使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ～ 240 ボルトで使用してください。  
添付の電源コードは国内使用専用です。  
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。  
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

## 電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱いってください。  
コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - ・ コードの上に重い物をのせない
  - ・ コードをプロジェクターの下敷きにししない
  - ・ コードの上を敷物などで覆わない
  - ・ コードを傷つけない、加工しない
  - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。



# 警告

## 故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけでなく、視力障害の原因になります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

## 次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - ・ 暖房の近くや振動の多い所
  - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
  - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
  - ・ 調理台や加湿器のそば

## キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電およびレーザー光がもれる原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## 動作中にレンズをふさがない



- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
  - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
  - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 警告

### 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

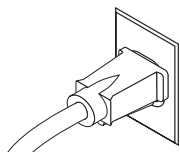
### 天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

## 注意

### 機器のアースは確実にとってください



- 本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は [34 ページ](#) をご覧ください。

### 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 通風口をふさがない



- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適切な空間をあけてください。( [12 ページ](#) )

### ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

### 電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

### 投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。

# ⚠️ 注意

## お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 本機の移動について



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。
- 本機を持ち上げる際は、2人以上で行ってください。1人で持ち上げた場合、けがや腰痛の原因となることがあります。

## 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の Ethernet/HDBaseT ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。Ethernet/HDBaseT ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

## 点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## レンズシフト動作中は指の挟み込み に注意



- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

## 冷却液には触れない



- 本体が破損した場合、内部から冷却液がもれ出る場合があります。冷却液がもれた場合はすぐに AC 電源を切り、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。もれ出た冷却液は飲んだり触れたりしないでください。万一口や目に冷却液が入ってしまった場合は、すみやかに医師に相談してください。手に触れた場合は水でよく洗い流してください。

## 電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・ 指定以外の電池は使用しない
  - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

# ⚠️ 注意

## 3D映像を視聴する際の健康に関するご注意

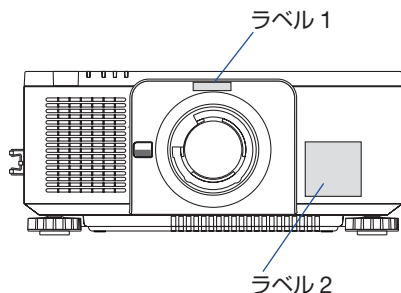


- 健康に関する注意事項は、3D映像のソフト（ブルーレイ、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および3Dメガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
  - ・3D映像を視聴する以外の目的で、3Dメガネを使用しないでください。
  - ・スクリーンから2m以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1時間視聴したら、15分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

## 光源のレーザーモジュールについて

- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
- 本製品は、IEC 60825-1:2007規格でクラス3Rに、IEC 60825-1:2014規格でクラス1に分類されています。またIEC 62471:2006規格ではリスクグループ2に分類されています。

- ・波長：450-460nm
- ・パルス幅および反復率：0.74ms、240Hz
- ・最大出力：240W



これらのレーザー製品の説明ラベルと警告ラベル、およびランプ製品の説明ラベルと警告ラベルは、プロジェクター本体の前面に貼付されています。



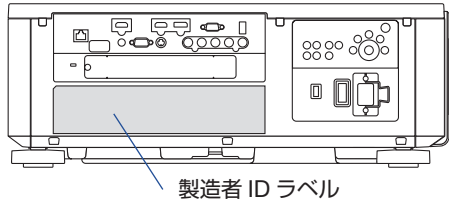
ラベル 1



ラベル 2

# ⚠ 注意

製造者 ID ラベルは、プロジェクター本体の下図の場所に貼付されています。




製造者 ID ラベル

## NP-PX803UL-WHJD

### NEC MODEL No.NP-PX803UL-WH

- イ、通風孔をふさがないでください。  
内部温度の上昇を招き故障の原因になります。
- ロ、温度の高い場所や湿度の多い場所での使用はさけてください。

定格電圧 100-240V~ 定格入力電流 9.6-4.0A 定格周波数 50/60Hz	⚠ 警告	高圧注意
 	サービスマン以外の方はトップカバーをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。	

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

表示者

NECディスプレイソリューションズ株式会社  
東京都港区三田一丁目4番28号



MADE IN CHINA

## NP-PX803UL-BKJD

### NEC MODEL No.NP-PX803UL-BK

- イ、通風孔をふさがないでください。  
内部温度の上昇を招き故障の原因になります。
- ロ、温度の高い場所や湿度の多い場所での使用はさけてください。

定格電圧 100-240V~ 定格入力電流 9.6-4.0A 定格周波数 50/60Hz	⚠ 警告	高圧注意
 	サービスマン以外の方はトップカバーをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。	

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

表示者

NECディスプレイソリューションズ株式会社  
東京都港区三田一丁目4番28号



MADE IN CHINA

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

## レーザー光の放射範囲

下図の範囲は、レーザー光の最大の放射範囲を表しています。

- 適応レンズユニット：NP16FL/  
NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/  
NP20ZL/NP21ZL/NP31ZL

水平放射角：H（単位：度）

レンズユニット	ズーム	
	テレ	ワイド
NP16FL	—	32.9
NP17ZL	15.5	21.7
NP18ZL	12.4	16.1
NP19ZL	7.7	12.7
NP20ZL	5.3	7.9
NP21ZL	3.4	5.4
NP31ZL	27.8	33.6

垂直放射角：V（単位：度）

レンズユニット	ズーム	
	テレ	ワイド
NP16FL	—	22.0
NP17ZL	9.8	14.0
NP18ZL	7.8	10.2
NP19ZL	4.8	8.0
NP20ZL	3.3	5.0
NP21ZL	2.1	3.4
NP31ZL	18.2	22.5

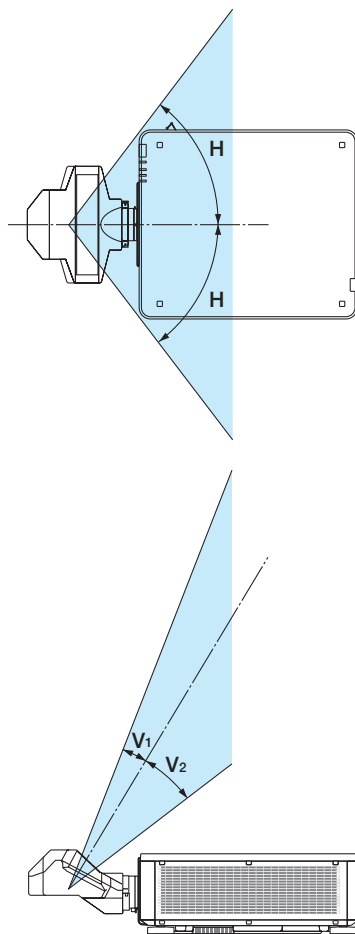
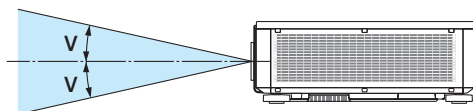
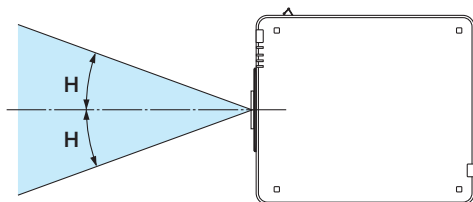
- 適応レンズユニット：NP39ML

水平放射角：H（単位：度）

レンズユニット	ズーム	
	テレ	ワイド
NP39ML	—	52.8

垂直放射角：V（単位：度）

レンズユニット	テレ	ズーム	
		ワイド	
		V <sub>1</sub>	V <sub>2</sub>
NP39ML	—	9.68	21.52



# お願い

## 性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。  
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。  
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
  - 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。  
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
  - 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。  
故障の原因となります。
    - ・強い磁界が発生する場所
    - ・腐食性のガスが発生する場所
  - 本機の設置角度に制限はありません。  
ただし、次のような姿勢で設置すると、光学部品の寿命が短くなります。
    - ・レンズが下向きになる設置
    - ・ポートレート投写で、吸気口が下向きになる設置
 また、ポートレート投写を行う場合は、専用のスタンドを製作してください。(▶167 ページ)
- 
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
    - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(5時間/日または260日/年を超えて)使用する場合は、あらかじめNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
    - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。(▶128 ページ)
  - 本機を高所(気圧の低い所)で使用すると、光学部品(光源など)の交換時期が早まる場合があります。
  - スクリーンへの外光対策をしてください。  
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。  
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
  - スクリーンについて  
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。  
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
  - 持ち運びについて
    - ・本機を移動する際は、いったんレンズユニットを取り外し、レンズに傷が付かないように必ずレンズユニットに添付のレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクターには防塵キャップを取り付けてください。
    - ・プロジェクター本体に強い衝撃や振動を与えないように注意して運んでください。
    - ・宅配便や貨物輸送はレンズユニットを外し、ご購入の際の梱包箱をご使用ください。プロジェクターの故障の原因となります。

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。  
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
- 廃棄について  
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 設置する際の周囲との距離についての注意

本機を設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。

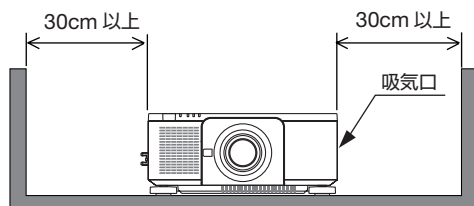
本機から出た高温の排気が再び本機に吸気される場合があります。

また、エアコンから吹き出された風が本機に当たらないようにしてください。

本機の温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。

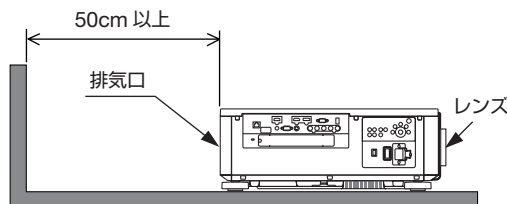
- ・ ポートレート設置の場合は [167 ページ](#)「ポートレート（縦向き）投写をする」をご覧ください。

### 例 1：本機の左右に壁がある場合



(注) 左の図において、プロジェクター本体の前後および上方は十分な空間があるものとしてします。

### 例 2：本機の後方に壁がある場合



(注) 左の図において、プロジェクター本体の両横および上方は十分な空間があるものとしてします。

## 別売のレンズユニット取り扱い上の注意

本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。また、添付の防塵キャップは必ず取り付けてください。取り付けないと、光学ユニット内部にほこりなどが入り、光学部品の損傷や画質劣化の原因となります。



## 別売のレンズユニット取り付け時、または交換時の注意 (レンズキャリブレーション)

レンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体の(SHUTTER/CALIBRATION) ボタンを押すか、リモコンの(CTL) ボタンを押したまま(INFO/L-CALIB.) ボタンを押して、「レンズキャリブレーション」を実行してください。

(▶ 36, 131 ページ)

レンズキャリブレーションを行うことにより、レンズメモリのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。

## 電源プラグを抜く際の注意

- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本体の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- 本機の電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜くことができます。映像投写中に AC 電源を切断した直後や、本機の電源を切った直後は、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。アスペクト、台形補正、部分拡大、マルチスクリーンなどの機能を使用する場合はご注意ください。

## 本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能①、②を設定しています。本機の使用目的に応じて、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

### ① スタンバイモード (工場出荷時の設定：ノーマル)

- 「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が動きません。  
HDMI OUT 端子、Ethernet/HDBaseT ポート、USB ポート、LAN 機能、メール通知機能  
詳しくは、[147 ページ](#)をご覧ください。

### ② オートパワーオフ (工場出荷時の設定：1 時間)

- 「1 時間」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 1 時間続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。  
詳しくは、[149 ページ](#)をご覧ください。

# 目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
お願い	11
目次	14
本書の表記について	16
<b>1. 添付品や名称を確認する</b>	<b>17</b>
1-1. 特長	17
1-2. 添付品の確認	19
1-3. 本体各部の名称	21
1-4. リモコン各部の名称	27
<b>2. 映像を投写する（基本操作）</b>	<b>32</b>
2-1. 映像を投写する流れ	32
2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する	33
2-3. 本機の電源を入れる	35
2-4. 入力信号を選択する	38
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	41
2-6. コンピュータの映像を自動調整する	50
2-7. 本機の電源を切る	51
2-8. あとかたづけ	52
<b>3. 便利な機能</b>	<b>53</b>
3-1. 投写光を消去する（レンズシャッター）	53
3-2. 映像を消去する（AV ミュート）	53
3-3. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）	54
3-4. 動画を静止画にする（静止）	54
3-5. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	55
3-6. ライトモードと省エネ効果	56
3-7. 台形歪みを調整する（4点補正）	58
3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する	61
3-9. 3D 映像を投写する	64
3-10. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	68
3-11. レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する（レンズメモリ）	74
<b>4. マルチスクリーン投写</b>	<b>78</b>
4-1. マルチスクリーン投写のできること	78
4-2. 2つの映像を同時に投写する	82
4-3. エッジブレンディング機能を使って投写する	85
<b>5. オンスクリーンメニュー</b>	<b>90</b>
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	90
5-2. オンスクリーンメニュー一覧	94
5-3. 入力端子	100
5-4. 調整	104

5-5. 表示 .....	116
5-6. セットアップ .....	124
5-7. 情報 .....	151
<b>6. 機器と接続する .....</b>	<b>153</b>
6-1. レンズユニット（別売）を取り付ける .....	153
6-2. コンピュータと接続する .....	156
6-3. ディスプレイと接続する .....	159
6-4. ブルーレイプレーヤなどの AV 機器と接続する .....	161
6-5. 書画カメラと接続する .....	164
6-6. 有線 LAN と接続する .....	165
6-7. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する .....	166
6-8. ポートレート（縦向き）投写をする .....	167
6-9. プロジェクターをスタック設置して投写する .....	169
<b>7. 本体のお手入れ .....</b>	<b>171</b>
7-1. レンズの清掃 .....	171
7-2. キャビネットの清掃 .....	172
<b>8. ユーザーサポートウェア .....</b>	<b>173</b>
8-1. 添付ソフトウェアについて .....	173
8-2. インストール方法 .....	174
8-3. LAN を経由して本機を操作する（Virtual Remote Tool） .....	177
8-4. LAN を経由して本機を操作する（PC Control Utility Pro 4/Pro 5） .....	180
<b>9. 付 録 .....</b>	<b>183</b>
投写距離とスクリーンサイズ .....	183
オプションボードの取り付け方法（別売） .....	187
対応解像度一覧 .....	189
仕様 .....	193
外観図 .....	196
主な端子のピン配列と信号名 .....	198
故障かな？と思ったら .....	200
インジケータ表示一覧 .....	205
トラブルチェックシート .....	207
索引 .....	209
本製品に含まれる TOPPERS 適用ソフトウェアのライセンスについて .....	212
別売品／商標について .....	213
保証と修理サービス（必ずお読みください） .....	215
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内 .....	裏表紙

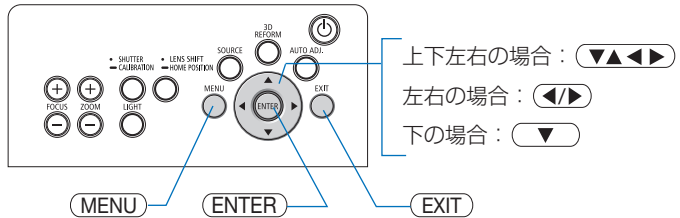
# 本書の表記について

## マークの意味

	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

## 操作ボタンの表記例

### ●本体の操作ボタン

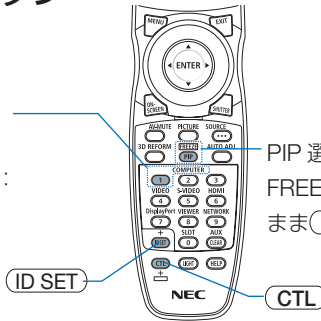


### ●リモコンの操作ボタン

COMPUTER 1 選択の場合：

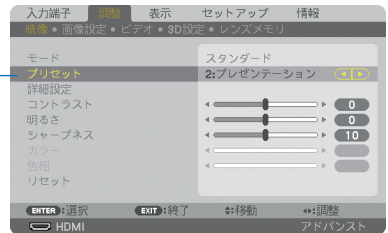
ID SET 数字 1 を選択の場合：

を押したまま



## メニュー項目の表記例

「プリセット」



### 参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

# 1. 添付品や名称を確認する

## 1-1. 特長

### ■ 全般

#### ● 1 チップ DLP 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

本機は、画面解像度 1920 ドット×1200 ライン (WUXGA)、アスペクト比 16:10、明るさ 8,000lm を実現したプロジェクターです。

### ■ 光源・輝度

#### ● 長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

#### ● 幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 20% から 100% まで 1% 刻みで調整することができます。

#### ● 輝度一定モード

通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。

ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

### ■ 設置

#### ● 設置場所に応じて選べるオプションレンズ

本機は 8 種類のオプションレンズに対応しています。様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。

また、レンズユニットの取り外し／取り付けが簡単に行えます。

なお、工場出荷時はレンズが装着されていませんので、別途オプションレンズをお買い求めください。

#### ● 360° の設置、ポートレート投写が可能

本機は、垂直方向と水平方向 360° の、どの角度でも設置が可能です。

また、投写画面を 90° 傾けたポートレート投写が行えます。

ただし、次のような姿勢で設置すると、光学部品の寿命が短くなります。

- ・レンズが下向きになる設置
- ・ポートレート投写で、吸気口が下向きになる設置

#### ● 2 台のスタック設置により、さらに高輝度投写が可能

本機を 2 台スタックして設置することにより、大画面でさらなる高輝度を実現できます。

#### ● 電動レンズコントロールで容易な画面調整

本体側面の操作ボタンやリモコンの操作で、投写画面のズーム、フォーカス、位置調整（レンズシフト）ができます。

## 映像

### ● HDMI、DisplayPort、BNC、HDBaseT などの豊富な入出力端子

HDMI、DisplayPort、BNC（5 芯）、コンピュータ（アナログ）、HDBaseT など、豊富な入出力端子を装備しています。

本機の HDMI 入出力端子、DisplayPort 入力端子は、HDCP に対応しています。

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。

### ● オプションスロットを装備

本機にはオプションスロットがあり、別売のオプションボードが装着できます。

### ● 2 つの映像を同時表示 (PIP / PICTURE BY PICTURE)

本機 1 台で 2 つの映像を同時に投写することができます。

2 画面の配置には 2 種類あり、主画面の中に小さな子画面を表示する「ピクチャーインピクチャー」(PIP) と、主画面と副画面を左右に並べて表示する「ピクチャーバイピクチャー」(PICTURE BY PICTURE) があります。

### ● 複数台のプロジェクターを用いたマルチスクリーン投写

本機は、HDMI 入出力端子を搭載しており複数台のプロジェクターをデジチェーンで接続することができます。そして、高解像度の映像を各プロジェクターに分割して投写することにより、高画質を実現できます。

さらに、エッジブレンディング機能により、画面の境界を滑らかにします。

### ● HDMI 3D 方式に対応

本機は、市販の Xpand 製 3D 対応のアクティブシャッター方式の 3D メガネと 3D エミッタという装置を使って、3D 映像を視聴することができます。

## ネットワーク

### ● 便利なユーティリティソフト (User Supportware) を標準添付

添付の NEC Projector CD-ROM に収録している 3 つのユーティリティソフト (Virtual Remote Tool、PC Control Utility Pro 4 (Windows 用)、PC Control Utility Pro 5 (Mac OS 用)) が使用できます。

### ● CRESTRON ROOMVIEW に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピュータやコントローラから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

## 省エネ

### ● スタンバイ時の消費電力が 0.27 ワット以下の省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が次のようになります。

・電源電圧が AC100V 時：0.18W

・電源電圧が AC200V 時：0.27W

### ● 消費電力を抑えるライトモードとカーボンメータ表示

使用中の消費電力を抑えるためライトモードを搭載しています。

さらに、ライトモード設定時の省エネ効果を CO<sub>2</sub> 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します (カーボンメータ)。

## 1-2. 添付品の確認


添付品の内容をご確認ください。

	<p><b>プロジェクター (本機)</b> コンピュータやブルーレイプレーヤなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p> <p><b>防塵キャップ (79TQ1051)</b> 本体からレンズユニットを外したときの防塵用キャップです。大切に保管してください。 (注) レンズユニットは添付していません。ご利用目的に合ったレンズユニットをお買い求めください。 レンズユニットの種類と投写距離は <a href="#">183 ページ</a>をご覧ください。</p>
	<p><b>リモコン (7N901041)</b> 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単3 アルカリ乾電池 2 本をセットしてください。(<a href="#">29 ページ</a>)</p> <p><b>単3 アルカリ乾電池 (リモコン用) 2 本</b> 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p><b>AC100V 用電源コード (アース付き) (79TM1031)</b> AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p> <p><b>AC200V 用電源コード (アース付き) (79TQ1021)</b> AC200V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p><b>レンズユニット盗難防止用ネジ : (79TM1071)</b> 本機に装着しているレンズユニットを簡単に取り外されないようにします。(<a href="#">155 ページ</a>)</p>
	<p><b>ネジ (M4) : 6 本</b> 別売の天井用取付けユニット NP15CM を使って本機を天井設置する場合に使用します。 NP15CM に添付されているプロジェクター取り付けネジは、長さが足りないため本機では使用できません。 必ずこのネジを使って、プロジェクター取り付けアダプタを本機に取り付けてください。</p>

次ページに続く

1

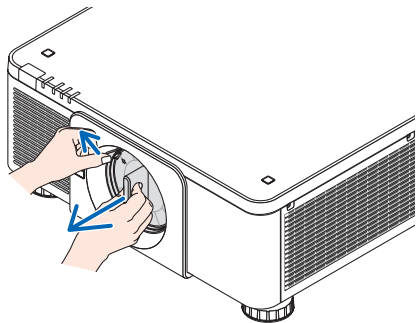
添付品や名称を確認する

	<p><b>スタッキングホルダー：4個 (79TM1101)</b>          本機を積み重ねて投写する場合(スタック設置)、プロジェクターのチルトフットを乗せるためのホルダーです。          (170 ページ)</p>
	<p><b>NEC Projector CD-ROM (7N952341)</b>          PDF (Portable Document Format) 形式の取扱説明書(本書)とユーティリティソフトを収録しています。          (173 ページ)</p>
	<p><b>取扱説明書(本書) (7N8N6651)</b>          本機の使いかた、安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p><b>クイックスタートガイド (7N8N6661)</b>          機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p><b>保証書</b>          プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p> <p><b>セキュリティラベル</b>          本機にパスワードを設定したときに、必要に応じて本体に貼ってください。</p>

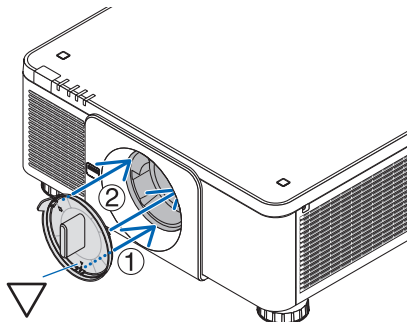
- 参考**
- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
  - 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

## 防塵キャップの取り付け／取り出し

防塵キャップを取り外す際は、左上のツマミを外側に向けて押しながら、中央のツマミを引いて外してください。



防塵キャップを本機に取り付ける際は、▽印を下向きにして下部のツメを開口部に引っ掛けて(下図①)から、上部のツメを押し込んでください(下図②)。





# 1-3. 本体各部の名称

## 本体前面

レンズは別売です。レンズユニット NP18ZL を装着している状態で説明しています。

### インジケータ表示部

電源入／スタンバイなど本機の状態をランプの点灯／点滅で知らせます。

(▶ 36, 205 ページ)

### リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。

(▶ 30 ページ)

本体の前面と背面の2箇所にあります。

### 吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。

(▶ 12, 172 ページ)

### レンズリリース (LENS) ボタン

レンズユニットの取り外しの際に使用します。(▶ 155 ページ)

### レンズ

ここから映像が投写されます。

・レンズユニットは別売です。

(▶ 153, 183 ページ)



### レンズキャップ (レンズユニットに装着)

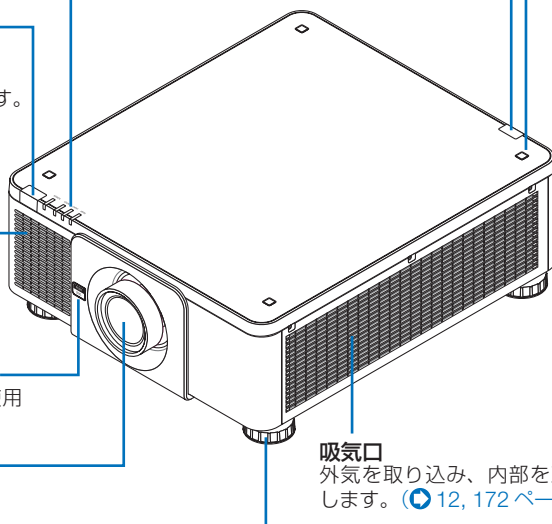
レンズを保護します。

### スタッキングホルダー取付部 (4箇所)

スタック設置のとき添付のスタッキングホルダーをネジ止めします。

(▶ 169 ページ)

### リモコン受光部



### 吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。(▶ 12, 172 ページ)

### チルトフット (4箇所)

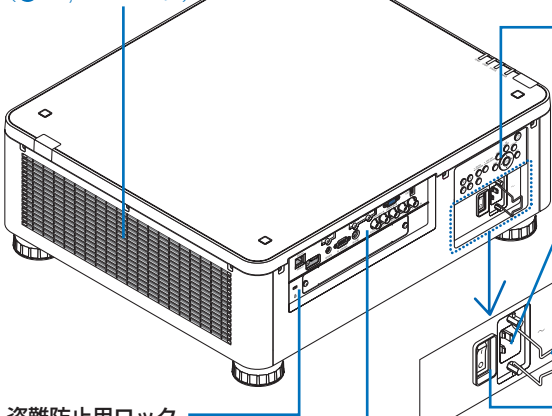
チルトフットを回して投写角度や左右の傾きを微調整します。(▶ 49 ページ)

## 本体背面

### 排気口

内部の熱を排気します。

(▶ 12, 172 ページ)



### 本体操作部

本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。(▶ 23 ページ)

### AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。

(▶ 33 ページ)

### 電源コードストッパー

電源プラグが抜け落ちないように固定します。(▶ 34 ページ)

### 主電源スイッチ

主電源スイッチを「I(入)」にすると、スタンバイ状態になります。

(▶ 35 ページ)

### 接続端子部

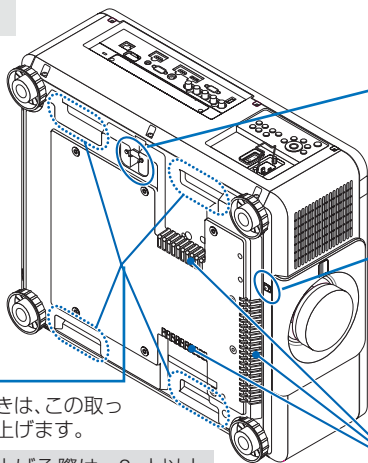
各種映像信号などのケーブルを接続します。(▶ 25 ページ)

### 盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。

詳しくは下記の **参考** をご覧ください。

## 本体底面



### セキュリティバー

盗難防止用チェーン（またはワイヤー）を取り付けます。

本機のセキュリティバーは、直径4.6mmの太さのものまで対応しています。

### レンズユニット盗難防止用ネジ穴

レンズユニットを簡単に取り外されないように固定するためのネジ穴です。(▶ 155 ページ)

### 取っ手 (4箇所)

本体を移動させるときは、この取っ手に手をかけて持ち上げます。

### 注意


- 本機を持ち上げる際は、2人以上で行ってください。  
1人で持ち上げた場合、けがや腰痛の原因となることがあります。

### 吸気口 (3箇所)

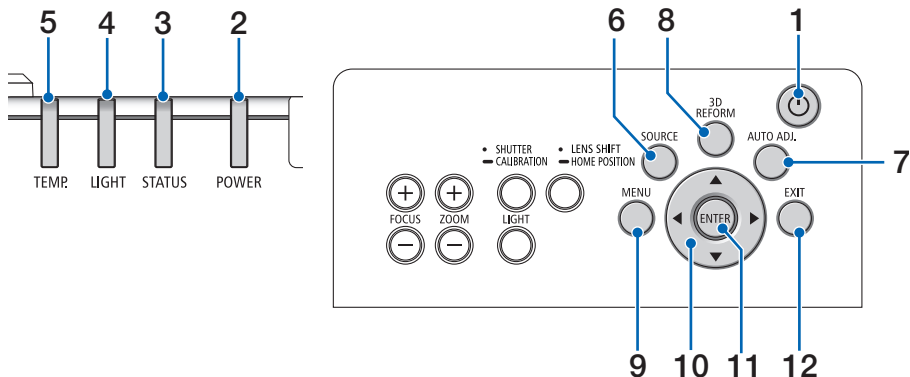
外気を取り込み、内部を冷却します。

(▶ 172 ページ)

### 参考

- 盗難防止用ロックについて   
盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

## 本体操作部／インジケータ表示部



### 1 (POWER) ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/スタンバイ (待機状態) します。

電源を切る (スタンバイ状態) とときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 (POWER) ボタンを押します。

### 2 POWER インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。  
(▶ 36, 205 ページ)

電源がスタンバイ状態のときは赤色に点灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

### 3 STATUS インジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(▶ 205 ページ)

### 4 LIGHT インジケータ

光源の状態をお知らせします。  
(▶ 206 ページ)

### 5 TEMP. インジケータ

プロジェクター内部の温度が高くなっている (オレンジ点灯) ことなどをお知らせします。  
(▶ 206 ページ)

### 6 (SOURCE) ボタン

入力信号を選択します。  
短く押すと、入力選択画面を表示します。  
1 秒以上押すと、HDMI → DisplayPort → BNC → BNC(CV) → BNC(Y/C) → コンピュータ → HDBaseT → SLOT… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。(▶ 38 ページ)

### 7 (AUTO ADJ.) ボタン

コンピュータ (アナログ RGB)、HDMI、DisplayPort、HDBaseT 画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(▶ 50 ページ)

### 8 (3D REFORM) ボタン

オンスクリーンメニューの幾何学補正画面を表示します。「4 点補正」や「台形補正」で上下左右方向の台形歪みを調整します。  
(▶ 58, 117 ページ)

### 9 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(▶ 90 ページ)

### 10 (方向キー) ボタン

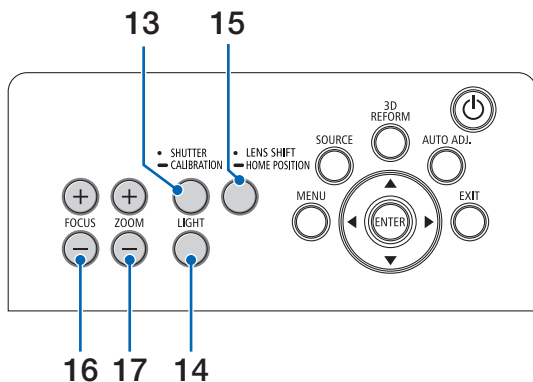
- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに (方向キー) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。  
(▶ 90 ページ)
- ・レンズシフト画面表示中はレンズシフトの調整ができます。(▶ 42 ページ)
- ・テストパターン表示中は、パターンを変更します。(▶ 100 ページ)

### 11 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。  
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

### 12 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。  
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



### 13 (SHUTTER/CALIBRATION) ボタン

- 短く押すと、光源を消灯して投写光を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。  
(👉 53 ページ)
- 長く (2 秒以上) 押すと、取り付けたレンズユニットのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。  
(👉 43, 131 ページ)

### 14 (LIGHT) ボタン

オンスクリーンメニューのライトモード画面を表示します。(👉 56, 128 ページ)

### 15 (LENS SHIFT/HOME POSITION) ボタン

- 短く押すとレンズシフト画面を表示します。(▼▲▶▶) ボタンで調整します。
- 長く (2 秒以上) 押すとレンズシフト調整がホームポジションに戻ります。  
(👉 42 ページ)



- レンズシフト位置の「ホームポジション」は、レンズ交換のための位置であり、レンズシフト調整可能範囲の中心位置ではありません。

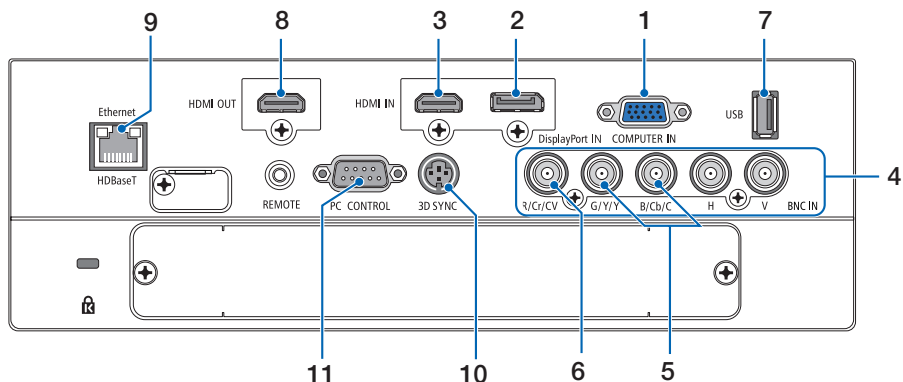
### 16 (FOCUS +/-) ボタン

投写画面のピントを合わせます。(👉 44 ページ)

### 17 (ZOOM +/-) ボタン

投写画面の大きさの微調整を行います。  
(👉 48 ページ)

## 接続端子部



### 1 COMPUTER IN 端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピュータのディスプレイ出力端子や、ブルーレイプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。

([33](#), [156](#), [162](#), [164 ページ](#))

### 2 DisplayPort IN 端子 (DisplayPort 20ピン)

コンピュータなどの DisplayPort 出力端子と接続します。

([157 ページ](#))

### 3 HDMI IN 端子 (タイプ A)

コンピュータやブルーレイプレーヤなどの HDMI 出力端子と接続します。

([157](#), [158](#), [163 ページ](#))

### 4 BNC 入力端子

#### BNC (R/G/B/H/V) 入力端子 (BNC 5 芯)

市販の BNC ケーブル (5 芯タイプ) を使用して、コンピュータのディスプレイ出力端子などと接続します。

([156 ページ](#))

#### BNC (Cr/Y/Cb) 入力端子 (BNC 3 芯)

市販の BNC ケーブル (3 芯タイプ) を使用して、ブルーレイプレーヤの色差出力端子 (DVD 映像出力) などと接続します。

([162 ページ](#))

### 5 BNC (Y/C) 入力端子 (BNC 2 芯)

市販の BNC ケーブル (2 芯タイプ) を使用して、ビデオデッキなどの S-ビデオ出力端子と接続します。

([161 ページ](#))

### 6 BNC (CV) 入力端子 (BNC)

市販の BNC ケーブル (1 芯タイプ) を使用して、ビデオデッキなどのコンポジットビデオ出力端子と接続します。( [161](#), [164 ページ](#) )

### 7 USB ポート (タイプ A)

将来の拡張機能用です。電源供給が可能です。

### 8 HDMI OUT 端子 (タイプ A)

現在投写している画面が出力されます。(ただし、コンポジットビデオ画面と S-ビデオ画面は出力されません)。( [159 ページ](#) )

また、PIP/PICTURE BY PICTURE のサブ入力で、HDMI、DisplayPort、HDBaseT および SLOT が選択されている場合は、その端子の信号が出力されます。

### 9 Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45)

本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバ機能を利用し、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。( [165 ページ](#) )  
また、本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。( [166 ページ](#) )

### 10 3D SYNC 端子 (ミニ DIN-3 ピン)

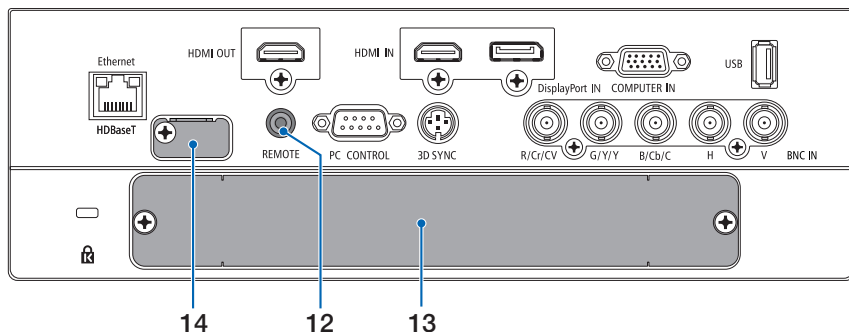
3D 同期信号が必要な 3D 映像視聴システムに使います。( [66 ページ](#) )

### 11 PC CONTROL 端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピュータで本機を操作するときに使用します。

1

添付品や名称を確認する



## 12 REMOTE 端子 (ステレオ・ミニ)

市販のφ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。👉 31 ページ

### 注意

- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。
- リモコン受光部設定で HDBaseT を選択しており、かつ市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は赤外線でのリモコン操作が行えません。ただし、伝送機器の電源を切っているときは赤外線でのリモコン操作が行えます。

## 13 SLOT

別売のオプションボードを取り付けるための拡張用スロットです。工場出荷時は開口部をふさぐためのプレートを取り付けています。

👉 187 ページ

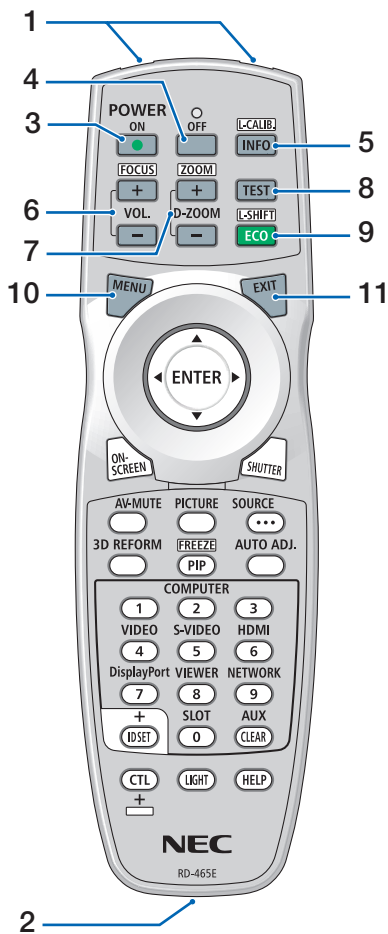
## 14 サービスマン専用端子

プレートの内側にあります。お客様は使用できません。

# 1-4. リモコン各部の名称

1

添付品や名称を確認する



## 1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

## 2 リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するとき、市販のφ3.5ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を接続します。（☞31ページ）

## 3 POWER (ON) ボタン

スタンバイ時（POWERインジケータが赤色<sup>\*</sup>に点灯）に本機の電源を入れます。（<sup>\*</sup>スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

## 4 POWER (OFF) ボタン

一度押しで電源オフ確認メッセージを表示しもう一度(OFF)（または(ENTER)）ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

## 5 (INFO/L-CALIB.) ボタン

オンスクリーンメニューの情報の「信号(1)」を表示します。（☞151ページ）  
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズキャリブレーションを行います。（☞36, 131ページ）

## 6 (VOL./FOCUS +/-) ボタン

(CTL)ボタンと同時に押して、レンズのフォーカスを調整します。（☞44ページ）  
(VOL. ボタンの機能は、本機では使用できません。)

## 7 (D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタン

画面の拡大・縮小（もとに戻す）をデジタルで行います。（☞55ページ）  
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズのズームを調整します。（☞48ページ）

## 8 (TEST) ボタン

テストパターンを表示します。（◀▶）ボタンでテストパターンを切り替えます。  
テストパターンを消す場合は、他の入力信号に切り替えます。

## 9 (ECO/L-SHIFT) ボタン

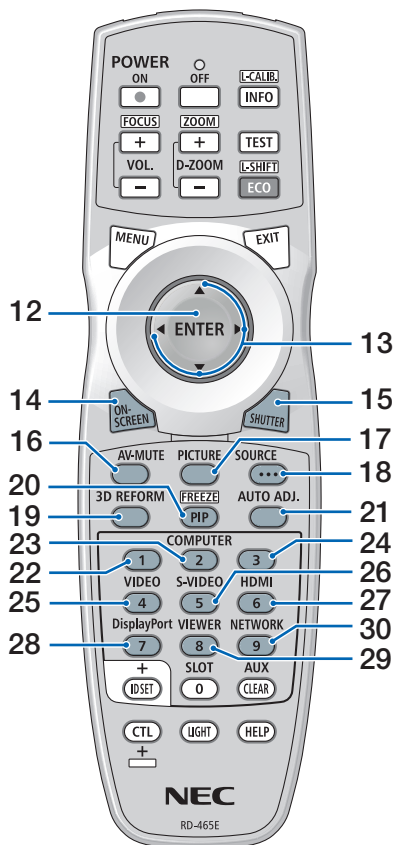
ライトモード選択画面を表示します。（☞56ページ）  
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズシフト調整画面を表示します。  
(◀▶)ボタンでレンズ位置を調整します。（☞42ページ）

## 10 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

## 11 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



## 12 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。  
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

## 13 (方向キー) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や  
(D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタン、(ECO/L-SHIFT) ボタンと組み合わせて使用します。(☞ 90, 55, 43 ページ)

## 14 (ON-SCREEN) ボタン

オンスクリーン表示を消します。  
(☞ 54 ページ)  
もう一度押すと戻ります。

## 15 (SHUTTER) ボタン

光源を消灯して、投写光を一時的に消します。  
もう一度押すと戻ります。(☞ 53 ページ)

## 16 (AV-MUTE) ボタン

映像を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(☞ 53 ページ)

## 17 (PICTURE) ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(☞ 104, 107 ページ)

## 18 (SOURCE) ボタン

入力信号を検出します。  
HDMI → DisplayPort → BNC → BNC(CV) → BNC(Y/C) → コンピュータ → HDBaseT → SLOT… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

## 19 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の台形歪みを調整します。  
(☞ 58, 117 ページ)

## 20 (PIP/FREEZE) ボタン

2つの映像を同時に投写します。  
表示方法には、画面の中に小さい画面を投写する「ピクチャーインピクチャー機能」と2つの画面を並べて投写する「ピクチャーバイピクチャー機能」があります。(☞ 82 ページ)  
(CTL) ボタンと同時に押すと、表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(☞ 54 ページ)

## 21 (AUTO ADJ.) ボタン

HDMI、DisplayPort、コンピュータ (アナログ RGB、HDBaseT 画面) を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。  
(☞ 50 ページ)

## 22 (COMPUTER 1) ボタン

COMPUTER IN 端子 (またはコンポーネント) を選択します。

## 23 (COMPUTER 2) ボタン

BNC 入力端子を選択します。

## 24 (COMPUTER 3) ボタン

(本機では使用できません。)

## 25 (VIDEO) ボタン

BNC (CV) 入力端子を選択します。

## 26 (S-VIDEO) ボタン

BNC (Y/C) 入力端子を選択します。

## 27 (HDMI) ボタン

HDMI IN 端子を選択します。

## 28 (DisplayPort) ボタン

DisplayPort IN 端子を選択します。

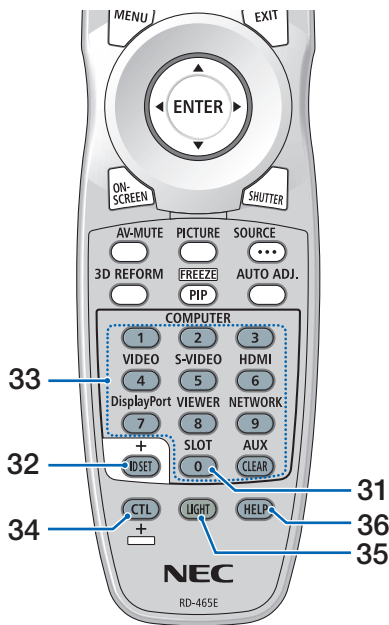
## 29 (VIEWER) ボタン

(本機では使用できません。)

## 30 (NETWORK) ボタン

HDBaseT ポート (または Ethernet) を選択します。





**31 (SLOT)ボタン**  
SLOT を選択します。

**32 (ID SET) ボタン**  
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。(▶ 137 ページ)

**33 数字 (0 ~ 9) 入力ボタン**  
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します (コントロール ID 設定)。  
(CLEAR) ボタンは、コントロール ID 設定を解除する場合に使用します。(▶ 138 ページ) (AUX ボタンの機能は、本機では使用できません。)

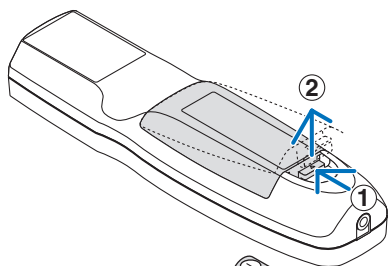
**34 (CTL) ボタン**  
他のボタンと併用するための複合機能ボタンです。

**35 (LIGHT) ボタン**  
ボタンのバックライトが点灯します。10 秒間ボタン操作をしないと消灯します。

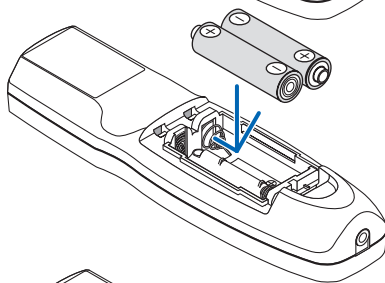
**36 (HELP) ボタン**  
情報画面を表示します。(▶ 151 ページ)

## ● 電池の入れかた

**1** リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。

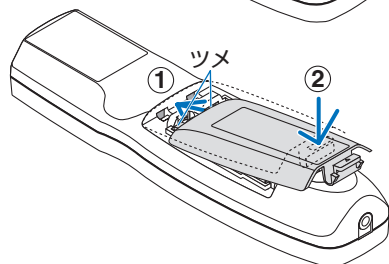


**2** ケース内部に表示している +、- の向きに合わせて単 3 アルカリ乾電池をセットする。



**3** もとどおりにふたをする。

ふたのツメをケースのミゾに入れてからふたをしめます。

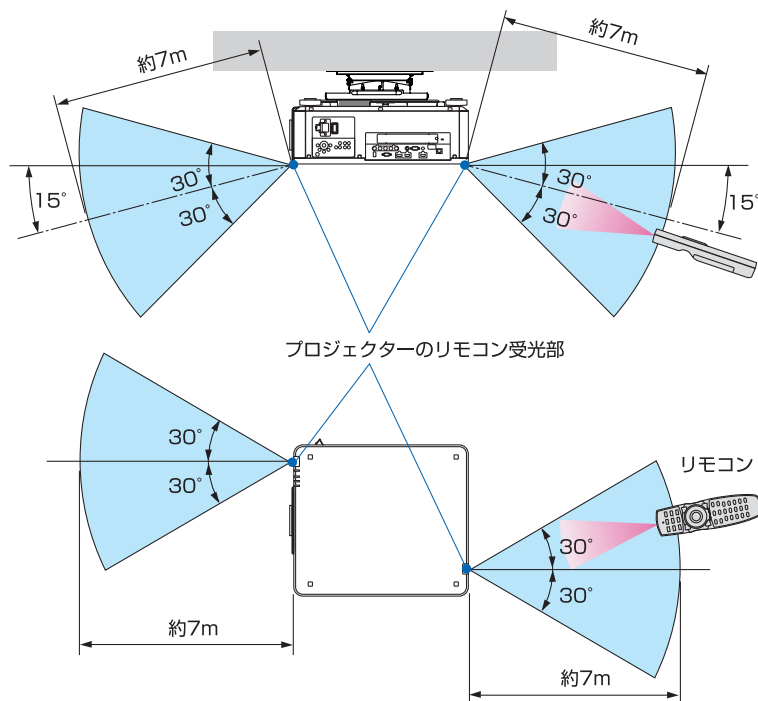


**注意** ● 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 3 アルカリ乾電池をお買い求めください。

## ●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

### 【受光範囲】



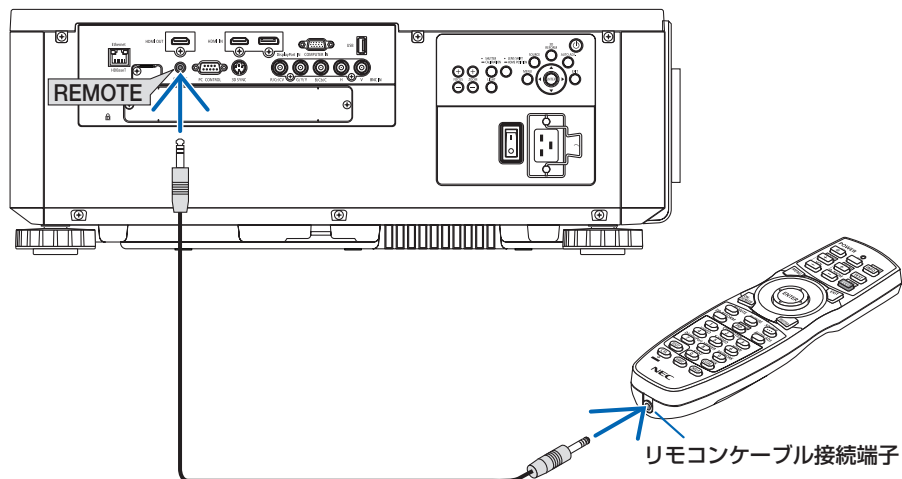
(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

## ●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 上記の範囲内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。

## ●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。



- リモコンケーブルは、市販のφ 3.5 ステレオミニプラグ付き（抵抗なし）を使用してください。
- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモコンに乾電池を入れてください。

1

添付品や名称を確認する

## 2. 映像を投写する（基本操作）

### 2-1. 映像を投写する流れ

#### ステップ 1

コンピュータと接続する／電源コードを接続する (▶次ページ)



#### ステップ 2

本機の電源を入れる (▶35 ページ)



#### ステップ 3

入力信号を選択する (▶38 ページ)



#### ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶41 ページ)  
台形歪みを調整する (▶58, 117 ページ)



#### ステップ 5

映像を調整する  
・画質を調整する場合 (▶50 ページ)



#### ステップ 6

プレゼンテーションを行う



#### ステップ 7

本機の電源を切る (▶51 ページ)



#### ステップ 8

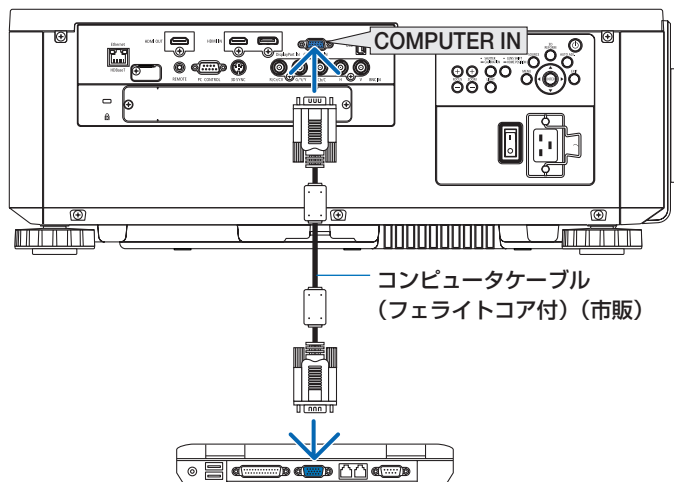
あとかたづけ (▶52 ページ)

## 2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する

### 1. コンピュータと接続する

ここでは、コンピュータとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」156～166ページをご覧ください。

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機の COMPUTER IN 端子を、市販のコンピュータケーブル（フェライトコア付）で接続しコネクタのツマミを回して固定します。



### 2. 電源コードを接続する

本機の電源は AC100V と AC200V（単相）用コンセント（アース付き 3 芯コンセント）に対応しています。AC100V コンセントには添付の AC100V 用電源コード、AC200V コンセントには添付の AC200V 用電源コードを使って AC IN 端子と接続してください。

#### ⚠️ 注意

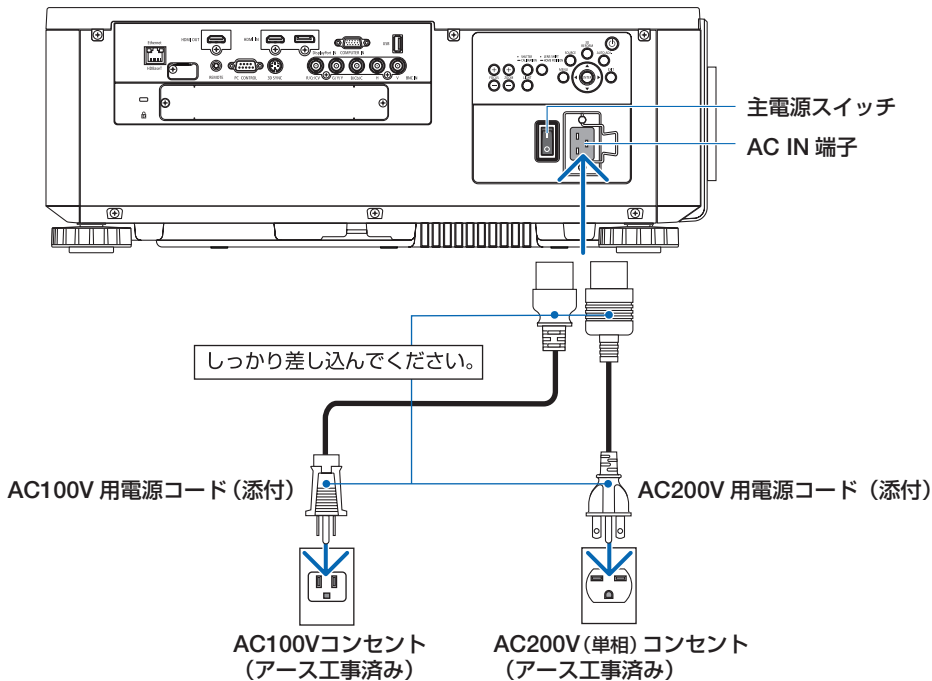
- 機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。
- 感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 電源コードのプラグを AC IN 端子および 3 芯コンセントに接続するときは、奥までしっかり差し込んでください。電源コードのプラグとコンセントの接続がゆるいと、プラグ部分が発熱しやけどや事故の原因となることがあります。

#### 🔴 重要

- 本機の電源コードの取り付けは、主電源スイッチが「○（切）」の状態で行ってください。主電源スイッチが「I（入）」の状態では電源コードの取り付けを行うと、故障の原因となります。
- 三相 200V の電源には接続しないでください。故障の原因となります。

#### ⚠️ 注意

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。



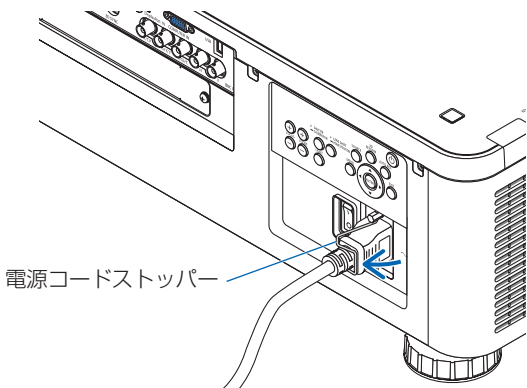
## ●電源コードストッパーの使いかた

本体側の電源プラグが抜け落ちないように、電源コードストッパーを使って固定します。

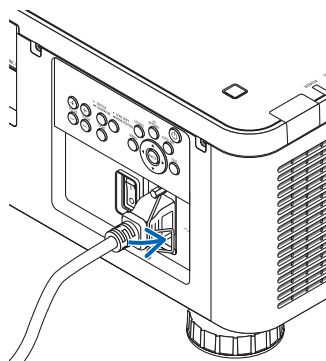
**注意**

- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際はプラグを奥までしっかり挿し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続が緩むと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

① 電源コードストッパーを引き起こして、電源コードにかぶせます。





- 解除するときは、電源コードから電源コードストッパーを外して本体側へ倒します。





## 2-3. 本機の電源を入れる







本機の電源の入/切は、主電源スイッチと  ボタン（リモコンは POWER  (OFF) ボタン）の 2 段階の操作で行います。

### ● 電源を入れる [このページ](#)

- 1 主電源スイッチを「I (入)」にする。  
本機がスタンバイ状態になります。
- 2  ボタン（リモコンは POWER  ボタン）」を押す。  
本機の電源が入ります。

### ● 電源を切る [51 ページ](#)

- 1  ボタン（リモコンは POWER  ボタン）」を押す。  
画面に確認メッセージが表示されます。
- 2 もう一度「 ボタン（リモコンは POWER  ボタン）」を押す。  
本機がスタンバイ状態になります。
- 3 ファンの回転が終わったら、主電源スイッチを「O (切)」にする。  
本機の電源が切れます。

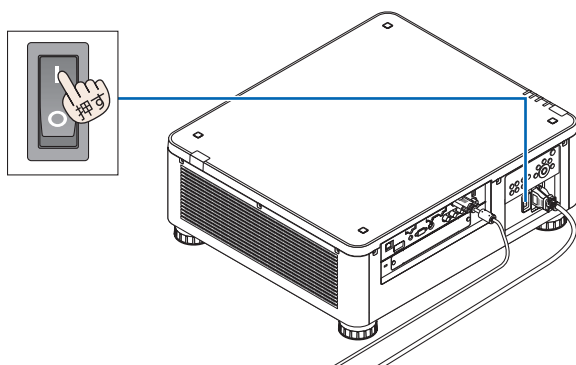
準備：レンズユニットのレンズキャップを外してください。

### 1 主電源スイッチを「I (入)」にする。

POWER インジケータが赤色\*に点灯します。

\*スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケータ表示です。


 [147 ページ](#)



### 警告

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。



- スタンバイ状態のとき、ネットワークに接続したり HDBaseT 信号を受信したりすると、スリープ状態に移行します。スリープ状態では内部部品保護のためにファンが回転します。  
スリープ状態については、 [147 ページ](#) をご覧ください。

## 2 電源 ボタンを押す。

POWER インジケータが赤色の点灯から青色点滅に変わり、スクリーンに映像が投写されます。

- ・ リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを押します。
- ・ 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- ・ 映像がぼやけている場合は、画面のフォーカスを合わせてください。 (▶ 44 ページ)

### 参考

- ・ 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。 (▶ 62 ページ)


- ・ 別売のレンズユニット（下記\*）を本機に取り付けたり、またはレンズユニットを交換したときは、本体の (SHUTTER/CALIBRATION) ボタンを長く（2 秒以上）押すか、リモコンの (CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB.) ボタンを押して、「キャリブレーション」を実行してください。

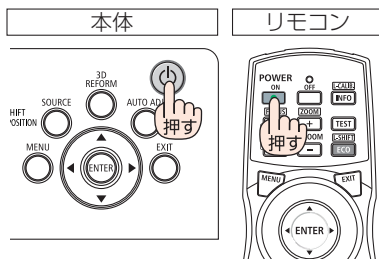
キャリブレーションを行うことにより、レンズのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。

\* キャリブレーションが必要なレンズユニットの型名

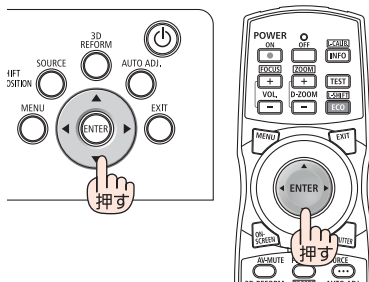
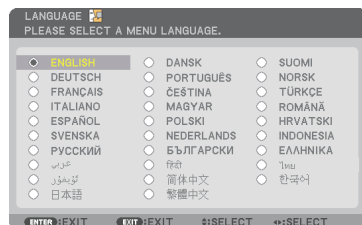
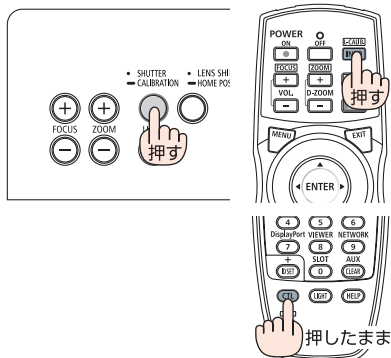
NP16FL/NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/  
NP20ZL/NP21ZL/NP31ZL

- ・ ご購入後はじめて電源を入れたときは LANGUAGE 画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。
- ・ 誤って「日本語」以外を選択した場合は、オンスクリーンメニューを表示して「言語」を変更することができます。 (▶ 124 ページ)

- 1  ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。

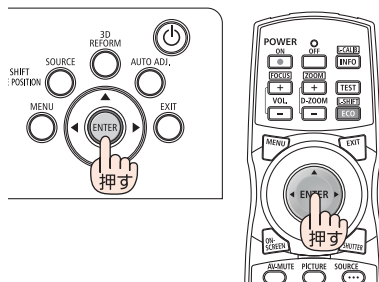


スタンバイ状態      準備中      オン状態





- ② (ENTER) ボタンを押す。  
 オンスクリーンメニューの表示が日本語に  
 設定され、オンスクリーンメニューが消え  
 ます。



**注意**

- 次のような場合は、**⓪**ボタンを押しても電源が入りません。
  - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ・ **⓪**ボタンを押している間に STATUS インジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。  
 (● 136 ページ)
- POWER インジケータが青色で短い点滅をしているときは**⓪**ボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れません）。

## 2-4. 入力信号を選択する

### 投写する信号を自動検出する

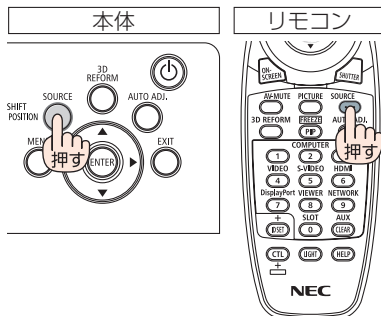
- 1 本機に接続しているコンピュータやブルーレイプレーヤなどの電源を入れる。

ブルーレイプレーヤなどの映像を投写するときには、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 (SOURCE) ボタンを1秒以上押す。

HDMI → DisplayPort → BNC → BNC(CV) → BNC(Y/C) → コンピュータ → HDBaseT → SLOT の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

- ・短く押すと、入力端子画面が表示されます。  
(▼▲) ボタンを押して目的の入力端子に合わせて、(ENTER) ボタンを押すと入力が切り替わります。  
入力端子画面のメニュー表示を消すには (MENU) ボタンまたは (EXIT) ボタンを押します。



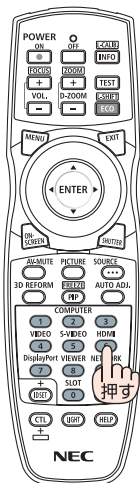
### リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 1 本機に接続しているコンピュータやブルーレイプレーヤなどの電源を入れる。

ブルーレイプレーヤなどの映像を投写するときには、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 リモコンの (HDMI)、(DisplayPort)、(COMPUTER 2)、(VIDEO)、(S-VIDEO)、(COMPUTER 1)、(NETWORK)、(SLOT) ボタンを押す。

- ・(COMPUTER 2) ボタンは BNC 入力端子を選択します。
- ・(VIDEO) ボタンは BNC (CV) 入力端子 (コンポジットビデオ信号) を選択します。
- ・(S-VIDEO) ボタンは BNC (Y/C) 入力端子 (S-ビデオ信号) を選択します。



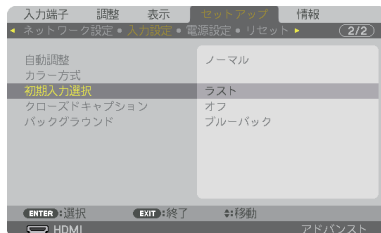
## 自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

### 1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「入力設定」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- ・ オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。 (90 ページ)



### 2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



### 3 (EXIT) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

### 4 本機の電源を入れなおす。

手順 2 で設定した信号が自動的に投写されます。

- 本機とコンピュータをコンピュータケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータの同期信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます（オートパワーオン選択）。(▶ 148 ページ)
- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。ブルーレイプレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合  
ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
  - ・ Windows のノートブックコンピュータの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

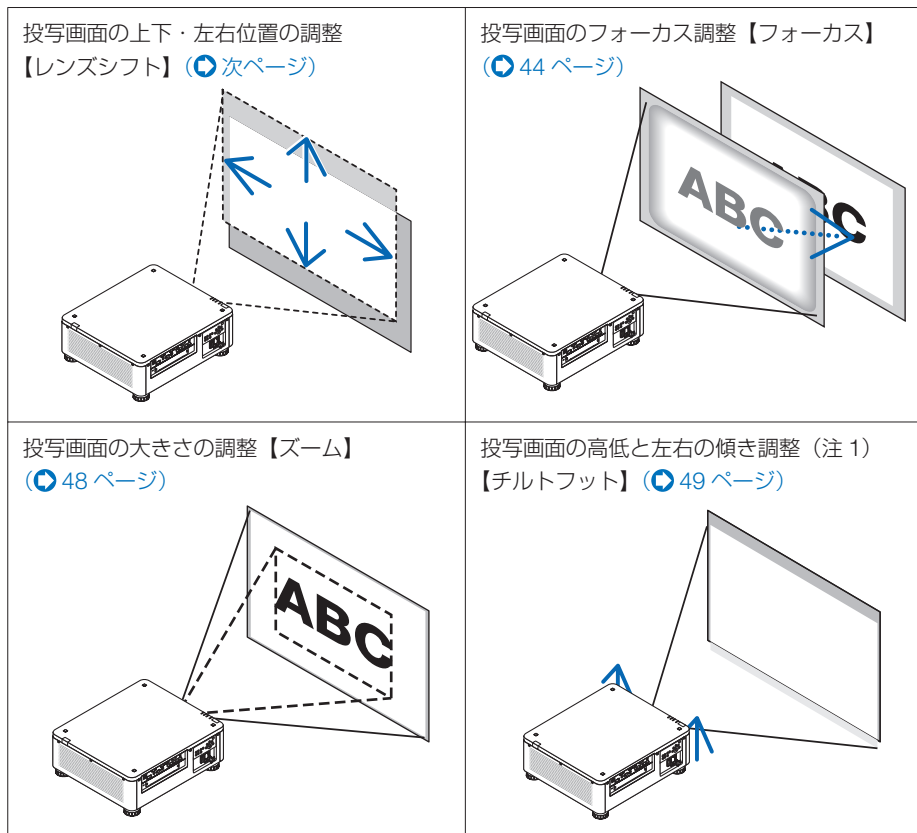
【コンピュータメーカーとキー操作の例】

<b>[Fn]</b> + <b>[F3]</b>	NEC
<b>[Fn]</b> + <b>[F8]</b>	DELL

- ※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- ・ Apple MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
  - ・ それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。  
(▶ 38 ページ)

## 2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。



(注 1) チルトフットによる投写画面の高低の調整は、レンズシフトの範囲よりも高い位置に投写する場合に行ってください。

※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

### 参考

- テストパターンを表示させて調整をすると合わせやすくなります。リモコンの **TEST** ボタンを押すと、テストパターンを表示します。  
◀▶ ボタンでテストパターンを切り替えます。  
テストパターンを消す場合は、他の入力信号に切り替えます。

## 投写画面の位置の調整（レンズシフト）



### 注意

- 調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

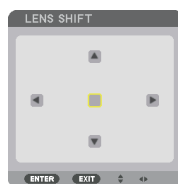
### 注意

- レンズユニット NP16FL または NP39ML をご使用の場合、レンズシフト調整はできません。NP16FL の場合は、レンズ位置をホームポジションから動かさずに使用してください。NP39ML の場合は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [設置 (2)] → [レンズポジション] → [種類] を実行して、レンズを最適な位置に移動して使用してください。 (▶ 131 ページ)
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。

## ● 本体で調整する

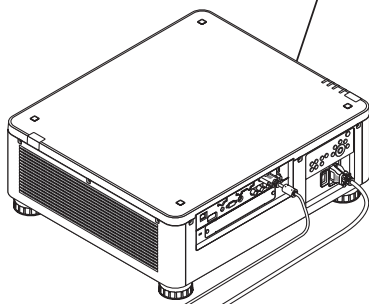
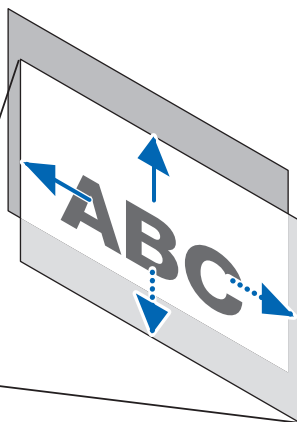
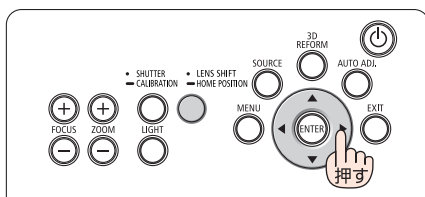
### 1 (LENS SHIFT/HOME POSITION) ボタンを押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。



### 2 (方向キー) ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



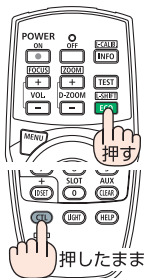
### レンズシフトをホームポジションに戻す場合

(LENS SHIFT/HOME POSITION) ボタンを長押し (約 2 秒以上) すると本機のレンズ位置がホームポジション (ほぼ中心位置) に戻ります。

## ●リモコンで調整する

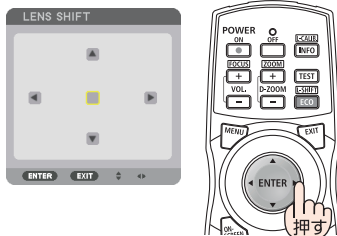
### 1 (CTL) ボタンを押したまま (ECO/L-SHIFT) を押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。



### 2 (▼▲◀▶) ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



### 注意

#### レンズキャリブレーションについて

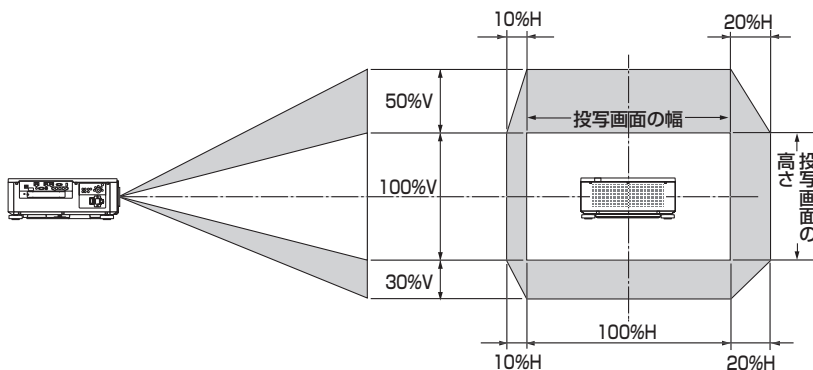
誤ってレンズシフト動作中に本機の電源を遮断すると、レンズのホームポジションがずれレンズシフトの動作が異常になる場合があります。その場合は、レンズキャリブレーションを実行してください。

操作手順

- 1 本機の電源を入れる。
- 2 (SHUTTER/CALIBRATION) ボタンを長く (2 秒以上) 押す。
  - ・ リモコンで操作する場合は (CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB.) ボタンを押します。
 レンズキャリブレーションが実行されます。

### 参考

- 下図はレンズシフト調整範囲 (投写方式：デスク/フロント) を示しています。これ以上投写位置を上げたいときはチルトフットを使います。(49 ページ)



記号の意味：V は垂直 (投写画面の高さ)、H は水平 (投写画面の幅) を表わし、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表わしています。

## 投写画面のフォーカス合わせ（フォーカス）

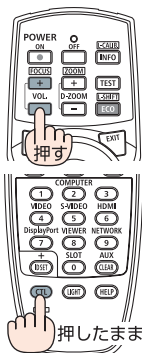
### ● 適応レンズユニット

NP16FL/NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/NP20ZL/NP21ZL

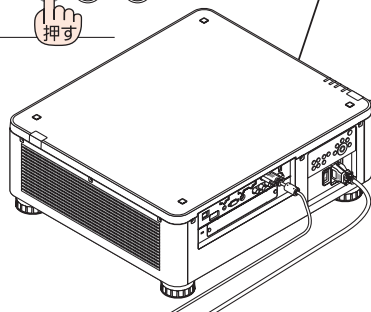
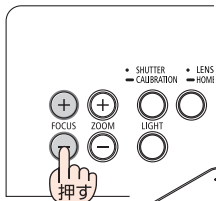
#### 1 FOCUS +/- ボタンを押す。

- ・リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(VOL./FOCUS +/-)ボタンを押します。フォーカス（画面のピント）が調整されます。

リモコン



本体



#### 参考

- 最適なフォーカス調整を行うには、次のように操作します（常駐設置する場合）。  
準備：投写状態にして約1時間ウォームアップします。
- ① (FOCUS +/-) ボタンを押してフォーカスの調整範囲を確認します。フォーカス範囲にない場合は、本体の設置位置を前後に移動してください。
- ② オンスクリーンメニューのテストパターンを表示させます。(▶100ページ)
  - ・リモコンで操作する場合は、(TEST)ボタンを押します。
- ③ テストパターンのピクセルの格子が確認できなくなるまで、(FOCUS -) ボタンを押す。
  - ・リモコンで操作する場合は(CTL)ボタンを押したまま(VOL./FOCUS -)ボタンを押します。
- ④ 最適なフォーカスになるまで、(FOCUS +) ボタンを押す。
  - ・リモコンで操作する場合は(CTL)ボタンを押したまま(VOL./FOCUS +)ボタンを押します。
- ・最適なフォーカスになる点を超えてしまった場合は、手順③④を繰り返します。

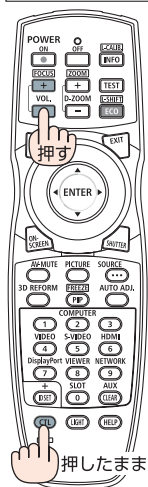
### ● 適応レンズユニット：NP31ZL

#### 1 FOCUS +/- ボタンを押して、光軸付近のフォーカスを合わせる（電動フォーカス）。

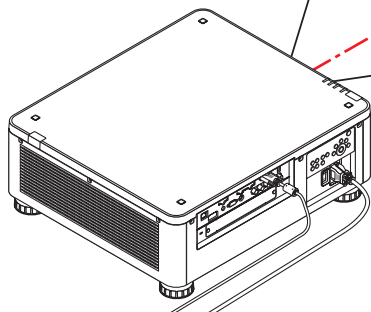
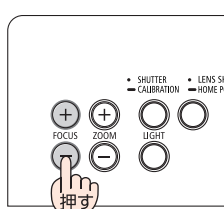
- ・リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(VOL./FOCUS +/-)ボタンを押します。次ページの図はレンズシフトを上方向へ移動しているときの例です。光軸は画面の下側にあります。



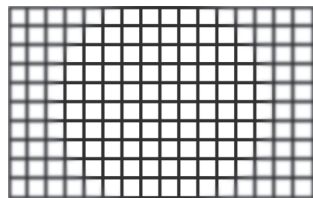
リモコン



本体



光軸

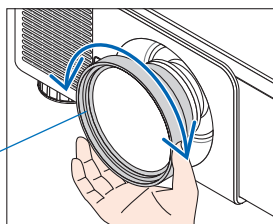


※ レンズシフトの位置がセンターのときは、光軸が中心にあるので、画面中央のフォーカスを合わせます。

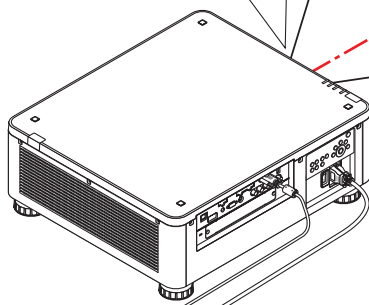
## 2 周辺フォーカスリングを左右に回し、画面周辺のフォーカスを合わせる (手動フォーカス)。

このとき、1で調整した光軸付近のフォーカスは変わりません。

周辺フォーカスリング



光軸



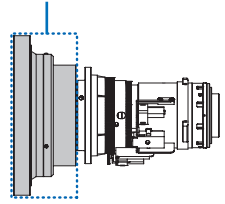
2

映像を投写する (基本操作)

参考

- NP31ZL は、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値をプロジェクター本体に保存するレンズメモリ機能に対応しています。ただし、調整値を保存した後に、レンズの周辺フォーカスリング（図で示した部分）を触って動かしてしまうと、レンズメモリを呼び出しても正しく調整されません。プロジェクター本体からレンズユニットを取り出して再度取り付けたときは、レンズメモリを呼び出した後、**2**に従って、画面周辺のフォーカス合わせをやりなおしてください。

周辺フォーカスリング



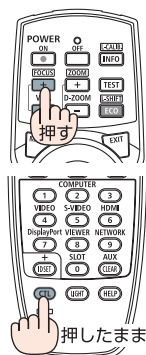
- 最適なフォーカス調整を行うには、次のように操作します（常駐設置する場合）。  
準備：投写状態にして約 1 時間ウォームアップします。
  - ① **FOCUS +/-** ボタンを押してフォーカスの調整範囲を確認します。
    - ・リモコンで操作する場合は **CTL** ボタンを押したまま **VOL./FOCUS +/-** ボタンを押します。フォーカス範囲にない場合は、本体の設置位置を前後に移動してください。
  - ② オンスクリーンメニューのテストパターンを表示させます。（▶ 100 ページ）
    - ・リモコンで操作する場合は、**TEST** ボタンを押します。
  - ③ テストパターンのピクセルの格子が確認できなくなるまで、**FOCUS -** ボタンを押す。
    - ・リモコンで操作する場合は **CTL** ボタンを押したまま **VOL./FOCUS -** ボタンを押します。
  - ④ 最適なフォーカスになるまで、**FOCUS +** ボタンを押す。
    - ・リモコンで操作する場合は **CTL** ボタンを押したまま **VOL./FOCUS +** ボタンを押します。
    - ・最適なフォーカスになる点を超えてしまった場合は、手順③④ を繰り返します。
  - ⑤ 周辺フォーカスリングを左右に回して、画面周辺のフォーカスを合わせる。

## ● 適応レンズユニット：NP39ML

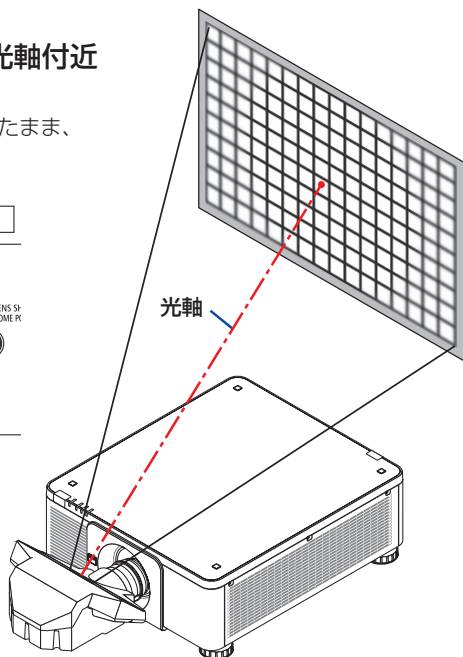
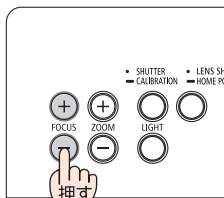
### 1 (FOCUS +/-) ボタンを押して、光軸付近のフォーカスを合わせる

- ・リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(VOL./FOCUS +/-)ボタンを押します。

リモコン



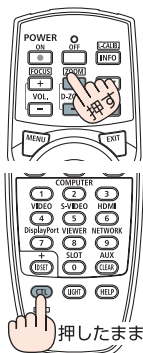
本体



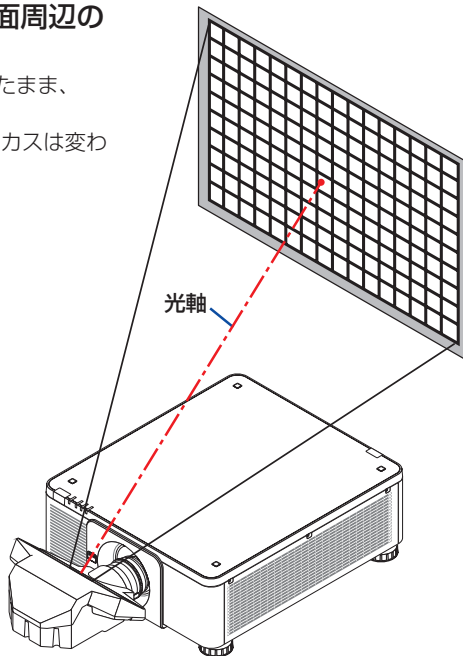
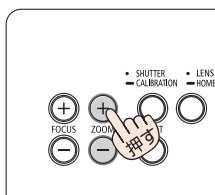
### 2 (ZOOM +/-) ボタンを押して、画面周辺のフォーカスを合わせる。

- ・リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(D-ZOOM/ZOOM +/-)ボタンを押します。
- このとき、1で調整した光軸付近のフォーカスは変わりません。

リモコン



本体



### 3 全体のフォーカスが合うまで1、2を繰り返す。

2

映像を投写する(基本操作)

## 参考

- 最適なフォーカス調整を行うには、次のように操作します（常駐設置する場合）。  
準備：投写状態にして約1時間ウォームアップします。
  - ① **(FOCUS +/-)** ボタンを押してフォーカスの調整範囲を確認します。
    - ・リモコンで操作する場合は**(CTL)** ボタンを押したまま **(VOL./FOCUS +/-)** ボタンを押します。フォーカス範囲にない場合は、本体の設置位置を前後に移動してください。
  - ② オンスクリーンメニューのテストパターンを表示させます。(**100 ページ**)
    - ・リモコンで操作する場合は、**(TEST)** ボタンを押します。
  - ③ テストパターンのピクセルの格子が確認できなくなるまで、**(FOCUS -)** ボタンを押す。
    - ・リモコンで操作する場合は**(CTL)** ボタンを押したまま **(VOL./FOCUS -)** ボタンを押します。
  - ④ 最適なフォーカスになるまで、**(FOCUS +)** ボタンを押す。
    - ・リモコンで操作する場合は**(CTL)** ボタンを押したまま **(VOL./FOCUS +)** ボタンを押します。
    - ・最適なフォーカスになる点を過ぎてしまった場合は、手順③④を繰り返します。
  - ⑤ **(ZOOM +/-)** ボタンを押して、周辺のフォーカスを合わせる。
    - ・リモコンで操作する場合は**(CTL)** ボタンを押したまま **(D-ZOOM/ZOOM +/-)** ボタンを押します。画面全体のフォーカスが最適になるまで手順①～⑤を繰り返します。

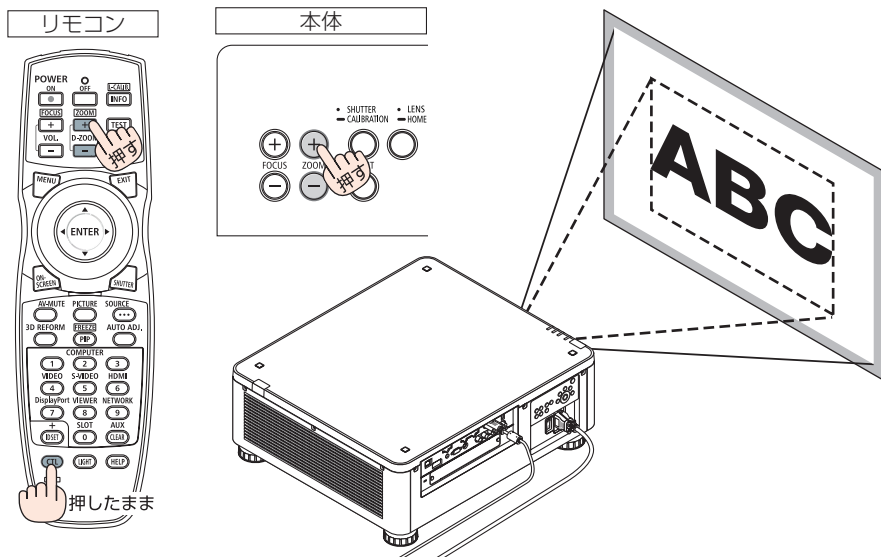
## 投写画面の大きさの調整（ズーム）

### ● 適応レンズユニット

NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/NP20ZL/NP21ZL/NP31ZL

#### 1 **(ZOOM +/-)** ボタンを押す。

- ・リモコンで操作する場合は**(CTL)** を押したまま、**(D-ZOOM/ZOOM +/-)** ボタンを押します。
- ズームが調整されます。



## 投写画面の高低と左右の傾き調整 (チルトフット)

### 1 4箇所のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。

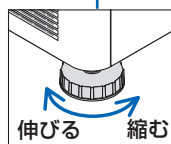
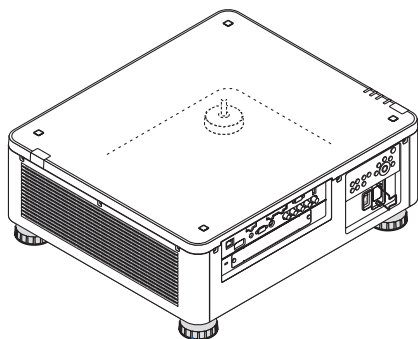
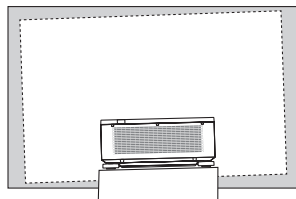
#### 【投写画面の高低調整】

前方(2箇所)または後方(2箇所)のチルトフットを回して高さ調整をします。

#### 【投写画面の傾き調整】

左右に傾いているときは、左側(2箇所)または右側(2箇所)どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- 投写画面が歪んでいるときは「3-7. 台形歪みを調整する(4点補正)」(▶ 58 ページ)や幾何学補正(▶ 117 ページ)をご覧ください。
- チルトフットは、最大48mm伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大6°傾けることができます。



チルトフット  
(4箇所)

2

映像を投写する(基本操作)

注意

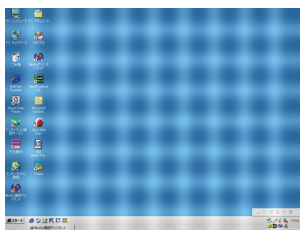
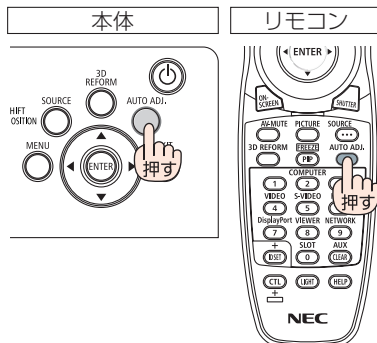
- チルトフットは50mm以上伸ばさないでください。50mmを超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットを調整する場合、前後2箇所のアジャスターを同時に伸ばし、荷重が均等にかかるようにしてください。いずれか1箇所のみを調整すると、荷重が均等にかからず、アジャスターが故障する原因となります。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- レンズユニット NP39ML を取り付けられているときは、レンズユニットが左右に傾いている場合があります。レンズユニットが水平になっているか確認してください。

## 2-6. コンピュータの映像を自動調整する

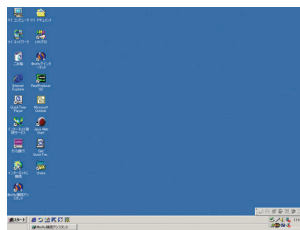
HDMI IN 端子、DisplayPort IN 端子、BNC 入力端子（アナログ RGB）、COMPUTER IN 端子、HDBaseT の入力信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

### 1 AUTO ADJ. ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

### 参考

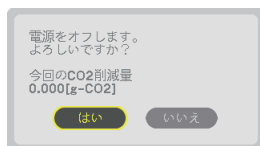
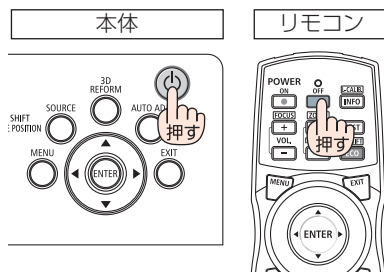
- 自動調整を行っても表示位置がずれていたたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(▶ 108, 109 ページ)
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、203 ページを参照してください。

## 2-7. 本機の電源を切る

### 1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回のCO<sub>2</sub>削減量を表示します。(57 ページ)
- リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。



### 2 (ENTER) ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます。

スタンバイ状態になると、POWER インジケータが赤色で点灯します。(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

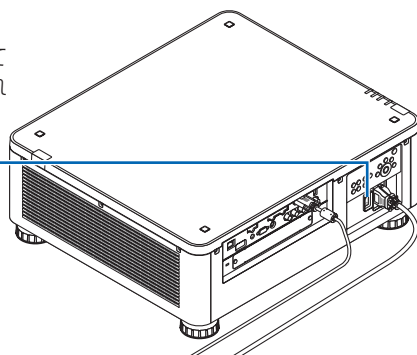
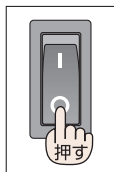
- (ENTER) ボタンの代わりに、電源ボタンまたは POWER (OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、左右のボタンで「いいえ」を選んで (ENTER) ボタンを押します。



### 3 スタンバイ状態になったのを確認し、主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機の POWER インジケータが消え、主電源が切れます。

- POWER インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。



**注意**

投写中および冷却ファン回転中に主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2

映像を投写する (基本操作)



- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

## 2-8. あとかたづけ

- 1** 電源コードを取り外す。
- 2** 各種信号ケーブルを取り外す。
- 3** レンズにレンズキャップを取り付ける。
- 4** 移動させるとき、チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。



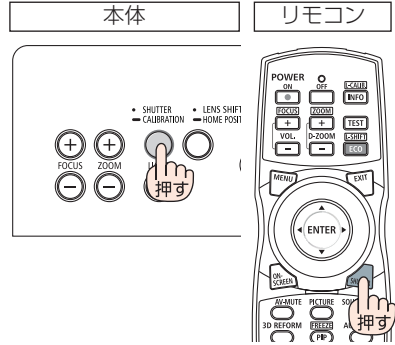
# 3. 便利な機能

## 3-1. 投写光を消去する (レンズシャッター)

### 1 SHUTTER/CALIBRATION ボタンを押す。

- リモコンで操作する場合は (SHUTTER) を押し  
ます。

光源が消灯して、投写光が一時的に消えます。  
もう一度 (SHUTTER/CALIBRATION) ボタン (リモコンは (SHUTTER) ボタン) を押すと投写されます。  
設定により、投写光を徐々に明るくしていく (フェードイン)、徐々に暗くしていく (フェードアウト) ことができます。 (▶ 129 ページ)



### 注意

- 本体の (SHUTTER/CALIBRATION) ボタンを長押し (2 秒以上) しないでください。長押しするとレンズのキャリブレーション動作を行います。

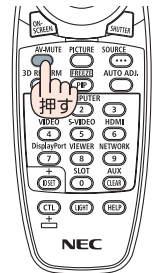
3

## 3-2. 映像を消去する (AV ミュート)

### 1 リモコンの (AV-MUTE) ボタンを押す。

投写されている映像が一時的に消えます。

- もう一度 (AV-MUTE) ボタンを押すと、映像が  
出ます。



### 参考

- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

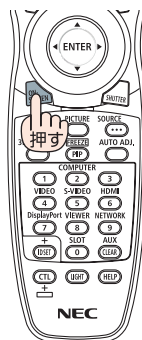
便利な機能

## 3-3. オンスクリーン表示を消去する (オンスクリーンミュート)

### 1 リモコンの (ON-SCREEN) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューや入力端子などの表示が出なくなります。

- もう一度 (ON-SCREEN) ボタンを押すと、オンスクリーン表示が出るようになります。



#### 参考

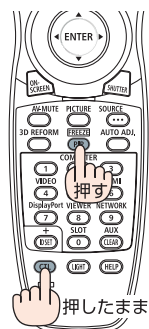
- オンスクリーンミュートが有効になっているかは、(MENU) ボタンを押したときにオンスクリーンメニューが出ないことで確認できます。
- 電源を切っても、オンスクリーンミュートの状態は保持されます。
- 本体でオンスクリーンミュートを無効にするには、本体の (MENU) ボタンを 10 秒以上押し続けます。無効になると、入力端子のメニューが表示されます。

## 3-4. 動画を静止画にする (静止)

### 1 リモコンの (CTL) ボタンを押したまま (PIP/FREEZE) ボタンを押す。

ブルーレイプレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (CTL) ボタンを押したまま (PIP/FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。



#### 参考

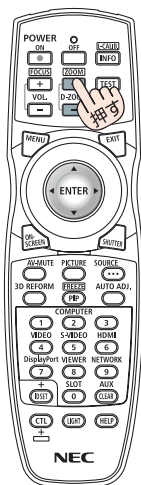
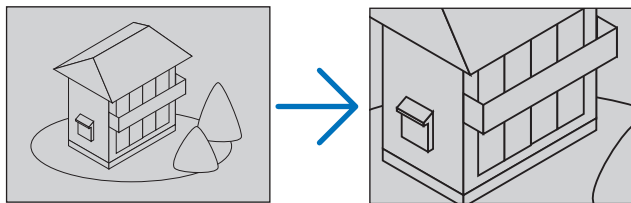
- (CTL) ボタンを押したまま (PIP/FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、ブルーレイプレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

## 3-5. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

### 1 リモコンの (D-ZOOM/ZOOM +) ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

- 最大 4 倍まで拡大できます。



### 2 ▼▲◀▶ ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

### 3 (D-ZOOM/ZOOM -) ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。

**注意**

- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合や動作を制限する場合があります。

**参考**

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

3

便利な機能

## 3-6. ライトモードと省エネ効果

ライトモードをエコ1またはエコ2に設定すると、輝度が下がり動作音が小さくなります。また、消費電力を抑えて、本機のCO<sub>2</sub>排出量を削減します。

ライトモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	輝度
ノーマル (表示なし)	輝度 (明るさ) が 100% になります。 明るい画面になります。
エコ1 (🌿)	輝度 (明るさ) が約 80% になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力が下がります。
エコ2 (🌿)	輝度 (明るさ) 約 50% になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力がさらに下がります。

### ライトモードを切り替える

#### 1 LIGHT ボタンを押す

- リモコンで操作する場合は (ECO/L-SHIFT) ボタンを押します。

ライトモード画面が表示されます。



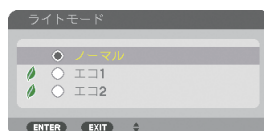
#### 2 (ENTER) ボタンを押す。

ライトモード選択画面が表示されます。

#### 3 ▼/▲ ボタンを押して選択し、(ENTER) ボタンを押す。

ライトモード画面に戻り選択したモードに切り替わります。

(MENU) ボタンを押すとライトモード画面が消えます。




#### 参考

- オンスクリーンメニューのセットアップ→設置(1)→ライトモード→ライトモードでも切り替えることができます。
- ライト使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(🔗 151 ページ)
- 本機に入力信号がない状態 (ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき) のまま約 1 分経過すると、自動的にエコに切り替わります。その後、本機が入力信号を感知するとエコはもとの設定状態に戻ります。

- 本機は、気圧と温度を検知して出力をコントロールする機能を搭載しています。標高や温度が高い場所で使用すると、ライトモードの設定にかかわらず、輝度（明るさ）が下がります。この状態を「強制エコモード」と呼びます。強制エコモードの条件と出力は以下のとおりです。

標高 \ 温度	5℃～25℃	26℃～30℃	31℃～35℃	36℃～40℃
1,600m～3,000m	100%	90%	80%	70%
1,200m～1,600m	100%		90%	80%
0m～1,200m	100%			80%

強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、TEMP. インジケータがオレンジ色に点灯しメニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。

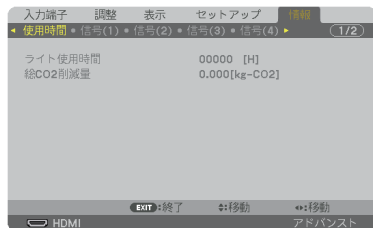
強制エコモード中は、ライトモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

## 省エネ効果を見る（カーボンメータ）

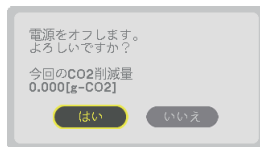
本機のライトモードを「エコ1」または「エコ2」に設定している期間の省エネ効果をCO<sub>2</sub>排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

表示には「総CO<sub>2</sub>削減量」と「今回のCO<sub>2</sub>削減量」があります。

「総CO<sub>2</sub>削減量」は本機の工場出荷時から現在までのCO<sub>2</sub>削減量(kg)を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(🔗 151 ページ)



「今回のCO<sub>2</sub>削減量」は電源を入れてエコに切り替わってから電源を切るまでのCO<sub>2</sub>削減量(g)を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



### 参考

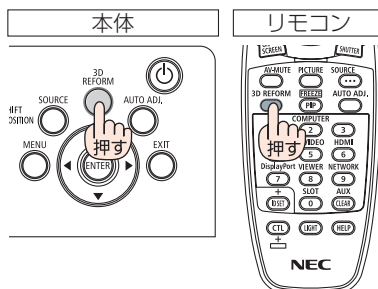
- CO<sub>2</sub>排出削減量は、ライトモードを「ノーマル」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO<sub>2</sub>排出係数を掛けて算出\*します。  
ライトモードを「エコ1」または「エコ2」に設定して使用したりレンズシャッターを使用すると、CO<sub>2</sub>排出削減量の値は増加します。  
\* CO<sub>2</sub>削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総CO<sub>2</sub>削減量」は15分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどライトモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

## 3-7. 台形歪みを調整する（4点補正）

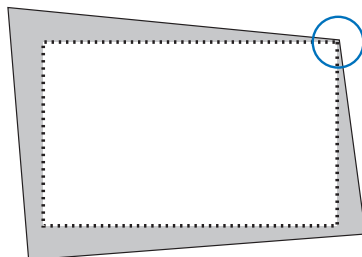
4点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

### 1 3D REFORM ボタンを2秒以上押す。

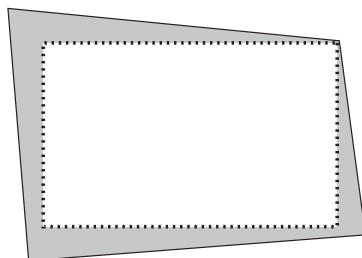
幾何学補正の調整値がクリアされます。



### 2 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

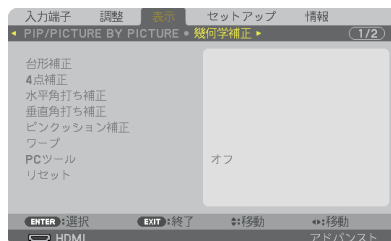


### 3 スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。



### 4 3D REFORM ボタンを押す。

オンスクリーンメニューの幾何学補正画面を表示します。



- 5 ▼ ボタンを押して「4点補正」に合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

4点補正画面に切り替わります。

注意

- すでに4点補正以外の幾何学補正機能を設定しているとき、4点補正画面は表示されません。表示されない場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押すか、幾何学補正のリセットを実行して、幾何学補正の調整値をクリアしてください。



- 6 ▼▲◀▶ ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ (図は左上の▲)。

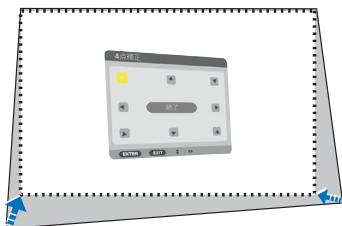
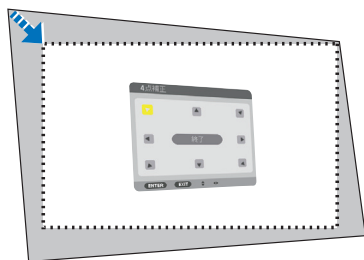
- 7 (ENTER) ボタンを押す。

- 8 ▼▲◀▶ ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。

- 9 (ENTER) ボタンを押す。

- 10 ▼▲◀▶ ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。

- 11 手順7～10を繰り返し、台形歪みを調整する。



- 12 台形歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、(ENTER) ボタンを押す。

調整終了画面が表示されます。



**13** ◀▶ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- ・「取消」を選択して(ENTER)ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。

**注意**

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の4点補正の調整値を保持しています。
- 4点補正の調整値をクリアする場合は、次のいずれかを行います。
  - ・ 手順18で「リセット」を選び、(ENTER)ボタンを押します。
  - ・ (3D REFORM) ボタンを2秒以上押します。
  - ・ オンスクリーンメニューの表示→幾何学補正→リセットを実行します。
- 4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。



## 3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

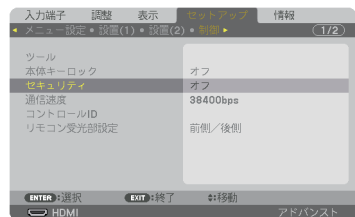
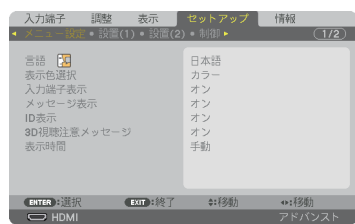
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

**注意**

- セキュリティは、リセットでは解除されません。

### セキュリティを有効にする

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「メニュー設定」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「制御」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **(▼)** ボタンで「オン」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **(▼▲▶)** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。



3

便利な機能



- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



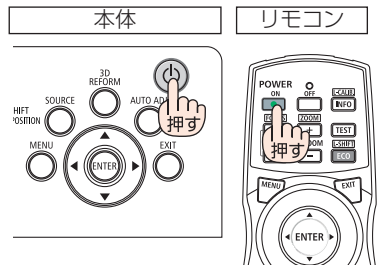
- 7** **6**で設定したセキュリティキーワードを再入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
確認画面が表示されます。



- 8** **(LEFT)** ボタンで「はい」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティが有効になります。

## セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

- 1** **(POWER)** ボタンを押す。  
・リモコンで操作する場合は、POWER **(ON)** ボタンを押します。  
本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



- 2** **(MENU)** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



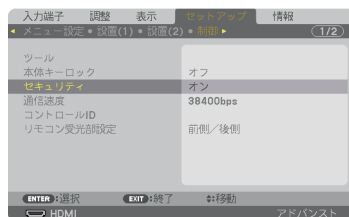
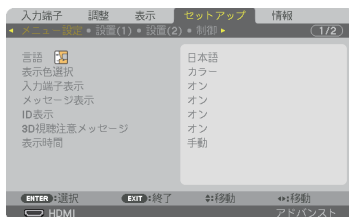
- 3** セキュリティキーワードを入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



- セキュリティロックの解除状態は、AC電源を切断するまで保持されます。

## セキュリティを無効にする

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。  
メニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「メニュー設定」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「制御」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **(▲)** ボタンで「オフ」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** セキュリティキーワードを入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティが無効になります。



3

便利な機能

参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（[▶ 裏表紙](#)）にご連絡ください。

## 3-9. 3D 映像を投写する

本機は 3D 映像を投写することができます。  
DLP® Link 方式と、3D エミッタを使用する方式に対応しています。

### 注意

#### ●健康に関するご注意

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイプレーヤ、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。

健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

- 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

### 本機で 3D 映像を視聴する手順

#### ● DLP® Link 方式の場合

- ・工場出荷時は、本機の 3D メガネ設定を「DLP® Link」にしています。

#### 3D メガネの準備

DLP® Link 方式に対応した市販の液晶シャッターメガネを使用します。

#### 1 本機と映像機器を接続する。

#### 2 本機の電源を入れる。

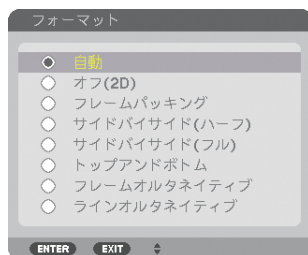
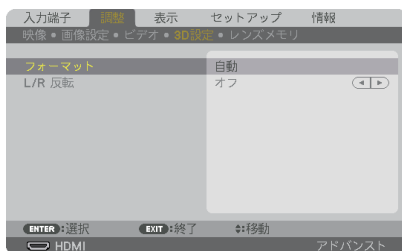
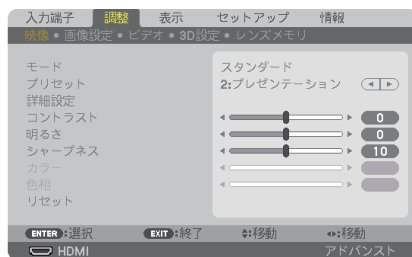
#### 3 3D 映像のソフトを再生する。

3D 映像が投写されます。

- ・工場出荷時は、3D 設定のフォーマットを「自動」に設定しているため、自動で判別して 3D 映像を投写します。3D 映像を投写しない場合は、3D 検出信号が含まれていない、本機で検出できない場合があります。手動でフォーマットの選択を行ってください。

[\(○次ページ\)](#)

- ① (MENU) ボタンを押す。  
 オンスクリーンメニューが表示されます
- ② (▶) ボタンを押して「調整」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
 「映像」にカーソルが移動します。
- ③ (▶) ボタンを押して「3D 設定」にカーソルを合わせる。  
 3D 設定画面が表示されます。
- ④ (▼) ボタンを押して「フォーマット」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
 フォーマット設定画面が表示されます。
- ⑤ (▼▲) ボタンを押して目的のフォーマットにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
 設定されて 3D 設定画面に戻ります。  
 (MENU) ボタンを押すとオンスクリーンメニューが消えます。



- 3D 映像に切り替わると、3D 視聴注意メッセージ画面を表示します (工場出荷状態)。前ページの「健康に関するご注意」をお読みいただき正しく視聴してください。60 秒の経過、または (ENTER) ボタンを押すと画面は消えます。(▶ 125 ページ)

#### 4 3D メガネの電源を入れ、メガネを装着して映像を視聴する。

2D 映像が入力されると通常の映像になります。

3D 映像を強制的に 2D 映像にするにはフォーマットで「オフ (2D)」を選択します。

#### 注意

- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。
- DLP® Link 方式の 3D メガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D メガネで同期信号が正常に受光できず、3D 映像が観づらくなることがあります。
- 3D 映像のときは、台形補正の調整範囲が狭くなります。
- 3D 映像のときは、次の設定は無効になります。  
 壁色補正、映像メニューのプリセット、参照、色温度、ダイナミックコントラスト、Brilliant Color
- 3D 対応信号以外と判別した場合は OUT OF RANGE または 2D で表示されます。  
 (▶ 191 ページ)

## ● 3D エミッタを使用する場合

本機は、市販の3D 対応のアクティブシャッター方式の3D メガネを使って、3D 映像を視聴することができます。その際、3D 映像とメガネの同期を取るために、市販の3D エミッタという装置を本機（プロジェクター側）に接続する必要があります。3D メガネは3D エミッタからの情報を受けて、左右の開閉を行います。

### 3D メガネおよび3D エミッタの準備

アクティブシャッター方式の3D メガネは、VESA 準拠を使用ください。

市販の Xpand 製 RF タイプを推奨します。

- ・3D メガネ …………… Xpand X105-RF-X2
- ・3D エミッタ …… Xpand AD025-RF-X1

### 1 3D エミッタを本機の3D SYNC 端子に接続する。

### 2 本機の3D メガネ設定を「その他」に変更する。

オンスクリーンメニューのセットアップ→設置(1) → 3D  
メガネを選択し、「その他」に変更してください。

[👉 129 ページ](#)



以降の視聴手順は「● DLP® Link 方式の場合」[👉 64 ページ](#)と同じです。

### 注意

- 3D 映像に切り替えると、次の機能が解除され使用できなくなります。  
プランキング、PIP/PICTURE BY PICTURE、幾何学補正、エッジレンディング  
(幾何学補正、エッジレンディングの調整値は保持しています。)
- 3D 入力信号によっては自動で3D 映像に切り替わらない場合があります。
- ブルーレイプレーヤの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D エミッタの DIN 端子を本機の3D SYNC に接続してください。
- 3D メガネは、3D エミッタから出力される同期信号を受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。  
そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなることがあります。
- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックステップの性能が低いと3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。
- 信号によっては、フォーマット、L/R 反転が選択できない場合があります。その際は信号を変更してください。

## 3D 映像が視聴できないとき

3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。  
また、3D メガネに添付している取扱説明書をご覧ください。

考えられる原因	解決策
選択している信号が 3D に対応していない。	3D 対応の映像信号を入力してください。
選択している信号に対してフォーマットが「オフ (2D)」になっている。	オンスクリーンメニューでフォーマットを「自動」または対応のフォーマットにしてください。
本機に対応したメガネを使用していない。	市販の 3D メガネおよび 3D エミッタ (推奨品) をお買い求めください。 (P.64, 66 ページ)
本機に対応した 3D メガネを使用して 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
3D メガネの電源をオフにしている。 3D メガネに内蔵している電池が消耗している。	3D メガネの電源をオンにしてください。 充電するか、電池を交換してください。
視聴者とスクリーンの距離が離れ過ぎている。	3D 映像が視聴できるまでスクリーンに近づいてください。 オンスクリーンメニューで L/R 反転を「オフ」にしてください。
周辺で複数台の 3D 対応プロジェクターを同時に動かしているため、干渉しあっている。 または、スクリーンの近くに明るい光源がある。	プロジェクター同士を十分離してください。 スクリーンを光源から離してください。 オンスクリーンメニューで L/R 反転を「オフ」にしてください。
コンピュータで再生している 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
コンピュータの動作環境が 3D 映像の再生に適していない。	お使いのコンピュータが、再生する 3D 映像の説明書に記載されている動作環境を満たしているか確認してください。
コンピュータから出力されている信号の解像度が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータの解像度を、本機で 3D 映像と認識できる解像度に変更してください。
コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数を 60Hz または 120Hz に変更してください。
3D メガネの受光部と 3D エミッタの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
3D 映像コンテンツの 3D 方式に対応していない。	3D 映像コンテンツの販売会社へお問い合わせください。

## 3-10. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

### 概要

HTTP サーバ機能では次の設定や操作が行えます。

- (1) 本機をネットワーク（有線 LAN）に接続するための設定を行います（NETWORK SETTINGS）。  
本機とコンピュータを市販の LAN ケーブルで接続してください。(🔗 165 ページ)
- (2) メール通知の設定を行います（ALERT MAIL）。  
本機をネットワーク（有線 LAN）に接続しているときに、各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- (3) 本機の操作を行います。  
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などが行えます。
- (4) PJLink PASSWORD や AMX BEACON などの設定を行います。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、次の 2 つの方法があります。

- 本機とネットワークで接続されたコンピュータでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http:// <本機の IP アドレス> /index.html` と指定する。

#### 参考

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

#### 注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。



## 使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(▶ 165 ページ)

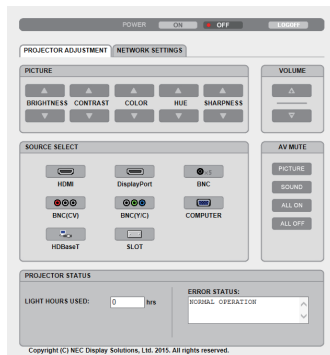
プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバはできるだけ使用しないことを推奨します。

## ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い




ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
<http://pj.nec.co.jp/index.html> と指定します。
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
<http://192.168.73.1/index.html> と指定します。

## プロジェクター調整

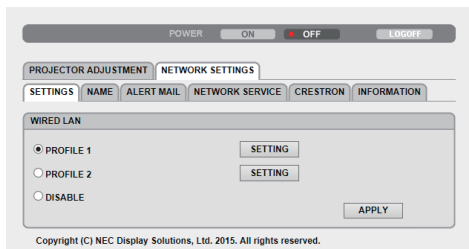


次ページに続く

<b>POWER</b>	本機の電源をオン/オフします。 ON 電源をオンにします。 OFF 電源をオフにします。
<b>VOLUME</b>	本機では使用できません。
<b>AV-MUTE</b>	本機の MUTE をコントロールします。 PICTURE 映像をミュート（一時的に消去）します。 PICTURE  映像ミュートを解除します。 SOUND 本機では使用できません。 SOUND  本機では使用できません。 ALL ON 映像をミュート（一時的に消去）します。 ALL OFF 映像のミュートを解除します。
<b>PICTURE</b>	本機の映像調整をコントロールします。 BRIGHTNESS ▲ 明るさの調整値をアップします。 BRIGHTNESS ▼ 明るさの調整値をダウンします。 CONTRAST ▲ コントラストの調整値をアップします。 CONTRAST ▼ コントラストの調整値をダウンします。 COLOR ▲ カラーの調整値をアップします。 COLOR ▼ カラーの調整値をダウンします。 HUE ▲ 色相の調整値をアップします。 HUE ▼ 色相の調整値をダウンします。 SHARPNESS ▲ シャープネスの調整値をアップします。 SHARPNESS ▼ シャープネスの調整値をダウンします。
※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「5-4 調整」の「明るさ/コントラスト/シャープネス/カラー/色相」(  107 ページ) をご覧ください。	
<b>SOURCE SELECT</b>	本機の入力端子を切り替えます。 HDMI HDMI IN 端子に切り替えます。 DisplayPort DisplayPort IN 端子に切り替えます。 BNC BNC 入力端子に切り替えます。 BNC (CV) BNC (CV) 入力端子に切り替えます。 BNC (Y/C) BNC (Y/C) 入力端子に切り替えます。 COMPUTER COMPUTER IN 端子に切り替えます。 HDBaseT HDBaseT 対応の伝送機器から送られてくる映像入力に切り替えます。 SLOT 別売のオプションボードを搭載しているときに、その映像入力に切り替えます。
<b>PROJECTOR STATUS</b>	本機の状態を表示します。 LIGHT HOURS USED 光源の使用時間を表示します。 ERROR STATUS 本機内部のエラー発生状況を表示します。

# ネットワーク設定

http:// <本機の IP アドレス> /index.html



## ● SETTINGS

### WIRED

SETTING	有線 LAN に必要な設定を行います。
APPLY	「SETTING」の設定情報で有線 LAN に接続します。
DISABLE	有線 LAN を無効にします。
PROFILE 1/PROFILE 2	有線 LAN 使用する場合、各々 2 とおりの設定を本機のメモリに記憶することができます。
DHCP ON	DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。
DHCP OFF	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
IP ADDRESS	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
GATEWAY	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
AUTO DNS ON	DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。
AUTO DNS OFF	本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。

3

便利な機能

## ● NAME

PROJECTOR NAME	<p>本機を含む複数のプロジェクターが LAN に接続されている場合、コンピュータ側でプロジェクターを識別するのに使います。英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。</p> <p>● プロジェクター名は、リセットを行っても変更されません。</p>
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 15 文字まで入力できます。
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 60 文字まで入力できます。

## ● ALERT MAIL

ALERT MAIL	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機に各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</p> <p><b>参考</b>  <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。</p> <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Subject: [Projector] Projector Information          冷却ファンの回転が停止しています。          [情報]          プロジェクター名：PX803UL Series          ライト使用時間：0000 [H]</p> </div>
SENDER'S ADDRESS	本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。
SMTP SERVER NAME	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。
TEST MAIL	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。</li> <li>● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。</li> </ul>
SAVE	設定情報を本機のメモリへ記憶します。

## ● NETWORK SERVICE

PJLink PASSWORD	<p>PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合に、パスワードを設定します。</p> <p>パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。</p>
HTTP PASSWORD	<p>HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。</p> <p>パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。</p> <p>パスワードを設定すると LOGON 時にユーザーネーム (任意) と設定のパスワードを要求されます。</p>

次ページに続く

AMX BEACON	<p>本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。</li> </ul> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。</p>
Extron XTP	<p>本機を Extron 社の XTP トランスミッターに接続する場合に設定します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …XTP トランスミッターとの接続を有効にします。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……XTP トランスミッターとの接続を無効にします。</p>

## ● CRESTRON

ROOMVIEW：コンピュータで制御する場合に設定します。

DISABLE	ROOMVIEW を無効にします。
ENABLE	ROOMVIEW を有効にします。

CRESTRON CONTROL：コントローラで制御する場合に設定します。

DISABLE	CRESTRON CONTROL を無効にします。
ENABLE	CRESTRON CONTROL を有効にします。
IP ADDRESS	CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER の IP ID を設定します。

## ● INFORMATION

WIRED LAN	有線 LAN の設定情報を一覧表示します。
UPDATE	設定情報を変更した場合、一覧の表示を更新します。

- 参考**
- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。このときパスワード入力画面に表示されているサービス問合わせ用シリアルコード「XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX」（X は英数字）をお知らせください。
  - CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。（英語のみ）  
<http://www.crestron.com>

## 3-11. レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する（レンズメモリ）

スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）を本機のメモリに保存することができます（レンズメモリ機能）。保存したレンズメモリを呼び出すと自動的に調整します。レンズメモリ機能には2つの保存方法があります。

機能	説明	参照ページ
基準レンズメモリ	すべての入力信号共通の調整値です。本機を設置するときに使い、2種類の調整値を記録することができます。 レンズメモリに調整値が保存されていない場合は、選択されているプロファイルの調整値（基準レンズメモリ）でレンズを調整します。	130
レンズメモリ	入力信号ごとの調整値として保存されます。 アスペクト比や解像度などが異なる入力信号のときに使います。 入力信号を切り替えたときレンズメモリに保存している調整値でレンズを調整することもできます。	114

### 注意

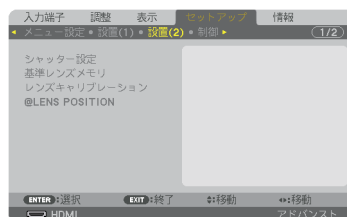
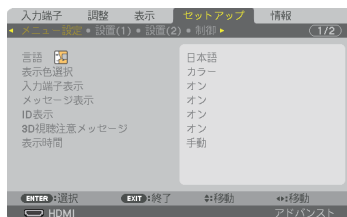
- レンズユニット NP16FL の場合は、フォーカスの調整値のみ保存できます。
- レンズユニット NP39ML の場合は、レンズメモリ機能は使用できません。
- レンズユニットを交換したあとは、必ずレンズキャリブレーションを行ってください。（☑ 36, 131 ページ）  
キャリブレーションが必要なレンズユニットの型名  
NP16FL/NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/NP20ZL/NP21ZL/NP31ZL

## レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する

**準備**：投写画面の位置と大きさを調整してください。（☑ 42 ページ）

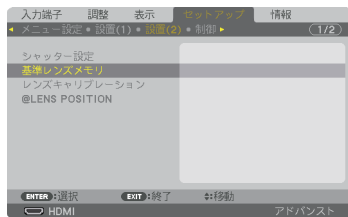
ここでは、基準レンズメモリで説明します。

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンを押して「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「メニュー設定」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置 (2)」にカーソルを合わせる。



- 4 ▼ ボタンを押して「基準レンズメモリ」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

基準メモリ設定画面が表示されます。



- 5 「プロファイル」にカーソルがあることを確認して、(ENTER) ボタンを押す。

プロフィール選択画面が表示されます。



- 6 ▼/▲ ボタンを押して登録するプロフィール番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

基準メモリ設定画面に戻ります。



- 7 ▼ ボタンを押して「登録」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

確認画面を表示します。

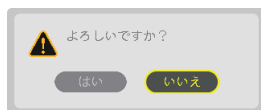


- 8 ◀ ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値が選択したプロフィール番号に上書き保存されます。

- ・「映像ミュートシャッター」はレンズ移動時に投写光を遮断するときに設定します。

(130 ページ)



- 9 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニュー画面が消えます。

参考

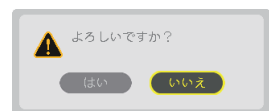
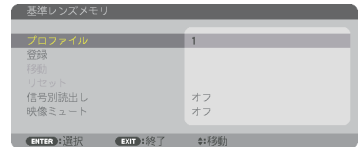
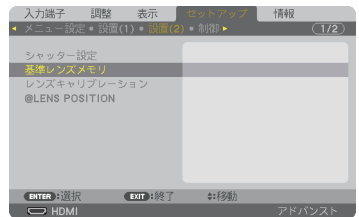
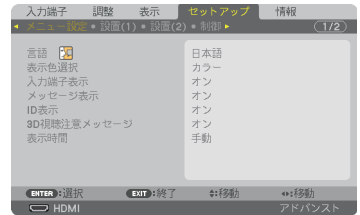
- レンズメモリに保存する場合は、オンスクリーンメニューの調整→レンズメモリの「登録」で行ってください。(114 ページ)

3

便利な機能

## 基準レンズメモリを呼び出す

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンを押して「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「メニュー設定」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置 (2)」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「基準レンズメモリ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
基準レンズメモリ画面が表示されます。
- 5** 「プロファイル」にカーソルがあることを確認して、**(ENTER)** ボタンを押す。  
プロファイル選択画面が表示されます。
- 5** **(▼/▲)** ボタンを押して呼び出したプロファイル番号にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
基準メモリ設定画面に戻ります。
- 5** **(▼)** ボタンを押して「移動」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
確認画面を表示します。
- 6** **(◀)** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
選択したプロファイルに登録されている調整値にレンズが移動します。
- 7** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が消えます。





## ● レンズメモリを直接呼び出すには

- ① オンスクリーンメニューの調整→レンズメモリの「移動」を選択し、(ENTER)ボタンを押してください。確認画面を表示します。
- ② ◀ボタンで「はい」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。  
投写中の入力信号の調整値が保存されている場合は、レンズが移動します。保存されていない場合は、基準レンズメモリの選択されているプロファイル番号の調整値に移動します。



## ● レンズメモリの調整値を自動で呼び出すには

- ① 前ページ「基準レンズメモリを呼び出す」の手順5のときに「信号別読出し」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。信号別読出し画面を表示します。
- ② ▼ボタンを押して「オン」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。  
これで、保存済みの入力信号に切り替えると自動でレンズが移動します。



- レンズメモリ機能は、保存された各調整状態を完全に再現するものではありません。レンズメモリの呼び出し操作後、状態に合わせて、レンズシフト、ズーム、およびフォーカス位置の微調整を実施してください。

# 4. マルチスクリーン投写

## 4-1. マルチスクリーン投写でできること

本機では、単体または複数台を並べてマルチスクリーン投写が行えます。  
ここでは2つの投写事例をご紹介します。

### ケース1

1台のプロジェクターを使って2種類の映像を同時に投写する  
【PIP / PICTURE BY PICTURE】

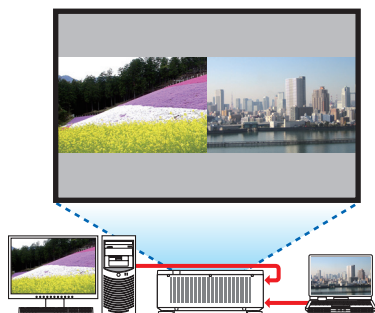
### ケース2

4台のプロジェクター（解像度：WUXGA）を使って  
解像度 2560 × 1600 の映像を投写する  
【タイリング】

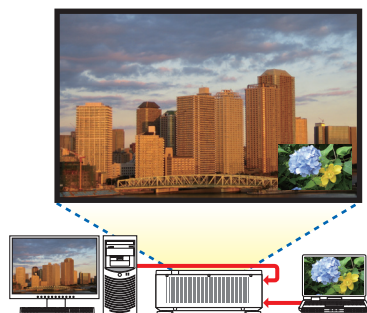
### ケース1. 1台のプロジェクターを使って2種類の映像を投写する 【PIP / PICTURE BY PICTURE】

#### ●接続例と投写イメージ

PICTURE BY PICTURE の場合



PIP の場合



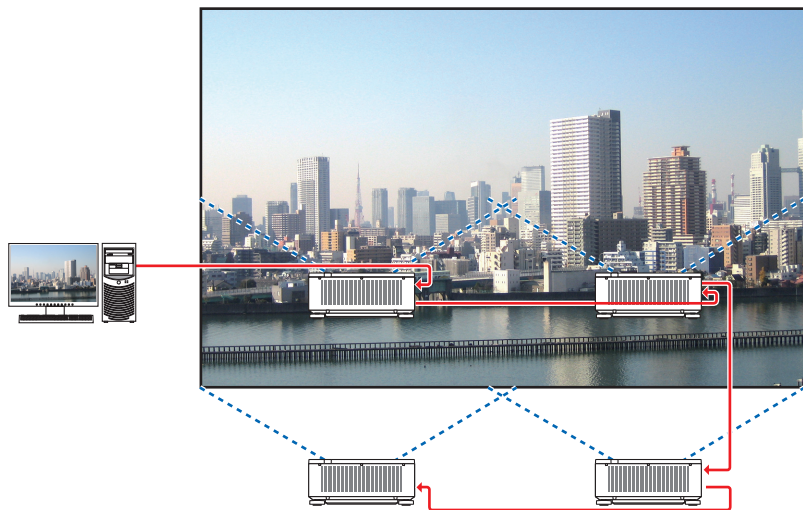
#### ●オンスクリーンメニューの操作

オンスクリーンメニューの表示 → PIP/PICTURE BY PICTURE → モード画面を表示して、「子画面設定」または「PICTURE BY PICTURE」を選択します。

詳しい操作は「4-2. 2つの映像を同時に投写する」をご覧ください。（▶ 82 ページ）

## ケース 2. 4 台のプロジェクター (解像度 : WUXGA) を使って 解像度 2560 × 1600 の映像を投写する【タイリング】

### ●接続例と投写イメージ



### ●オンスクリーンメニューの操作

ステップ 1 : 4 台のプロジェクターを投写すると、4 つの同じ画像が表示されます。  
各プロジェクターの投写位置の調整は販売店に依頼してください。



#### 注意

- 設置時には、各プロジェクターに対して異なるコントロール ID を設定してください。
- ブルーレイプレーヤ (またはコンピュータ) のカラー設定、DeepColor 設定は、自動に設定してください。詳しくはブルーレイプレーヤの取扱説明書をご覧ください。

次ページに続く

**注意**

- ブルーレイプレーヤ（またはコンピュータ）の HDMI 信号は、1 台目のプロジェクターに接続してください。そして、タイリングする 2 台目以降のプロジェクターの HDMI IN 端子に接続してください。
- 2 台目以降のプロジェクターの端子切り替えや HDMI ケーブルの抜き差しを行うと、HDMI リピーター機能が動作しなくなります。

### ステップ 2：4 台のプロジェクターの各々でオンスクリーンメニューを操作して、画像を 4 分割します。

オンスクリーンメニューの表示→マルチスクリーン→映像設定画面を表示して、モードを「タイリング」に設定します。その後、映像設定画面でタイリングを選択します。

- ① 横台数設定画面で「2 台」を選択する。（横方向の台数）
- ② 縦台数設定画面で「2 台」を選択する。（縦方向の台数）
- ③ 横順番設定画面で「1 台目」または「2 台目」を選択する。（スクリーンを見て、左側が「1 台目」、右側が「2 台目」）
- ④ 縦順番設定画面で「1 台目」または「2 台目」を選択する。（スクリーンを見て、上側が「1 台目」、下側が「2 台目」）

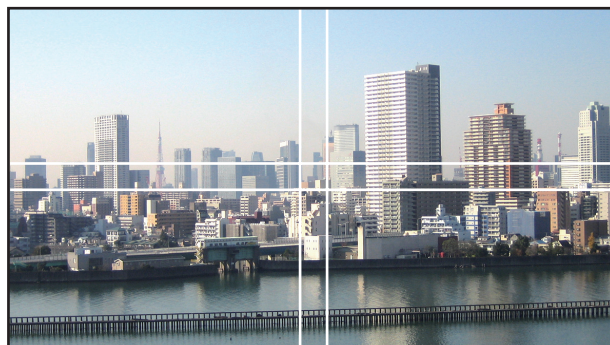


### ステップ 3：各プロジェクターのレンズシフトを調整して画面の境界を微調整します。

さらに微調整を行う場合は、各プロジェクターのオンスクリーンメニューの表示→エッジレンディングで調整してください。

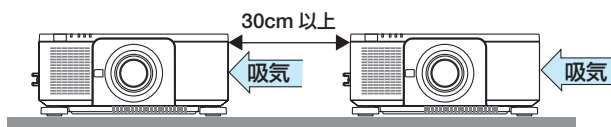
詳しい操作は「4-3. エッジレンディング機能を使って投写する」をご覧ください。

([🔗 85 ページ](#))

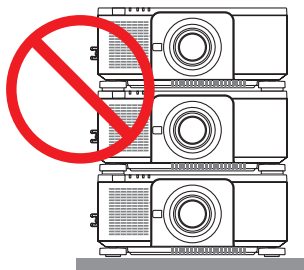


## プロジェクターの設置に関するお願い

- プロジェクターを2台以上並べて設置する場合は、吸気に障害が生じないように、30m以上の空間をあけてください。また、吸気口と壁との間は30cm以上、排気口と壁との間は50cm以上の空間をあけてください。吸気と排気に障害が生じると、プロジェクターの内部温度が上昇し、故障の原因となります。

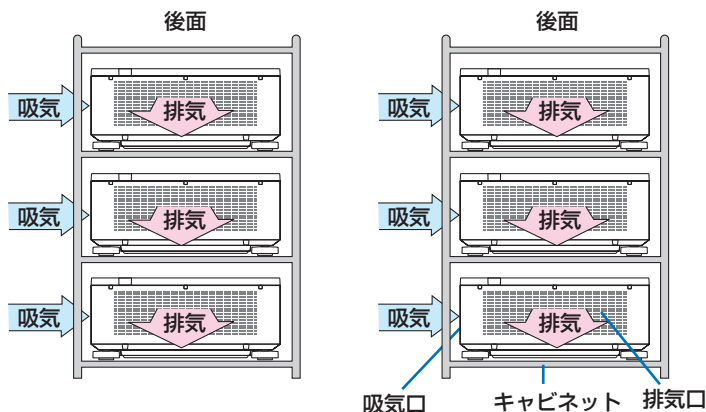


- プロジェクターを2台積み重ねて使用することができません（スタック設置）。(169ページ)  
本機を3台以上直接積み重ねて設置しないでください。積み重ねて使用した場合、落下してプロジェクターの破損・故障の原因となることがあります。



- プロジェクターを3台以上使用する場合の設置例  
マルチスクリーン投写をするにあたり、プロジェクターを3台以上組み合わせて設置する場合は、次のような設置をおすすめします。

### 【設置例】



**警告**

天吊りなどの特殊な設置は販売店にご依頼ください。お客様による設置は絶対に行わないでください。プロジェクターが落下して、けがの原因となります。設置には、プロジェクターの質量に耐える丈夫なキャビネットを使用してください。プロジェクターを直に積み重ねないでください。

**注意**

- 投写距離の範囲については、9. 付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。(183ページ)

## 4-2. 2つの映像を同時に投写する

本機1台で2つの映像を同時に投写することができます。この機能には「ピクチャーインピクチャー機能」(PIP)と「ピクチャーバイピクチャー機能」(PICTURE BY PICTURE)があります。

1画面表示の投写映像を主画面(MAIN)、あとから呼び出した投写映像を子画面または副画面(SUB)と呼びます。

どちらの機能で投写するかは、オンスクリーンメニューの表示→PIP/PICTURE BY PICTURE→モードで選択します(工場出荷状態は子画面設定(PIP)です)。(▶ 116ページ)

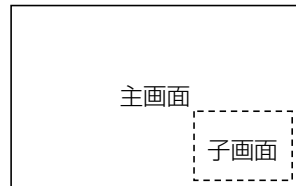
- 電源を入れたときは1画面投写です。

### ●ピクチャーインピクチャー機能(PIP)

主画面の中に小さな子画面を表示します。

子画面は次の設定・調整ができます。(▶ 116ページ)

- スクリーンの左上、右上、右下および左下の4つの位置から1つ選んで表示(子画面の大きさ選択および位置の微調整可能)
- 主画面と子画面を入れ替える表示切り替え

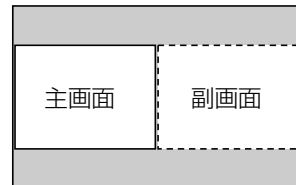


### ●ピクチャーバイピクチャー機能 (PICTURE BY PICTURE)

主画面と副画面を左右に並べて表示します。

主画面と副画面は次の設定・調整ができます。(▶ 116ページ)

- 主画面と副画面の表示境界(比率)の選択
- 主画面と副画面の入れ替え



### ●主画面および子画面(または副画面)にできる入力端子

主画面および子画面(または副画面)は次の入力端子の投写ができます。

- 主画面および子画面(または副画面)は、WUXGA @60HzRBまでのコンピュータ信号に対応しています。

		子画面または副画面							SLOT
		HDMI	DisplayPort	BNC	BNC(CV)	BNC(Y/C)	コンピュータ		
主画面	HDMI	×		○	○	○	○	×	×
	DisplayPort	×		○	○	○	○		
	BNC	○	○	×			×	○	○
	BNC(CV)	○	○	×			○	○	○
	BNC(Y/C)	○	○	×			○	○	○
	コンピュータ	○	○	×	○	○	×	○	○
	HDBaseT	×		○	○	○	○	×	×
	SLOT	×		○	○	○	○	×	×



- 解像度によって表示できない信号があります。

## 2 画面を投写する

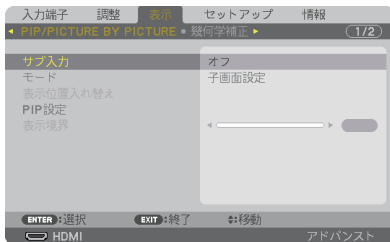
- 1 (MENU) ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示し、「表示」→「PIP/PICTURE BY PICTURE」を選択する。
- 2 (▼/▲) ボタンでサブ入力を選択し、(ENTER) ボタンを押す。  
サブ入力画面を表示します。
- 3 (▼/▲) ボタンで入力信号を選択し、(ENTER) ボタンを押す。  
モードで設定している「子画面設定」(ピクチャーインピクチャー) または「PICTURE BY PICTURE」(ピクチャーバイピクチャー) 画面が投写されます。(▶ 116 ページ)
  - ・ 信号名が薄く表示されているときは、選択できないことを表しています。
  - ・ リモコンの (PIP/FREEZE) ボタンを押しても信号の選択ができません。
- 4 (MENU) ボタンを押す。  
オンスクリーンメニューが消えます。
- 5 1 画面に戻りたい場合は、もう一度 PIP/PICTURE BY PICTURE 画面を表示し、手順 3 のサブ入力画面のとき「オフ」を選択する。



- 2 画面を投写中、子画面 (副画面) に対応していない入力を選択された場合は子画面 (副画面) を黒い画面で表示します。

## 主画面と子画面／主画面と副画面を入れ替える

- 1 (MENU) ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示し、「表示」→「PIP/PICTURE BY PICTURE」を選択する。
- 2 (▼/▲) ボタンで「表示位置入れ替え」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。  
表示位置入れ替え画面を表示します。

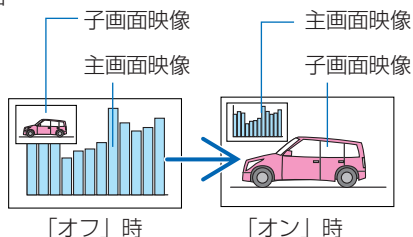


### 3 ▼ ボタンで「オン」を選択し、

(ENTER) ボタンを押す。

主画面と子画面（または副画面）の映像が入れ替わります。

表示位置を入れ替えても HDMI OUT 端子から出力される信号は入れ替わりません。



### 4 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

## 制限事項

- 次の操作は、主画面のみ有効です。
  - ・ 映像の各種調整
  - ・ (D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタンによる映像の拡大／縮小  
ただし、PICTURE BY PICTURE の表示境界で設定した位置までの拡大／縮小です。
  - ・ テストパターン
- 次の操作は、主画面および子画面（または副画面）の両画面で有効です。個別に適用することはできません。
  - ・ 画像の一時的な消去
  - ・ 動画の一時停止
- 3D 映像が表示されているときは、PIP/PICTURE BY PICTURE は使用できません。
- PIP/PICTURE BY PICTURE 機能使用中は、クローズドキャプション、ダイナミックコントラストは使用できません。
- 1920 × 1200 以上の解像度の信号が入力されているときは、PIP/PICTURE BY PICTURE は使用できないことがあります。
- HDMI OUT 端子は、リピーター機能を有してします。出力される解像度は、接続したモニタ、プロジェクターの最大解像度に制限されます。



## 4-3. エッジブレンディング機能を使って投写する

本機を左右上下に複数台プロジェクターを組み合わせることにより、解像度の高い映像をさらに大画面で投写することができます。

本機には、投写画面の端（境界）を目立たなくさせる「エッジブレンディング機能」を搭載しています。



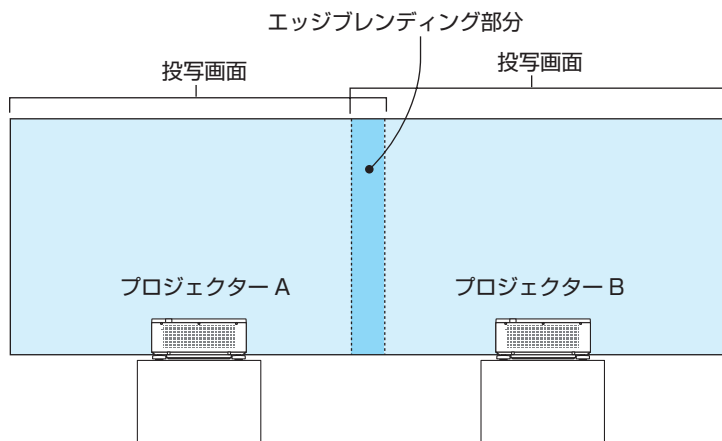
- 設置する際の推奨投写距離については、183 ページを参照してください。
- エッジブレンディングを調整する前に、台形歪みや画面サイズが適切になるような位置に本機を設置して、レンズシフト、フォーカス、ズームの調整を行ってください。
- 各プロジェクターの明るさをライトモードの「調整」で合わせてください。調整後に輝度一定モードを「オン」に設定すると、調整した明るさを保つことができます。また、「基準ホワイトバランス」でコントラスト、明るさを合わせてください。

### 操作説明の前に

ここでは「設置例：2台を左右に並べる場合」について説明します。

下記イラストのように、左側に設置したプロジェクターを「プロジェクターA」、右側に設置したプロジェクターを「プロジェクターB」と呼びます。以降の説明でプロジェクター（A、B）を指定しない場合は、AとBの両方のプロジェクターを指すものとします。

#### 設置例：2台を左右に並べる場合

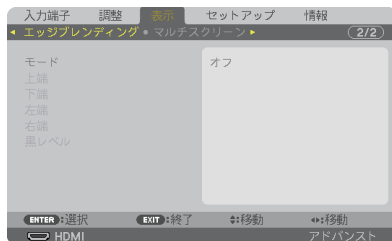


**準備**：プロジェクターの電源を入れて、映像を投写します。  
リモコンで設定・調整を行う場合は、他のプロジェクターが動作しないように  
するため、コントロールIDを有効にします。(137 ページ)

## 投写画面の重なりを設定する

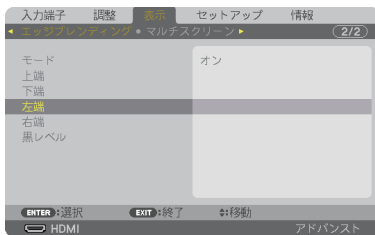
### 1 メニューで「エッジブレンディング」 を有効にする。

- 1 (MENU)ボタンを押します。  
オンスクリーンメニューを表示します。
- 2 表示のエッジブレンディングを選択します。  
「エッジブレンディング」画面が表示されます。  
「モード」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタ  
ンを押します。  
モード画面が表示されます。
- 3 「モード」を「オン」にしてエッジブレンディ  
ングの機能を有効にします。



・「上端」「下端」「左端」「右端」「黒レベル」  
の項目が調整可能になります。

- 4 プロジェクターAでは「右端」を選択し、プロ  
ジェクターBでは「左端」を選択します。



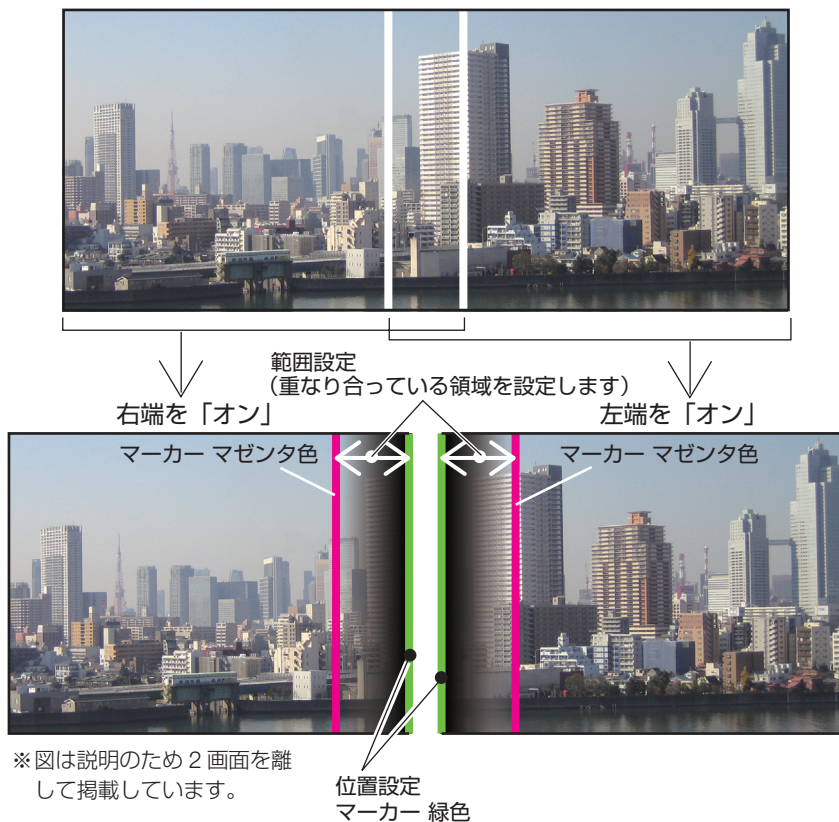
- 5 「制御」をオンにします。  
「上端」「下端」「左端」「右端」はそれぞれ、「制御」  
「マーカー」「範囲」「位置」の項目があります。  
・プロジェクターAでは、上端、左端、下端の  
「制御」をオフにします。  
同様にプロジェクターBでは、上端、右端、  
下端の「制御」をオフにします。



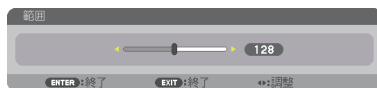
## 2 「範囲」と「位置」を調整して、重なりあっている領域を設定する。

マーカーをオンにするとマゼンタと緑色の線（マーカー）が表示されます。

マゼンタは範囲調整用、緑色は表示位置調整用です。



- 1 「範囲」を調整します。  
重なる領域（幅）を調整します。マーカーを表示してもう一方のプロジェクターの表示位置のマーカーに重なるように調整すると簡単にできます。



- 2 「位置」を調整します。  
重なる領域の端（映像の端）に合わせます。調整が終わったら、マーカーをオフにして、マーカーを消します。



## 参考

- 解像度の違う信号を投写したときは、再度、エッジブレンディングの調整が必要になります。
- マーカーの設定は、保存されません。電源を切ると、マーカーの設定はオフに戻ります。
- マーカーを非表示にしたいときは、必ず、メニューでマーカーをオフにしてください。

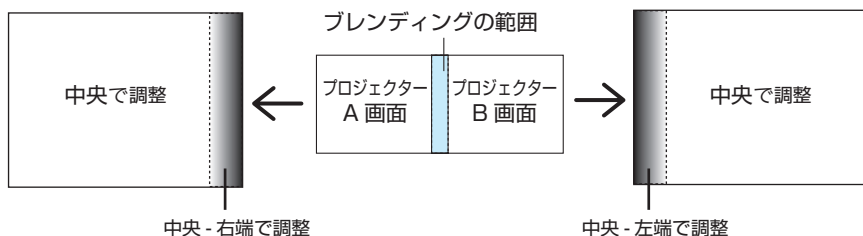
## 黒レベルの調整

マルチ画面の重なっていない映像と重なっている部分（エッジブレンディング）の黒レベル調整です。

明るさの濃淡が気になる場合に調整します。

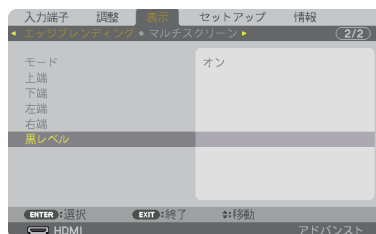
- 黒レベル調整はモードがオンになっていないと選択できません。  
エッジブレンディングの「上端」「下端」「左端」「右端」の制御をオンにした組み合わせで調整する箇所が変わります。（▶次ページ）

### 左右に2台の 프로젝터を並べて投写した場合の黒レベル調整

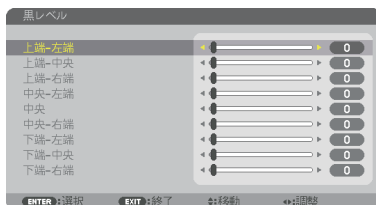


**1** 86 ページの手順 1 の ①② で「モード」を「オン」にする。

**2** 「黒レベル」にカーソルを合わせ、  
(ENTER) ボタンを押す。  
黒レベル調整画面に切り替わります。

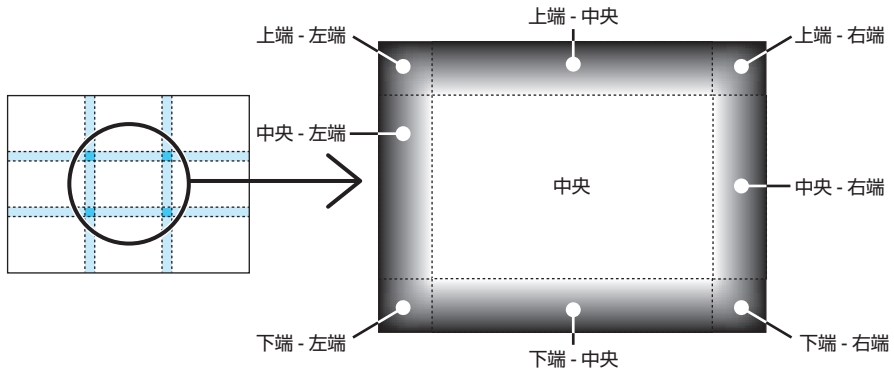


**3** ▼▲ ボタンで調整する箇所を選択し、  
◀▶ ボタンで黒レベルを調整する。  
他の 프로젝터の調整が必要な場合は同じ要領で行ってください。

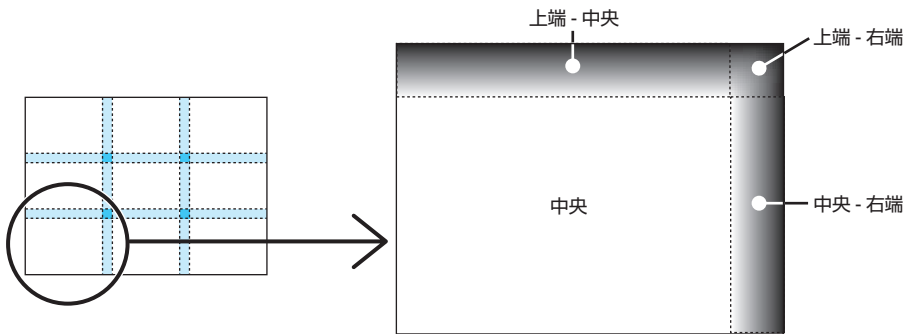


## 9面マルチ時の黒レベル調整分割画面

センタープロジェクターの黒レベル調整は図のように9分割調整になります。



左下プロジェクターの黒レベル調整は図のように4分割調整になります。



### 参考

- 黒レベル分割画面数（最大9分割）は、エッジブレンディング位置（上端、下端、左端、右端）の選択数によって変わります。また、上/下端と左/右端を選択するとコーナーの分割画面が出現します。
- エッジブレンディング幅は範囲で設定されている幅、コーナーは上/下端または左/右端の交差する面積になります。
- 黒レベルは、明るくする方向のみ調整できます。

# 5. オンスクリーンメニュー

## 5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

### オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(MENU)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

**準備**：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

#### 1 (MENU) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは調整メニューが表示されます。



ライトモード設定、 ファンモードの「高速」設定、 強制エコモード、 本体キーロック中、 8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

#### 2 (▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

#### 3 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。

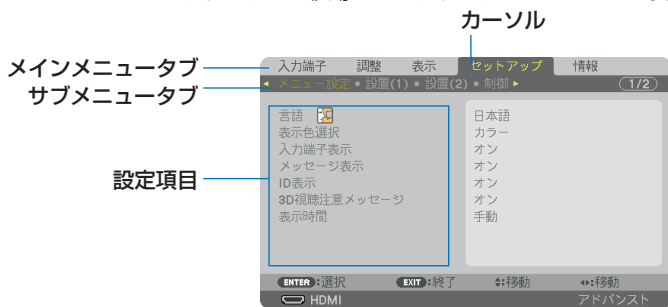
画面の明るさが調整されます。

・「 (選択可能マーク)」が付いている項目は(◀/▶)ボタンで設定を切り替えることができます。

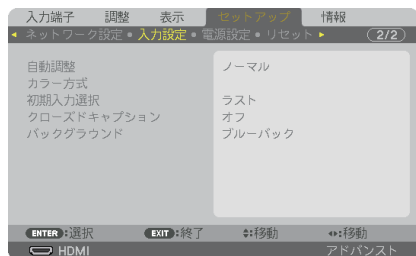
「 (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。

・調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

- 4 (EXIT) ボタンを 2 回押す。  
カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。
- 5 (▶) ボタンを 2 回押す。  
カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



- 6 (ENTER) ボタンを押す。  
メニュー設定にカーソルが移動します。
  - ・ セットアップにはメニュー設定、設置 (1)、設置 (2)、制御、ネットワーク設定、入力設定、電源設定、リセットという 8 つのサブメニュータブがあります。(◀/▶) ボタンで選択します。
- 7 (▶) ボタンを 5 回押して「入力設定」にカーソルを合わせる。  
入力設定のメニューに切り替わります。



- 8 (▼) ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
バックグラウンド選択画面が表示されます。
  - ・ バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 9 (▼▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。
- 10 選択したい項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
バックグラウンドが設定されます。
  - ・ 選択を取り消す場合は、(EXIT) ボタンを押します。

- 11 (MENU) ボタンを 1 回押す。  
メニューが消えます。

**注意**

- 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

## 調整画面、設定画面の操作例

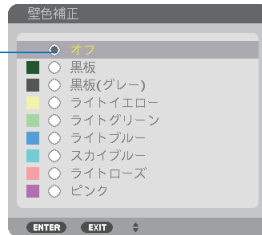
### ●ラジオボタンの選択

選択肢の中から1つ「」を選びます。


#### 【例1】「壁色補正」の選択


セットアップ→設置(1)→壁色補正

ラジオボタン



- 1   ボタンを押す。

選択されているマーク  が移動します。

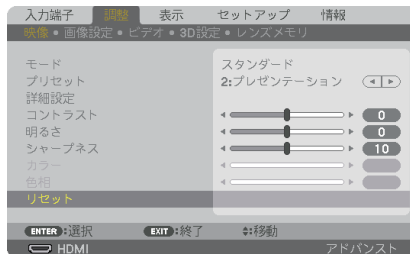
- 2 選択する項目に  を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

### ●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で (EXIT) ボタンを押しても実行を取り消すことができません。



#### 【例2】調整のリセット



- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。

- 2 (ENTER) ボタンを押す。

確認メッセージが表示されます。

- 3 実行する場合は、  ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

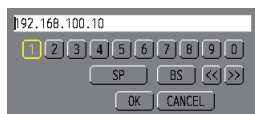
機能が実行されます。

- 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

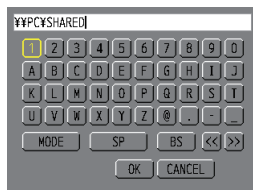


## 文字入力画面の使い方

入力する項目によって、入力画面が異なります。



【IP アドレスのとき】



【ユーザー名、プロジェクター名、パスワード、信号リストの信号名など入力するとき】

- 1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
文字入力画面を表示します。

文字以外の項目は、次のような働きをします。

- [MODE] .....英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
- [SP] .....スペースを入力します。
- [BS] .....カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- [<<] [>>] ....英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
- [OK] .....入力した文字を確認して、文字入力画面を閉じます。
- [CANCEL] ..入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。
- [HEX] .....16 進数が入力できる場合に表示され、16 進数入力ができます。

- 2 **(▼▲▶)** ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
文字が入力されます。
- 3 入力が終わったら **(▼▲▶)** ボタンを押して [OK] にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
入力した文字を確認して、文字入力画面が閉じます。

## 5-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

アドバンスメニューとベーシックメニューの選択はツール→管理者モード→メニューモードで選択します。(🔗 [132 ページ](#))

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		選択項目		参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー					
入力端子	-	HDMI <b>B</b>		100		
		DisplayPort <b>B</b>				
		BNC <b>B</b>				
		BNC (CV) <b>B</b>				
		BNC (Y/C) <b>B</b>				
		コンピュータ <b>B</b>				
		HDBaseT <b>B</b>				
		SLOT <b>B</b>				
		信号リスト				
テストパターン						
調整	映像	モード		スタンダード、プロフェッショナル	104	
		プリセット		1：高輝度モード、 2：プレゼンテーション、3：ビデオ、 4：ムービー、5：グラフィック、 6：sRGB、7：DICOM SIM.、 8：EDGE BLENDING		
	詳細設定	全般	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、 ビデオ、ムービー、グラフィック、 sRGB、DICOM SIM.、 EDGE BLENDING	105	
				ガンマ補正※1		ダイナミック、ナチュラル、ソフト
				選択参照		
		スクリーンサイズ※2	大、中、小		106	
			色温度※3			
			ダイナミックコントラスト			オフ、オン
			Brilliant Color			オフ、中、強
	ホワイトバランス		コントラスト 赤、コントラスト 緑、 コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	106		
	色補正		赤 (色相/彩度)、緑 (色相/彩度)、 青 (色相/彩度)、イエロー (色相/ 彩度)、マゼンタ (色相/彩度)、 シアン (色相/彩度)	107		

※1：ガンマ補正は、参照で「DICOM SIM.」以外を選択しているときに表示されます。

※2：スクリーンサイズは、参照で「DICOM SIM.」を選択しているときに表示されます。

※3：色温度は、プリセットで高輝度モードまたはプレゼンテーションを選択しているときには表示されません。

メニュー		選択項目	参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー			
調整	映像	コントラスト <sup>B</sup>		
		明るさ <sup>B</sup>		
		シャープネス <sup>B</sup>		
		カラー <sup>B</sup>		
		色相 <sup>B</sup>		
		リセット <sup>B</sup>		108
	画像設定	クロック周波数		108
		位相		109
		水平		
		垂直		
		プランキング	上端、下端、左端、右端	
		オーバースキャン	自動、0%、5%、10%	
		アスペクト <sup>B</sup>	(コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ信号入力時) 自動、4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、ズーム (スクリーンタイプが4:3の時) (コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ信号入力時) 自動、4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、フル (スクリーンタイプが16:9/16:10の時) (コンピュータ信号入力時) 自動、4:3、5:4、16:9、15:9、16:10、リアル、フル	
	入力信号解像度 <sup>*4</sup>		112	
	ビデオ	ノイズリダクション	ランダム NR	オフ、弱、中、強
			モスキート NR	オフ、弱、中、強
			ブロック NR	オフ、弱、中、強
		デインターレース		ノーマル、動画、静止画
		スイートビジョン	モード	オフ、自動、ノーマル
ゲイン				
信号形式			自動、RGB、コンポーネント	
ビデオレベル		自動、ノーマル、拡張、スーパーホワイト		
3D設定	フォーマット		自動、オフ (2D) フレームパッキング、サイドバイサイド (ハーフ)、サイドバイサイド (フル)、トップアンドボトム、フレームオルタネイティブ、ラインオルタネイティブ	
	L/R反転		オフ、オン	
	レンズメモリ	登録		
	移動		114	
	リセット			
表示	PIP/PICTURE BY PICTURE	サブ入力 <sup>B</sup>	オフ、HDMI、DisplayPort、BNC、BNC(CV)、BNC(Y/C)、コンピュータ、HDBaseT、SLOT	
		モード <sup>B</sup>	子画面設定、PICTURE BY PICTURE	
		表示位置入替え	オフ、オン	

※4：コンピュータとBNC（アナログRGB）入力時のみ選択できます。

メニュー			選択項目		参照 ページ
メインメニュー	サブメニュー				
表示	PIP/PICTURE BY PICTURE	PIP 設定	開始位置	上端 - 左端、上端 - 右端、下端 - 左端、 下端 - 右端	116
			水平位置		
			垂直位置		
			サイズ	大、中、小	
		表示境界			117
	幾何学補 正	台形補正 <sup>ⓑ</sup>	水平		117
			垂直		
			打上げ度		
			4点補正 <sup>ⓑ</sup>	上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、 中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、 下端 - 中央、下端 - 右端	118
			水平角打ち補正	上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、 中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、 下端 - 中央、下端 - 右端	
			垂直角打ち補正	上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、 中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、 下端 - 中央、下端 - 右端	
		ピンクッション補正	上端、下端、左端、右端	120	
		PC ツール	オフ、1、2、3		
	リセット				
エッジブレ ンディング	モード		オフ、オン	121	
	上端、下端、左 端、右端	制御	オフ、オン		
		マーカー	オフ、オン		
		範囲 位置			
	黒レベル		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、 中央 - 左端、中央、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端		
マルチスク リーン	ホワイトバラン ス	モード	オフ、オン	122	
			コントラスト白、コントラスト 赤、 コントラスト 緑、コントラスト 青、 明るさ白、明るさ 赤、明るさ 緑、明 るさ 青		
	映像設定	モード	オフ、ズーム、タイリング		
		ズーム	水平拡大、垂直拡大、水平位置、垂 直位置		
	タイリング	横台数、縦台数、横順番、縦順番			
セットアップ	メニュー 設定	言語 <sup>ⓑ</sup>	ENGLISH、DEUTSCH、 FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、 SVENSKA、日本語、DANSK、 PORTUGUÊS、ČEŠTINA、 MAGYAR、POLSKI、 NEDERLANDS、SUOMI、 NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、 عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、简体中文、 한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、 БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिन्दि、INDONESIA、 ئۇيغۇر、繁體中文	124	

メニュー		選択項目		参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	メニュー設定	表示色選択		カラー、モノクロ	124
		入力端子表示		オフ、オン	
		メッセージ表示		オフ、オン	
		ID表示		オフ、オン	
		3D 視聴注意メッセージ表示時間		手動、自動 5 秒、自動 15 秒、自動 45 秒	125
	設置 (1)	投写方法		自動、デスク/フロント、天吊り/リア、デスク/リア、天吊り/フロント	126
		スクリーンタイプ		フリー、4:3 スクリーン、16:9 スクリーン、16:10 スクリーン	127
		壁色補正 <sup>ⓑ</sup>		オフ、黒板、黒板 (グレー)、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	
		ファンモード	モード	自動、高速	128
		ライトモード <sup>ⓑ</sup>	ライトモード	ノーマル、エコ1、エコ2	
			輝度一定モード	オフ、オン	
			調整	20 ~ 100%	
	基準ホワイトバランス		コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	129	
	3D メガネ		DLP @Link、その他		
	設置 (2)	シャッター設定	パワーオンシャッター	開、閉	129
			映像ミュートシャッター	開、閉	
			フェードイン時間	0 ~ 10 秒	
			フェードアウト時間	0 ~ 10 秒	
		基準レンズメモリ	プロファイル	1、2	
			登録		
移動					
リセット					
		信号別読出し	オフ、オン		
		映像ミュート	オフ、オン		
レンズキャリブレーション					
レンズポジション	ホーム		131		
	種類	NP39ML			
制御	ツール <sup>ⓑ</sup>	管理者モード	メニューモード	アドバンスド、ベーシック	132
			設定値を保存しない	オフ、オン	
			新規パスワード		
			パスワード再確認		
	プログラムタイマー	有効	オフ、オン	133	
設定		編集 (動作、曜日、時刻、機能、詳細設定、繰り返し)			

メニュー		選択項目		参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セット アップ	制御	ツール	日付と時刻設定	タイムゾーン設定	136
				日付と時刻設定	
				夏時間設定	
			マウス設定	(注) 本機では使用できません。	
		本体キーロック	オフ、オン		
	セキュリティ	オフ、オン			
	通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps、115200bps		137	
	コントロールID	コントロールID 番号	1- 254		
		コントロールID	オフ、オン		
	リモコン受光部設定	前側 / 後側、前側、後側、HDBaseT		139	
ネット ワーク設 定	有線 LAN	(プロファイル、DHCP、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、自動 DNS、DNS 設定、再 接続)		140 141	
		プロジェクター名	PX803UL Series		
	ドメイン	ホスト名	necpj	142	
		ドメイン名			
	アラートメール	メール通知、ホスト名、ドメイン名、差出人アドレス、 SMTP サーバー名、宛先アドレス 1、宛先アドレス 2、 宛先アドレス 3、送信テスト		143	
	ネットワークサ ービス	HTTP サー バー	新規パスワード	144	
		PJLink	新規パスワード		
		AMX BEACON	オフ、オン		
		CRESTRON	ROOMVIEW		
	入力設定	自動調整	オフ、ノーマル、ファイン		145
カラー方式		BNC (CV)	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、 PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、 SECAM		
		BNC (Y/C)	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、 PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、 SECAM		
初期入力選択		ラスト、自動、HDMI、DisplayPort、 BNC、BNC (CV)、BNC (Y/C)、 コンピュータ、HDBaseT、SLOT			
クローズドキャプション <sup>ⓑ</sup>	オフ、キャプション 1、キャプション 2、キャプション 3、キャプション 4、 テキスト 1、テキスト 2、テキスト 3、 テキスト 4		146		
バックグラウンド	ブルーバック、ブラックバック、ロゴ				

メニュー		選択項目	参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー			
セットアップ	電源設定	スタンバイモード	ノーマル、ネットワークスタンバイ	147
		ダイレクトパワーオン	オフ、オン	
		オートパワーオン選択	オフ、HDMI、DisplayPort、コンピュータ、HDBaseT、SLOT	148
		オートパワーオフ	オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、0:30、1:00	
		オフタイマー <sup>B</sup>	オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00	149
		SLOT 電源	プロジェクターオン プロジェクタースタンバイ	オフ、オン 無効、有効
	リセット	表示中の信号 全データ 全データ（信号リストを含む）	150	
情報	使用時間 <sup>B</sup>	ライト使用時間、総 CO2 削減量		
	信号 (1) <sup>B</sup>	入力端子、解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式、信号名、登録番号		
	信号 (2) <sup>B</sup>	信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル、データレート、レーン数、3D フォーマット		
	信号 (3) <sup>B</sup>	入力端子、解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式、信号名、登録番号		
	信号 (4) <sup>B</sup>	信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル、データレート、レーン数、3D フォーマット	151	
	有線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス		
	VERSION (1) <sup>B</sup>	FIRMWARE、DATA、SUB-CPU		
	その他 <sup>B</sup>	日付と時刻、プロジェクター名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、CONTROL ID <sup>※5</sup>		
HDBaseT	信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス			

※5：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

## 5-3. 入力端子



### 入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

HDMI	HDMI IN 端子に接続している機器の映像を投写します。
DisplayPort	DisplayPort IN 端子に接続している機器の映像を投写します。
BNC	BNC 入力端子に接続している機器の映像を投写します。 (アナログ RGB 信号またはコンポーネント信号を投写します。)
BNC (CV)	BNC (CV) 入力端子に接続している機器の映像を投写します。 (コンポジットビデオ信号を投写します。)
BNC (Y/C)	BNC (Y/C) 入力端子に接続している機器の映像を投写します。 (S-ビデオ信号を投写します。)
コンピュータ	COMPUTER IN 端子に接続している機器の映像を投写します。(アナログ RGB 信号またはコンポーネント信号を投写します。)
HDBaseT	HDBaseT または有線 LAN の信号を投写します。 (▶ 166, 165 ページ)
SLOTT	SLOTT (スロット) に装着している別売のオプションボードを介して映像を投写します。
信号リスト	信号リストから信号を呼び出してして投写します。(▶次ページ)
テストパターン	メニューを閉じてテストパターン画面に切り替わります。 (◀▶) ボタンでパターンを選択します。

#### 参考

- コンポーネント信号を COMPUTER IN 端子または BNC 入力端子に接続している場合、コンピュータ信号とコンポーネント信号は自動的に判別します (工場出荷時の設定)。判別できない場合は、オンスクリーンメニューの調整→ビデオ→信号形式で「コンポーネント」を選択してください。(▶ 113 ページ)



## 信号リストを利用する

画像設定を少しでも行くと、信号の調整値が本機の信号リストに自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要ときに信号リストから呼び出すことができます。

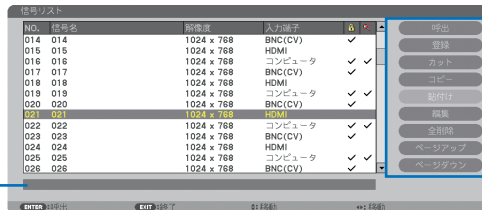
信号リストには100パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

### ●信号リストを表示する

- 1 **(MENU)** ボタンを押す。  
メニューが表示されます。
- 2 **(◀▶)** ボタンを押して「入力端子」にカーソルを合わせる。  
入力端子一覧が表示されます。



- 3 **(▼)** ボタンを押して、カーソルを信号欄に移動する。
- 4 **(▼▲▶)** ボタンを押して「信号リスト」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
信号リストが表示されます。
  - メニューに信号リストが表示されていない場合は、アドバンストメニューに変更してください。アドバンストメニューとベーシックメニューの選択はオンスクリーンメニュー → セットアップ → 制御 → ツール → 管理者モード → メニューモードで行います。 (▶ 132 ページ)



クリップボード

信号編集コマンド一覧

### ●投写している信号を登録する [登録]

- 1 信号リストで**(▼▲)** ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせる。
- 2 **(▶▶)** ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し**(▼▲)** で「登録」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

## ●信号リストから信号を選択する [呼出]

- 1 信号リストで(▼▲)ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

## ●信号リストの項目を編集する [編集]

- 1 信号リストで(▼▲)ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「編集」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。  
信号編集画面が表示されます。



信号名	最大英数 18 文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。HDMI/DisplayPort/BNC/BNC(CV)/BNC(Y/C)/ コンピュータ /HDBaseT/SLOT の切り替えができます。
ロック (🔒)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、[全削除] を行ったときに残しておくことができます。また、ロック後に調整を行った値は保存されません。
スキップ (🚫)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

- 3 各項目を設定し、「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

### 注意

- 現在投写中の信号を編集する場合、入力端子は変更できません。

## ●信号リストの項目を削除する [カット]

- 1 信号リストで(▼▲)ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「カット」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。  
信号リストから削除され、信号リストのいちばん下のクリップボードに、削除した信号が表示されます。

### 注意

- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面でロックした信号を選択した場合は、カットは文字が薄く表示され選択できません。

## 参考

- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの貼付けで信号リストに貼り付ける(複製する)ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じてでも消えません。

## ●信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

- 1 信号リストで(▼▲)ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「コピー」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。  
信号リストのいちばん下のクリップボードに、コピーする信号が表示されます。
- 3 (◀▶)ボタンを押して信号リストに移動する。
- 4 (▼▲)ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせる。
- 5 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「貼付け」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。  
クリップボードの内容がコピーされます。

## ●信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

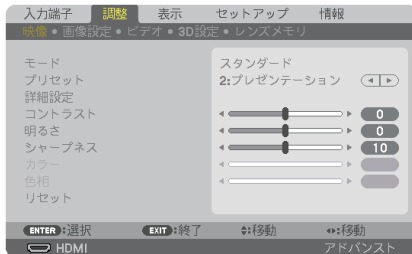
- 1 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「全削除」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 2 (◀▶)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

## 注意

- 信号編集画面でロックした信号は削除されません。

## 5-4. 調整

### 映像



### ●モード

プリセットの詳細設定の設定値を、入力信号ごとに保存するかどうかを設定します。

スタンダード	プリセットの詳細設定の設定値を、プリセットの項目ごと（1～8）に保存します。
プロフェッショナル	映像ページ内のすべての設定値が入力信号ごとに保存されます。

#### 注意

- テストパターンを表示しているとき、モードは選択できません。

### ●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～8に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～8に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。
8：EDGE BLENDING	エッジブレンディング（ <a href="#">121ページ</a> ）を行っているときの推奨設定です。

#### 注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

## 参考

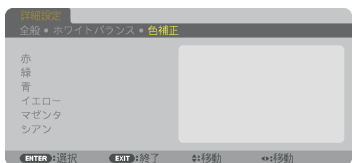
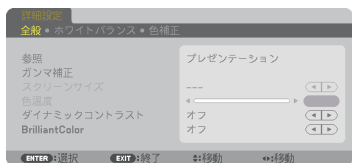
- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

## ● 詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～8 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、Brilliant Color、ホワイトバランス、色補正の項目について、細かな設定ができます。



### 全般 — 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

### 全般 — ガンマ補正

「選択」では映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

選択	ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
	ナチュラル	標準的な設定です。
	ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。
参照	投写映像に合わせて補正値を変更します。 数値が高いほど、深みのある補正になります。	

## 注意

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

## 全般—スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	150 型前後のサイズのときに選択します。
中	100 型前後のサイズのときに選択します。
小	50 型前後のサイズのときに選択します。

### 注意

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

## 全般—色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。  
高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。5000K～10500K まで、500K 単位で設定できます。

### 注意

- 詳細設定で「高輝度モード」を選択した場合、色温度は選択できません。
- 詳細設定で「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度の調整は 0、1、2 の 3 段階になります。

## 全般—ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると映像に応じて最適なコントラスト比に調整します。

### 注意

- プロジェクターの設定、状態によってはダイナミックコントラストが選択できない場合があります。

## 全般—Brilliant Color

白色の明るさを選択します。  
「中」→「強」を選ぶと白色が明るくなります。

### 注意

- 参照で「高輝度モード」、「プレゼンテーション」を選択すると、BrilliantColor は変更できません。

## ●ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

### 注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

## ●色補正

各信号共通の色補正を行います。

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ（紫）、シアン（明るい青緑）の各色の色味を調整します。

赤	色相	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「-」方向へ移動すると黄色よりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
緑	色相	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
青	色相	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンダよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
イエロー	色相	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
マゼンタ	色相	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
シアン	色相	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動すると青よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。

## ●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。



- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ/DisplayPort/ HDMI/HDBaseT のRGB 系	○	○	○	×	×
コンピュータ/DisplayPort/ HDMI/HDBaseT のコンポーネ ント系	○	○	○	○	○
コンポジットビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

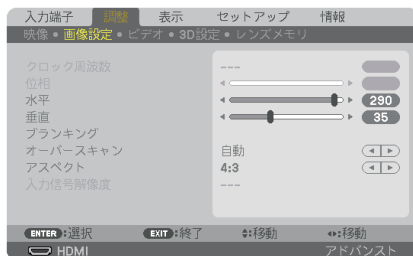
(○：調整可、×：調整不可)

- テストパターンを表示しているときは、コントラスト、明るさ、シャープネス、カラー、色相は調整できません。

## ●リセット

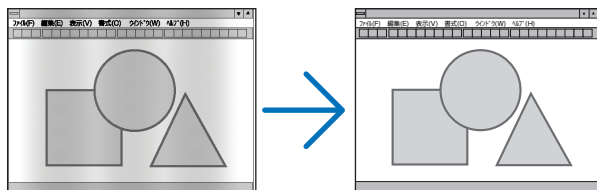
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

## 画像設定



## ●クロック周波数

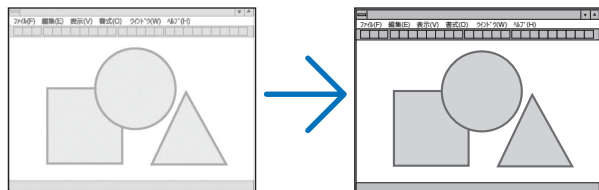
画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。





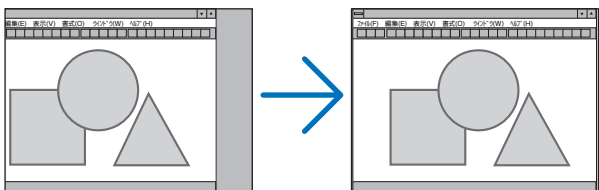
## ●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



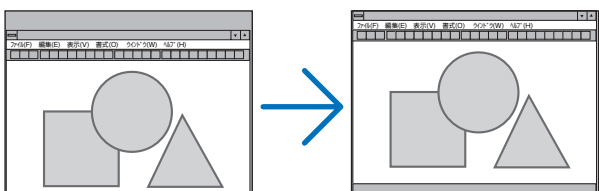
## ●水平

画面を水平方向に移動します。



## ●垂直

画面を垂直方向に移動します。

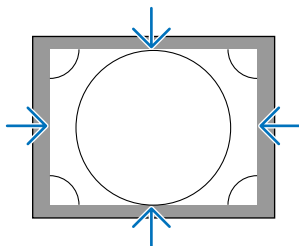


### 注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。  
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」を行ってください。

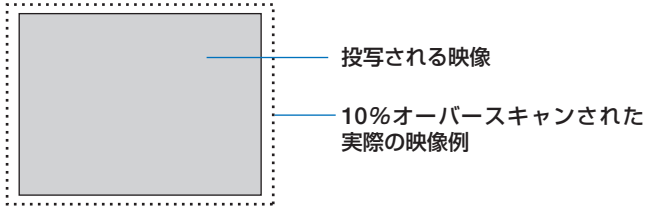
## ●ブランキング

映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲(ブランキング)を調整します。



## ●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。



**注意**

- アスペクトが「リアル」 のときは選択できません。

## ●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

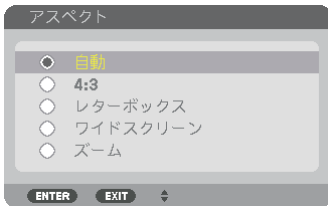
アスペクトを設定する前に、設置(1)のスクリーンタイプ(4:3 / 16:9 / 16:10)を選択してください。(127 ページ)

### 【コンピュータ信号時】

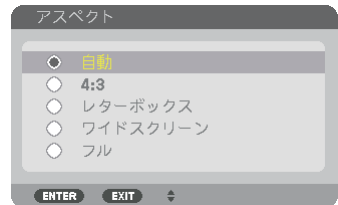


### 【コンポーネント／ビデオ／S-ビデオ信号時】

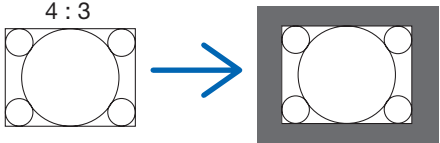
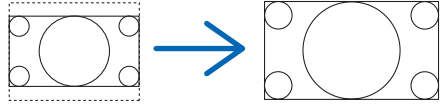
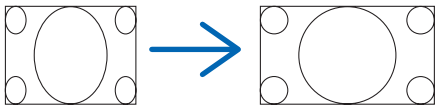

スクリーンタイプが「4:3」スクリーンするとき



スクリーンタイプが「16:9」または「16:10」スクリーンするとき



自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4:3	4:3のサイズで投写します。
5:4	5:4のサイズで投写します。
16:9	16:9のサイズで投写します。

15 : 9	15 : 9 のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10 のサイズで投写します。
リアル	<p>コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度 (17 ページ) よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。また、本機の解像度よりも大きいときは、コンピュータ入力信号の解像度のまま画面の中心を投写します。</p> 
レターボックス	<p>16 : 9 のレターボックス信号を投写します。</p> <p>レターボックス</p> 
ワイドスクリーン	<p>16 : 9 のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して 16 : 9 のサイズで投写します。</p> <p>スクイーズ</p> 
ズーム	<p>16 : 9 のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして 4 : 3 のサイズで投写します。そのため、左右の両端は表示されません。</p> <p>スクイーズ</p> 
フル	画面サイズ全体に投写します。

**参考**

- コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
HD (FWXGA) 1366 × 768	約 16 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
WXGA++ 1600 × 900	16 : 9
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3

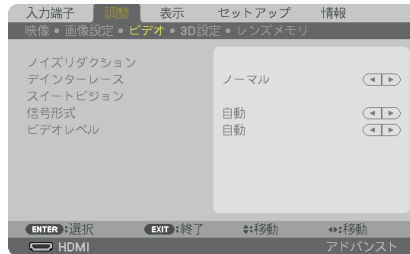
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10
FHD(1080P)	1920 × 1080	16 : 9
UXGA	1600 × 1200	4 : 3
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10
WQXGA	2560 × 1600	16 : 10



## ●入力信号解像度

コンピュータ映像入力端子または BNC 映像入力端子（アナログ RGB）から自動判別が難しい信号が入力された場合に解像度を強制的に指定します。

## ビデオ



## ●ノイズリダクション

ビデオ映像を投写するとき、ノイズリダクション機能を使うと、画面のノイズ（ざらつきや乱れ）を軽減することができます。本機には3種類のノイズ軽減機能がありますので、ノイズの種類に応じた機能を選択します。またノイズの度合いに応じて、「オフ」「弱」「中」「強」ノイズリダクション効果を選択できます。

ノイズリダクションは、SDTV, HDTV 信号、コンポーネント信号入力時に選択できます。

ランダム NR	画面全体に散らしたようなノイズを軽減します。
モスキート NR	映像の輪郭部に蚊の大群がまとわり付いているような、もやもやしたノイズを軽減します。
ブロック NR	映像がモザイクのように四角いかたまり状態に見えるノイズを軽減します。

## ●デインターレース

インターレース信号が入力された場合のプロGRESSIVE変換処理を選択します。

ノーマル	動画と静止画を自動判別して鮮明な状態にします。 ジッターやノイズが目立つ場合は、「動画」を選択してください。
動画	動画を投写するときに選択します。 ジッターやノイズが多い信号に適しています。
静止画	静止画を投写するときに選択します。 動画を投写すると映像がちらつきます。



- コンピュータ信号のときは選択できません。

## ●スイートビジョン

人間の目の特性を利用してコントラスト感、解像度感のある画質を実現します。

オフ	スイートビジョンは働きません。
自動	スイートビジョン機能によって、自動的にコントラストや画質を改善します。
ノーマル	手動でゲインを調整できます。

## ●信号形式

RGBとコンポーネント信号の選択です。通常は「自動」に設定します。それでも画像の色彩が不自然な場合には設定を切り替えてください。

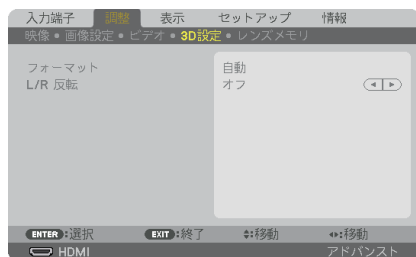
自動	RGBとコンポーネント信号を自動判別します。
RGB	RGB入りに切り替えます。
コンポーネント	コンポーネント信号入りに切り替えます。

## ●ビデオレベル

本機のHDMI IN端子、DisplayPort IN端子およびEthernet/HDBaseTポートと外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「ノーマル」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
ノーマル	拡張を無効にします。
拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
スーパーホワイト	映像のコントラストが向上し、暗部がよりダイナミックに表現されます。

## 3D 設定



操作については、「3-9. 3D 映像を投写する」(64 ページ) をご覧ください。

### ●フォーマット

3D 映像のフォーマット（記録／伝送方式）を選択します。

3D 放送や 3D 媒体に合わせた選択をします。

通常は「自動」を選択します。フォーマットの 3D 検出信号が判別できないときは、3D 入力信号のフォーマットを選択してください。

### ●L/R 反転

左映像と右映像の表示順を反転します。

「オフ」で 3D 表示に違和感がある場合「オン」を選択します。

## レンズメモリ

スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）を入力信号ごとに保存することができます。

レンズメモリを利用すると、入力信号を切り替えたときに、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整をやりなおす必要がありません。

登録	投写している入力信号のレンズシフト、ズーム、フォーカスの位置を保存します。
移動	入力信号に応じて、レンズシフト、ズーム、フォーカスの位置にレンズが移動します。
リセット	投写中の入力信号に登録されたレンズシフト、ズーム、フォーカスの位置登録を削除します。

### 参考

- レンズメモリ機能はレンズの位置を保存すると信号リストに登録します。このため登録されたレンズの位置は映像調整や画像調整登録と同様に信号リストから呼び出すこともできます。(101 ページ)  
なお、信号リストの [カット] および [全削除] を行うとレンズの位置登録も同時に削除されますが、レンズの位置などは他の調整値が呼び出されるまで維持します。
- レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を、すべての入力信号共通のものとして保存する場合は、基準レンズメモリで保存してください。

## 使い方

### 調整値の保存

- 1 調整する接続機器の信号を投写します。
- 2 (LENS SHIFT/HOME POSITION)、(ZOOM +/-)、(FOCUS +/-) ボタンを使って画面の投写位置、大きさ、フォーカスを調整します。
  - ・リモコンで調整することもできます。
  - 操作について詳しくは、「2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する」(41 ページ) をご覧ください。
  - ・プロジェクター本体の移動、チルトフットによる調整量は除外されます。
- 3 (▼▲) ボタンを押して「登録」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。  
確認画面を表示します。
- 4 (◀) ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。  
これで、保存ができました。



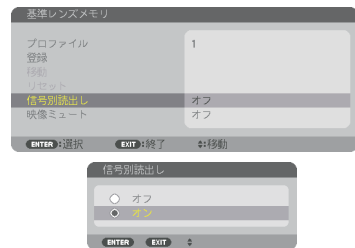
### 調整値を直接呼び出す

- 1 レンズメモリで保存した映像を投写します。
- 2 (▼▲) ボタンを押して「移動」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。  
確認画面を表示します。
- 3 (◀) ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。  
保存している信号の調整値にレンズが移動します。



### 信号を切り替えたときに自動でレンズ移動をさせるには

- 1 オンスクリーンメニューのセットアップ→設置 (2) →基準レンズメモリを表示させてください。  
(130 ページ)
- 2 (▼▲) ボタンを押して「信号別読み出し」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。  
信号別読み出し画面を表示します。
- 3 (▼) ボタンを押して「オン」を選択し、(ENTER) ボタンを押します。  
これで、保存している入力信号に切り替えると自動でレンズが移動します。

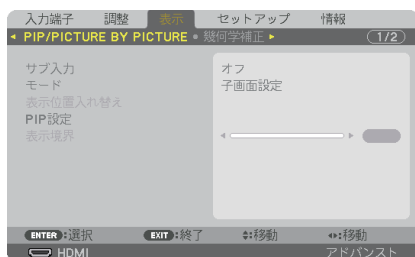


### 注意

- 信号リストの編集で投写中の入力信号をロック (チェックマークを付けている) している場合は、レンズメモリの調整値は保存 (書き換え) されません。ロックを解除してから行ってください。

## 5-5. 表示

### PIP/PICTURE BY PICTURE



#### ●サブ入力

子画面または副画面に表示する入力信号を選択します。

操作について詳しくは、「4-2. 2つの映像を同時に投写する」(82ページ)をご覧ください。

#### ●モード

2画面表示に切り替えたとき子画面設定(ピクチャーインピクチャー画面)にするかPICTURE BY PICTURE(ピクチャーバイピクチャー画面)にするかを選択します。

#### ●表示位置入替え

PIP画面は主画面と子画面、PICTURE BY PICTURE画面は主画面と副画面の映像を入れ替えます。

詳しくは、「4-2. 2つの映像を同時に投写する」(82ページ)をご覧ください。

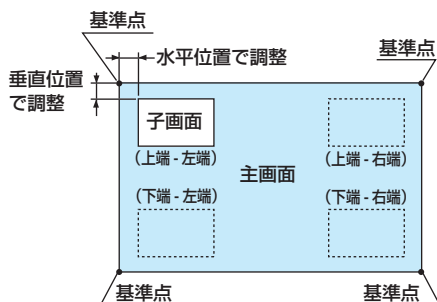
#### ●PIP設定

PIP画面の子画面表示位置と位置調整、子画面のサイズを選択します。

開始位置	PIP画面に切り替えたときの子画面表示位置の選択です。
水平位置	水平方向の子画面表示位置を調整します。各々コーナーが基準点となります。
垂直位置	垂直方向の子画面表示位置を調整します。各々コーナーが基準点となります。
サイズ	子画面の表示サイズを選択します。



水平位置、垂直位置は基準点からの移動量であり、たとえば上端・左端を調整すると他の開始位置で表示しても同じ移動量で表示されます。最大移動量はプロジェクターの解像度の1/2です。





## ●表示境界

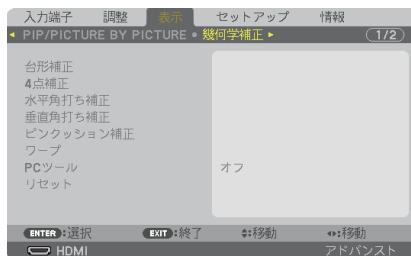
PICTURE BY PICTURE 画面の主画面と副画面の表示境界を選択します。



### 参考

- 本機は 6 段階の選択ができます。

## 幾何学補正



## ●台形補正



台形補正画面を表示するには、オンスクリーンメニュー→表示→幾何学補正→台形補正を選択します。幾何学補正画面はリモコンの(3D REFORM)ボタンを押しても表示できます。

水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。	
垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。	
打上げ度	レンズシフトで垂直方向に画面を移動した状態で台形補正を行うときの歪を調整します。	

投写比	使用しているオプションレンズの投写比に応じて調整します。	レンズユニットの型名	調整範囲
		NP16FL	7 ~ 8
		NP17ZL	12 ~ 18
		NP18ZL	17 ~ 23
		NP19ZL	21 ~ 37
		NP20ZL	34 ~ 55
		NP21ZL	50 ~ 85
		NP31ZL	7 ~ 10
	NP39ML	4	




**注意**

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正の調整値をクリアする場合は、**(3D REFORM)** ボタンを 2 秒以上押ししてください。
- ほかの幾何学補正機能を設定しているとき、台形補正メニューは選択できません。台形補正を行う場合は、**(3D REFORM)** ボタンを 2 秒以上押しして幾何学補正の調整値をクリアしてください。
- 台形補正は電氣的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

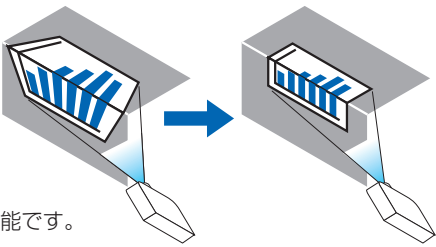
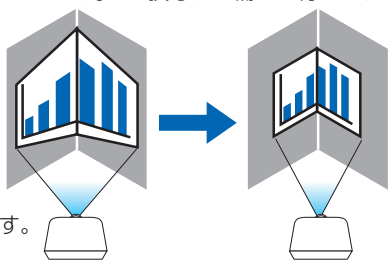
## ● 4 点補正

4 点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「3-7. 台形歪みを調整する (4 点補正)」 (  58 ページ ) をご覧ください。

## ● 水平角打ち補正 / 垂直角打ち補正

壁面などのコーナー投写時の歪み補正です。

水平角打ち補正	<p>水平方向に角になっている壁に対して投写する補正を行います。</p>  <p>※逆角の補正も可能です。</p>
垂直角打ち補正	<p>垂直方向に角になっている壁に対して投写する補正を行います。</p>  <p>※逆角の補正も可能です。</p>

**注意**

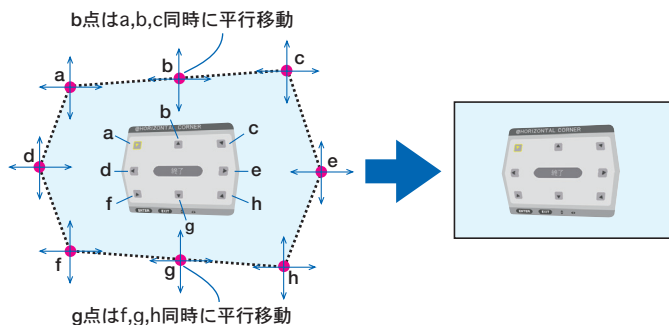
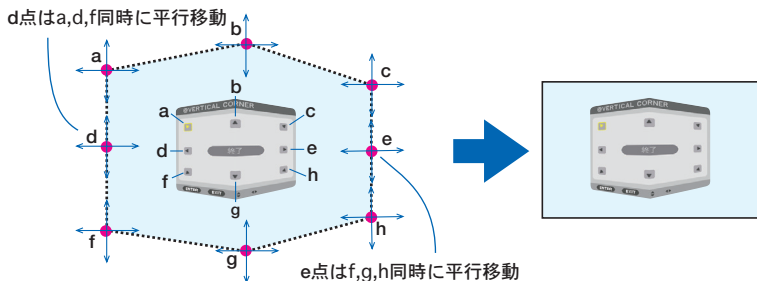
- 最大調整範囲を超えると歪み調整はできなくなります。また歪み調整量が多くなると画質劣化が増大しますのでプロジェクターは最適な角度で設置してください。
- 角打ち投写は上下または左右の辺と画面中心との距離の違いによりフォーカスがあまくなりますのでご承知ください。また短焦点レンズでの角打ち投写はフォーカスが合わなくなりますのでお勧めできません。

**調整方法**

- 1** 幾何学補正メニューの「水平角打ち補正」または「垂直角打ち補正」にカーソルを合わせて、**(ENTER)**ボタンを押します。
  - ・調整画面が表示されます。
- 2** **(▼▲▶▶)**ボタンを押して、カーソル（黄色の枠）を目的の調整ポイントに合わせて、**(ENTER)**ボタンを押します。
  - ・カーソルが調整ポイント（黄色）に変わります。
- 3** **(▼▲▶▶)**ボタンを押して画面の角または辺を調整し、**(ENTER)**ボタンを押します。
  - ・カーソル（黄色の枠）に戻ります。

**画面移動の説明**

- ・ 4 隅の調整ポイント（図の a,c,f,h）は単独で移動します。
- ・ 次の調整ポイントは水平角打ち補正と垂直角打ち補正では異なります。
- 水平角打ち：図の b 点を移動すると上辺、g 点を移動すると下辺が平行移動します。
- 垂直角打ち：図の d 点を移動すると左辺、e 点を移動すると右辺が平行移動します。

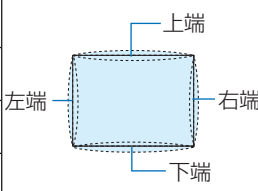
**【水平角打ち調整画面の調整ポイントと投写画面の移動ポイント】****【垂直角打ち調整画面の調整ポイントと投写画面の移動ポイント】**

- 4** 他のポイントを調整するときは**2**から行います。

- 5 調整が終わりましたら、(▼▲◀▶)ボタンを押して調整画面の「終了」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。  
 ・幾何学補正メニュー画面に替わります。

## ●ピンクッション補正

投写画面のわん曲歪みを調整します。

上端	投写画面の上端のわん曲歪みを調整します。	
下端	投写画面の下端のわん曲歪みを調整します。	
左端	投写画面の左端のわん曲歪みを調整します。	
右端	投写画面の右端のわん曲歪みを調整します。	

## ● PC ツール (※本機では使用できません。将来対応予定です。)

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。  
 登録データは3つあります。



**注意**

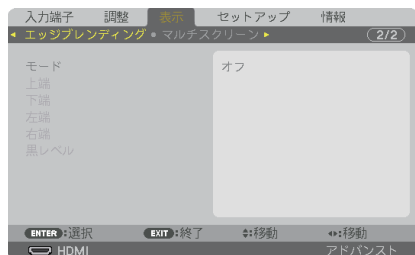
- PC ツールで幾何学補正を設定しているときは、台形補正、4点補正、およびピンクッション補正は選択できません。
- 設定した幾何学補正のデータをクリアする場合は、(3D REFORM)ボタンを2秒以上押してください。
- 幾何学補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

## ●リセット

幾何学補正に設定されている、調整値をリセット（初期値に戻す）します。

## エッジブレンディング

本機を左右上下に複数台組み合わせ、解像度の高い映像を投写する際に、投写画面の端（境界）を調整します。



### ●モード

エッジブレンディング機能の有効・無効を設定します。

モードをオンに設定すると上端、下端、左端、右端、黒レベルを設定・調整できます。

### ●上端、下端、左端、右端

画面の上下左右のエッジブレンディング箇所を選択します。項目を選択すると以下の設定・調整ができます。(▶ 86 ページ)

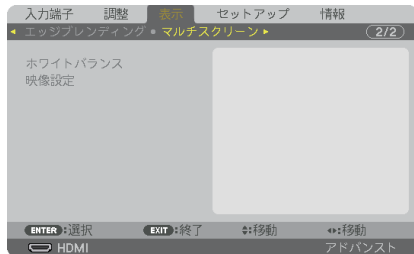
制御	上端、下端、左端、右端の有効・無効を設定します。
マーカー	範囲と表示位置調整時にマーカーを表示するかしないかを設定します。オンにすると、範囲調整用はマゼンタ、表示位置調整用は緑のマーカーが表示されます。
範囲	エッジブレンディングの範囲（幅）を調整します。
位置	エッジブレンディングの設定位置を調整します。

### ●黒レベル

画面を9分割し、各プロジェクターの黒レベルを均一にします。

9分割の画面は、上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端です。(▶ 88 ページ)

# マルチスクリーン



## ●ホワイトバランス

複数台の 프로젝ターを組み合わせせて投写する場合、 프로젝ターごとのホワイトバランスを調整します。

モード		「オン」のとき調整ができます。
明るさ 白 明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青		映像の黒色を調整します。
コントラスト 白 コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青		映像の白色を調整します。

## ●映像設定

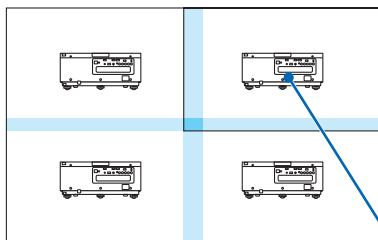
複数台の 프로젝ターを組み合わせせて投写する場合の分割条件を設定します。  
詳しくは、「4. マルチスクリーン投写」(78 ページ) をご覧ください。

モード	オフ	프로젝ターを単体で使用します。
	ズーム	分割したい映像エリアの位置、映像幅を調整します。その幅でエッジブレンディングの幅も自動設定します。
	タイリング	分割画面を 프로젝ターに割り当てます。エッジブレンディング機能も自動設定します。
ズーム	水平拡大	映像エリアを横方向に拡大します。
	垂直拡大	映像エリアを縦方向に拡大します。
	水平位置	映像エリアを横方向に移動します。
	垂直位置	映像エリアを縦方向に移動します。
タイリング	横台数	프로젝ターを横に並べた台数を選択します。
	縦台数	프로젝ターを縦に並べた台数を選択します。
	横順番	横に並べた台数中、左から何番目の 프로젝ターかを選択します。
	縦順番	縦に並べた台数中、上から何番目の 프로젝ターかを選択します。

## タイリングの使用条件

- すべてのプロジェクターは下記の条件を満たしている必要があります。
  - ・パネルサイズが同じ
  - ・投写画面サイズが同じ
  - ・投写画面の左右端または上下端が一致していること
  - ・エッジブレンディングの左端と右端の設定が同じ
  - ・エッジブレンディングの上端と下端の設定が同じタイリング条件を満たしていれば、各設置位置のプロジェクターの映像画面を自動で抽出して投写します。
- タイリング条件を満たしていない場合は、ズームで各設置位置ごとのプロジェクターの映像画面を調整してください。
- 各プロジェクターに対して異なるコントロール ID を設定してください。
- ブルーレイプレーヤ（またはコンピュータ）のカラー設定、DeepColor 設定は、自動に設定してください。詳しくはブルーレイプレーヤの取扱説明書をご覧ください。  
ブルーレイプレーヤ（またはコンピュータ）の HDMI 信号は、1 台目のプロジェクターに接続してください。そして、タイリングする 2 台目以降のプロジェクターの HDMI IN 端子に接続してください。

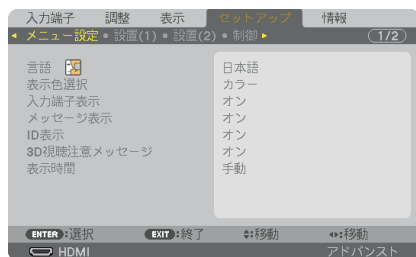
### タイリング設定例) 横台数 = 2 台、縦台数 = 2 台



横の順番 = 2 台目  
縦の順番 = 1 台目

## 5-6. セットアップ

### メニュー設定



#### ●言語

メニューに表示される言語を選択します。

**参考** ● 言語は、リセットを行っても変更されません。

#### ●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

#### ●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。


- ・ 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ」などの入力端子名を表示します。

#### ●メッセージ表示

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。

「オフ」を選択しても、セキュリティロック中の警告は表示されます。セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。

#### ●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID SET)ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID ( 137 ページ) をご覧ください。



## ● 3D 視聴注意メッセージ

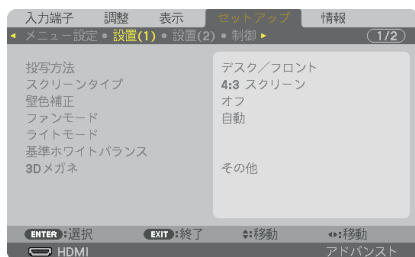
3D 映像に切り替えたとき視聴注意メッセージを表示するか、しないかを選択します。  
(工場出荷状態はオンです。)

オフ	3D 視聴注意メッセージ画面は表示されません。
オン	3D 映像に切り替えたときは 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。 (ENTER) ボタンを押すとメッセージは消えます。 ・ 約 60 秒経過したときや他のボタン操作をした場合は、自動で消えます。 自動で消えたときは、再度 3D 映像に切り替えると 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。

## ● 表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

## 設置(1)



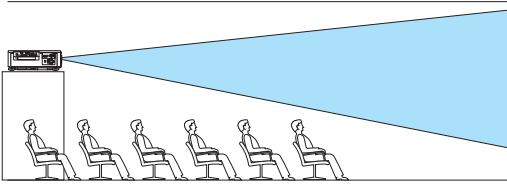
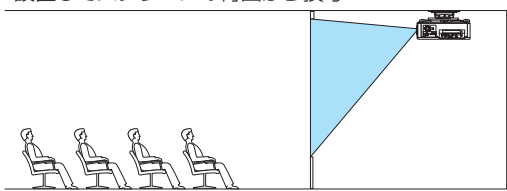
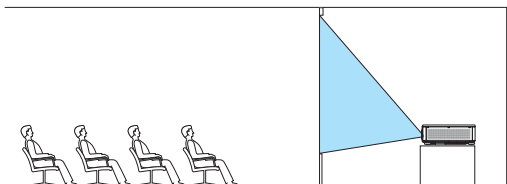
### ●投写方法

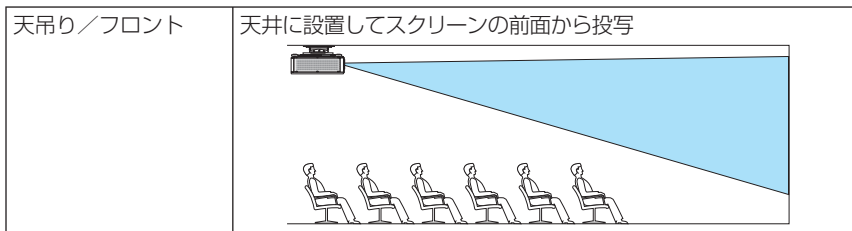
本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



### 警告

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対にしないでください。落下してけがの原因となります。

自動	<p>デスク/フロントと天吊り/フロントを自動で検知して投写します。</p> <p><b>注意</b> ● デスク/リアと天吊り/リアは検知しません。手動で選択してください。</p>
デスク/フロント	<p>テーブルに設置してスクリーンの前面から投写</p> 
天吊り/リア	<p>天井に設置してスクリーンの背面から投写</p> 
デスク/リア	<p>テーブルに設置してスクリーンの背面から投写</p> 



**参考**

- 自動のデスク／フロントは床置で約± 10 度以内、天吊り／フロントは天吊りで約± 10 度以内の設置状態で判定します。投写画面が逆さになっているときは、手動で選択してください。

## ●スクリーンタイプ

投写するスクリーンの比率を設定します。

フリー	液晶パネルの比率になります。マルチスクリーンや 17 : 9 画面 (2K) を投写するときを選択します。
4 : 3 スクリーン	縦横比が 4 : 3 のスクリーンの場合
16 : 9 スクリーン	縦横比が 16 : 9 のスクリーンの場合
16 : 10 スクリーン	縦横比が 16 : 10 のスクリーンの場合

**注意**

- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください。  
(110 ページ)

## ●壁色補正



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

## ●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。


モード	自動	本機内部の温度センサと気圧センサにより、適切な速度で回転します。
	高速	常に高速で回転します。

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。



- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。



- 「高速」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に  アイコンが表示されます。

## ●ライトモード

省エネの設定やマルチスクリーン投写時の各プロジェクター間の輝度合わせの調整です。省エネ設定は [56 ページ](#) の「3-6. ライトモードと省エネ効果」をご覧ください。

ライトモード	ノーマル	輝度（明るさ）が 100% になり、明るい画面になります。
	エコ 1	設定したモードに対応して輝度とファンを制御することで動作音が小さくなり消費電力も下がります。輝度一定モードが「オフ」のとき設定ができます。
	エコ 2	
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」にしない限り電源を切っても記憶しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整を行ってください。</li></ul>
調整		出力を 20 ~ 100% の範囲（1% 刻み）で調整できます。複数台のプロジェクターを使用してマルチスクリーン投写したとき、各プロジェクターの輝度合わせが行えます。ライトモードが「ノーマル」かつ、輝度一定モードが「オフ」のとき調整が有効になります。



- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。このため、マルチスクリーン投写の輝度設定は輝度を少し抑えた輝度に調整し、その後輝度設定モードを「オン」にしておくことをお勧めします。

## ● 基準ホワイトバランス

各信号共通のホワイトバランスを調整します。

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

コントラスト 赤	画面の白色を調整します。
コントラスト 緑	
コントラスト 青	
明るさ 赤	画面の黒色を調整します。
明るさ 緑	
明るさ 青	

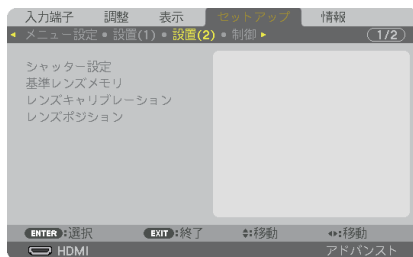
## ● 3D メガネ

使用する 3D メガネの方式を選択します。

使い方については、「3-9. 3D 映像を投写する」(▶ 64 ページ) をご覧ください。

DLP® Link	DLP® Link 方式の 3D メガネを使用するときに設定します。
その他	3D エミッタ (IR 方式やワイヤード方式) 対応の 3D メガネを使用するときに設定します。 3D エミッタを本機の 3D SYNC 端子に接続する必要があります。 3D メガネと 3D エミッタの推奨品については(▶ 64, 66 ページ) をご覧ください。

## 設置 (2)



## ● シャッター設定

投写光を遮断する機能を設定します。また、(SHUTTER/CALIBRATION)ボタン (リモコンでは (SHUTTER) ボタン) を押した時に徐々に明るくしていく (フェードイン)、徐々に暗くしていく (フェードアウト) 時間を設定します。

次ページに続く

パワーオンシャッター	開	電源を入れた時に光源が点灯し、映像が投写されます。
	閉	電源を入れても光源が点灯しません。 (SHUTTER/CALIBRATION) ボタンを押すと、シャッターが解除されて光源が点灯します。
映像ミュートシャッター	開	入力端子の切り替えなどの操作で映像が消えた時に、光源が点灯したままになります。
	閉	入力端子の切り替えなどの操作で映像が消えた時に、光源が消灯します。
フェードイン時間	(SHUTTER/CALIBRATION) ボタンを押した時に、光源を点灯して徐々に明るくしていく時間の設定です。 0～10秒まで1秒刻みの設定ができます。	
フェードアウト時間	(SHUTTER/CALIBRATION) ボタンを押した時に、光源を消灯して徐々に暗くしていく時間の設定です。 0～10秒まで1秒刻みの設定ができます。	

## ●基準レンズメモリ

スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）をすべての入力信号共通のものとして、本機の基準レンズメモリに保存することができます。基準レンズメモリを利用すると、レンズシフト、ズーム、フォーカスの調整を変更したときに、基準レンズメモリに保存している調整値に簡単に戻すことができます。(▶74ページ)

プロファイル	登録するプロファイル番号を選択します。
登録	すべての入力信号共通のものとして、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存します。
移動	基準レンズメモリに保存されているレンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値にレンズを移動します。
リセット	選択したプロファイル番号の基準レンズメモリの内容を工場出荷状態に戻します。
信号別読出し	信号を切り替えたときに、選択したプロファイル番号のレンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値にレンズを移動します。 レンズメモリに調整値が保存されていない場合は、基準レンズメモリの調整値にレンズを移動します。また、基準レンズメモリに調整値が保存されていない場合は工場出荷状態に戻ります。
映像ミュート	レンズ移動中に、映像をミュート（消去）するかしらないかを選択します。



- レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を、入力信号ごとに保存する場合は、レンズメモリで保存してください。(▶114ページ)
- 基準レンズメモリはデータリセットを行っても変更されません。
- シャッター設定の映像ミュートシャッターを「閉」に設定している場合は、映像ミュート時に光源が消灯し投写光が消えます。(▶このページ)

## ●レンズキャリブレーション

レンズメモリのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。  
レンズユニットを交換したあとは、必ずレンズキャリブレーションを行ってください。

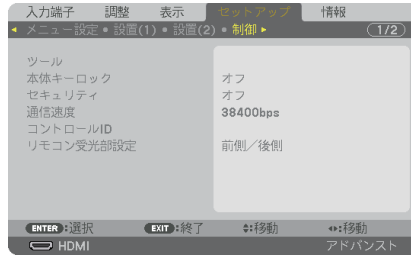
- キャリブレーションが必要なレンズユニットの型名  
NP16FL/NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/NP20ZL/NP21ZL/NP31ZL

## ●レンズポジション

レンズの位置を移動します。

ホーム	レンズの位置をホームポジションに戻します。
種類	レンズユニット NP39ML を装着したときに、レンズを最適な位置へ移動します。

## 制御

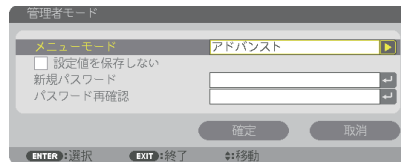


## ● ツール



## 管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効/無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。



メニューモード	ベーシックメニューとアドバンストメニューを選択します。 それぞれのメニューで使用できる項目は <a href="#">94 ページ</a> をご覧ください。	—
設定値を保存をしない	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存する場合にチェックマークを外します。	—
新規パスワード パスワード再確認	管理者モードにパスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字



# プログラムタイマー



曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／スタンバイや映像信号の切り替え、およびライトモードの切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の9時に電源がオンになり、9時1分にコンピュータの画面に切り替わり、17時に電源がスタンバイ状態になります。



**重要**

- 「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「日付と時刻設定」に現在の日付／時刻を設定してください (▶ 136 ページ)。  
また、本機をスタンバイ状態においてください。本機の電源コードを外したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

## プログラムを新しく設定する

- 1** プログラムタイマー画面で (▼/▲) ボタンを押して [設定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
プログラムリスト画面が表示されます。



- 2** 予定が入っていない番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
編集画面が表示されます。



- 3** 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。



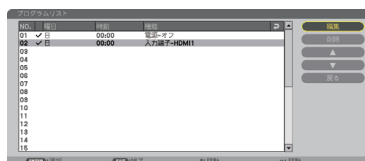
動作	チェックマークを付けるとプログラムが有効になります。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると [詳細設定] で電源のオン/オフ、「入力端子」を選択すると [詳細設定] で映像信号、「ライトモード」を選択すると [詳細設定] でライトモードを選べるようになります。
詳細設定	[機能] で選択した内容に応じて、電源のオン/オフ、映像信号の種類、またはライトモードを選択します。
繰り返し	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

#### 4 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

#### 5 「戻る」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。



#### 6 (EXIT) ボタンを押す。

ツール画面に戻ります。



#### 注意

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- [繰り返し] にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に [動作] のチェックが外されて無効になります。
- 電源オン時刻、および電源オフ時刻が同時刻に重なるときは、電源オフのプログラムが優先されます。
- 異なる入力端子の映像信号設定が同時刻に重なるときは、プログラム番号の大きいプログラムが優先されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーの [有効] にチェックが付いていても [動作] にチェックが付いていないプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手動で電源をオフにしてください。

### プログラムタイマーを有効にする

- 1 プログラムタイマー画面で [プログラムタイマー] の [有効] にカーソルを合わせて、**(ENTER)** ボタンを押す。

選択画面が表示されます。

- 2 **(▼)** ボタンを押して [オン] にカーソルを合わせて、**(ENTER)** ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。

#### 注意

- プログラムタイマーの有効設定が「オン」に設定されていないときは、プログラムリストの [動作] の項目にチェックが付いていてもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーの有効設定が「オン」に設定されていても、プログラムタイマー画面を閉じるまではプログラムタイマーは動作しません。

### プログラムを編集する

- 1 プログラムリスト画面で編集したい番号にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

- 2 編集画面で設定を変更する。

- 3 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

### プログラムの順番を変更する

プログラムタイマーは、設定時刻の早い順にプログラムを実行します。

- 1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にカーソルを合わせ、**(▶)** ボタンを押す。

- 2 **(▼)** ボタンを押して「▲」または「▼」を選択する。

- 3 希望の位置まで移動するまで **(ENTER)** ボタンを数回押す。

これでプログラムの順番が変更されます。

### プログラムを削除する

- 1 プログラムリスト画面で削除したい番号にカーソルを合わせ、**(▶)** ボタンを押す。

- 2 **(▼)** ボタンを押して「削除」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

- 3 「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

削除されプログラムリスト画面に戻ります。

## 日付と時刻設定

本機に日付と時刻およびタイムゾーンを設定します。

(注) 日本で使用する場合は「夏時間設定」は、設定しないでください。



タイムゾーン設定 (注)	<ul style="list-style-type: none"><li>時刻を設定するときに必ず「タイムゾーン」も設定してください。</li><li>日本の時刻の場合は「GMT +09:00」を選択します。</li></ul>
日付・時刻設定	現在の「月／日／年」、「時／分」を設定します。
インターネット時刻サーバ	<ul style="list-style-type: none"><li>ネットワーク上のNTPサーバと同期して、正しい時刻を取得するときに設定します。</li><li>NTPサーバのIPアドレス、またはホスト名を入力します。</li></ul>

### 注意

- 本機の時計機能を使用するときは、本機の未使用時にスタンバイ状態にしておいてください。  
本機の電源を遮断したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付と時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

## マウス設定

この機能は、本機では使用できません。将来の拡張用です。

## ● 本体キーロック


プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

### 注意

- 本体キーロックの解除方法  
本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の(SOURCE)ボタンを約10秒間押し、本体キーロックの設定が解除されます。

### 参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

## ●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する」

(▶ 61 ページ) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

### 参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

## ●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

### 注意

- 添付の CD-ROM に収録しているソフトウェアを使用する場合は、38400bps 以下に設定してください。

### 参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

## ●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	プロジェクターに割り当てる番号を 1～254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

### 注意

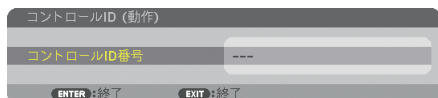
- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

### 参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の(ENTER)ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

## リモコンへのIDの設定/変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの(ID SET) ボタンを押す。  
コントロール ID 画面が表示されます。

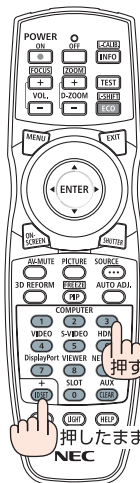
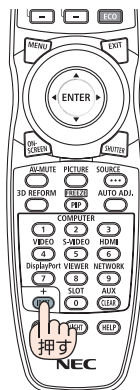


このとき、現在のリモコンIDで操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。  
「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順3でプロジェクターのコントロールID番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの(ID SET)ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンのIDを設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。  
IDなし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000を入力するか、または(CLEAR)ボタンを押します。

- 参考**
- リモコンのIDは1～254まで登録できます。



- 4 (ID SET)ボタンを離す。  
コントロール ID 画面が表示されます。  
このとき、変更されたリモコンIDで動作・非動作画面が更新されます。

- 注意**
- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくするとIDはクリアされることがあります。
  - リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定しているIDはクリアされます。

## ●リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。
HDBaseT	市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使って操作する場合に選択します。

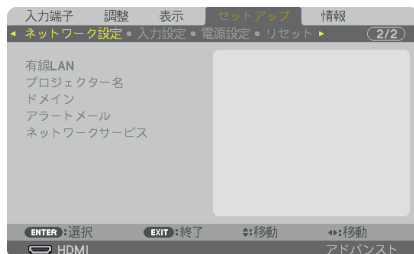
### 注意

- 「HDBaseT」 に設定しているとき、本機に接続している HDBaseT 対応の伝送機器の電源が入っていると、本機のリモコンは受信できません。

### 参考

- 本機を天井設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

## ネットワーク設定



### 重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の Ethernet/HDBaseT ポートに Ethernet ケーブル (LAN ケーブル) を接続してください。(🔗 165 ページ)

### 参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

### 本機にLANの設定を行うヒント

#### ● LAN の設定を行うには？ (設定を本機のメモリに記憶するには？)

有線 LAN の「プロファイル」から、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。本機では、2 とおりメモリに記憶することができます。

続いて、「DHCP」の有効／無効、「IP アドレス」、「サブネットマスク」などの設定後、「確定」にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。(🔗 141 ページ)

#### ● プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？

有線 LAN の「プロファイル」から呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。

(🔗 141 ページ)

#### ● DHCP サーバに接続するには？

有線 LAN の「DHCP」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。

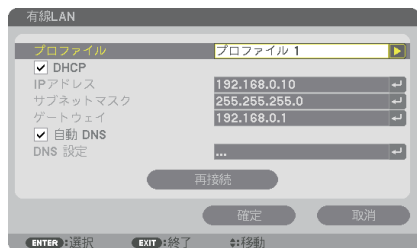
チェックマークが付きます。「DHCP」にカーソルを合わせ、もう一度(ENTER)ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCP サーバを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、「DHCP」のチェックマークを外してください。(🔗 141 ページ)

#### ● プロジェクターの各種のエラーをEメールで受け取るには？

[アラートメール] メニューで [メール通知] にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。チェックマークが付きます。続いて、[差出人アドレス] や [SMTP サーバ名]、[宛先アドレス]などを設定し、[確定]にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。(🔗 143 ページ)



## ●有線 LAN

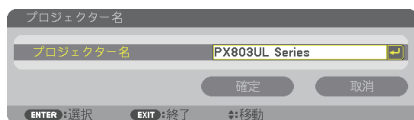


IP アドレスなど文字入力が必要な設定は、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面を表示します。入力方法は [93 ページ](#) 「文字入力画面の使い方」をご覧ください。

プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機に内蔵の Ethernet/HDBaseT ポートを使用する場合の設定を 2 とおり、本機のメモリに記憶することができます。</li> <li>「プロファイル 1」、「プロファイル 2」を選択し、「DHCP」以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の「確定」にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。設定内容が本機のメモリに記憶されます。</li> <li>本機のメモリに記憶した設定を呼び出す場合は、「プロファイル」から選んで画面下の「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。</li> <li>有線 LAN と接続しないときは「無効」を選択します。</li> </ul>	—
DHCP	<p>本機を接続するネットワークが、DHCP サーバによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク (☑) を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。</li> <li>☐ (チェックマークを外す) ……ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。</li> </ul>	—
IP アドレス	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
サブネットマスク	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。	数字 12 文字
ゲートウェイ	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	数字 12 文字

自動 DNS	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。</li> <li><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。</li> </ul>	数字 12 文字
DNS 設定	「自動 DNS」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロファイル」を変更したときなどに実行してください。	—

## ● プロジェクター名



プロジェクター名	本機のプロジェクター名を設定します。	半角英数記号 1～16文字
----------	--------------------	------------------

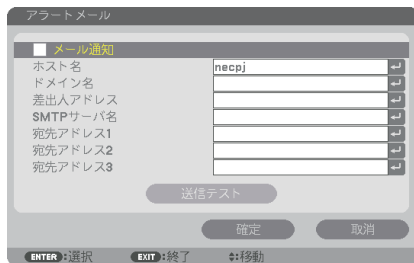
## ● ドメイン

本機のホスト名とドメイン名を設定します。



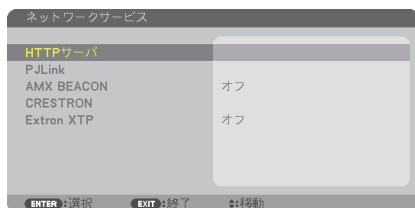
ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

## ●アラートメール



メール通知	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機に各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</li> <li>・<input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。</li> </ul> <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Subject: [Projector] Projector Information          冷却ファンの回転が停止しています。          [情報]          プロジェクター名：PX803UL Series          ライト使用時間：0000 [H]</p> </div>	—
ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字
差出人アドレス	本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTPサーバ名	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。	最大 60 文字
宛先アドレス 1 宛先アドレス 2 宛先アドレス 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
送信テスト	Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。	—
	<p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定を確認してください。</li> <li>● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。</li> </ul>	

## ●ネットワークサービス



パスワードなど文字入力が必要な設定は、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面を表示します。入力方法は [93 ページ](#) 「文字入力画面の使い方」をご覧ください。

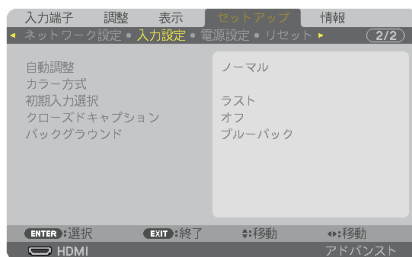
HTTP サーバ	HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字
PJLink	<p>PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合に、パスワードを設定します。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMIA) が制定したネットワーク (通信) インターフェイス規格です。  <a href="http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html">http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html</a>                      本機は、PJLink class 1 のすべてのコマンドに対応しています。</li> <li>● 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。</li> <li>● パスワードは、「リセット」を行っても解除されません。</li> </ul>	英数字 最大 32 文字
AMX BEACON	<p>本機を AMX 社の NetLinX コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。</li> </ul> <p>オン…… AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。</p> <p>オフ…… AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。</p>	—

CRESTRON	<p>ROOMVIEW：コンピュータで制御する場合に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …ROOMVIEW を有効にします。</li> <li>• <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) …ROOMVIEW を無効にします。</li> </ul> <p>CRESTRON CONTROL：コントローラで制御する場合に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …CRESTRON CONTROL を有効にします。 CONTROLLER IP ADDRESS：CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を入力します。 IP ID：CRESTRON SERVER の IP ID を入力します。</li> <li>• <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) …CRESTRON CONTROL を無効にします。</li> </ul>	数字 12 文字 (この欄は IP アドレスが入ります。)
Extron XTP	<p>本機を Extron 社の XTP トランスミッターに接続する場合に設定します。</p> <p>オン……XTP トランスミッターとの接続を有効にします。 オフ……XTP トランスミッターとの接続を無効にします。</p>	—

### 参考

- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。(英語のみ) <http://www.crestron.com>

## 入力設定



### ●自動調整

調整されていないコンピュータ入力信号 (アナログ RGB) に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	<p>自動調整を行いません。</p> <p>(AUTO ADJ.) を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください</p>
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	<p>より精密な自動調整を行います。</p> <p>「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあと映像が表示されるまで時間がかかります。</p>

**参考**

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- (AUTO ADJ.) ボタンを押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

## ● カラー方式

NTSC や PAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

## ● 初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI	HDMI IN 端子の入力信号を投写します。
DisplayPort	DisplayPort IN 端子の入力信号を投写します。
BNC	BNC 入力端子の入力信号を投写します。
BNC (CV)	BNC (CV) 入力端子の入力信号を投写します。
BNC (Y/C)	BNC (Y/C) 入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ	COMPUTER IN 端子の入力信号を投写します。
HDBaseT	HDBaseT または有線 LAN の信号を投写します。
SLOT	SLOT (スロット) に装着している別売のオプションボードを介して映像を投写します。

## ● クローズドキャプション

ビデオ信号、S-ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オンスクリーンが消えたあと、しばらくして字幕や文字が表示されます。

オフ	表示しません。
キャプション 1～4、テキスト 1～4	選択した字幕や文字を表示します。

**参考**

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

## ● バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

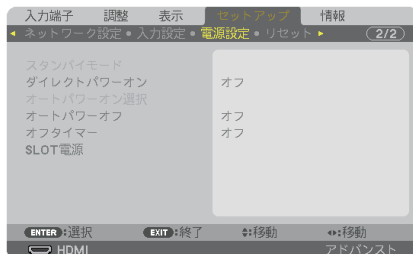
## 注意

- バックグラウンド「ロゴ」を選択していても、PIP/PICTURE BY PICTURE で 2 画面を表示している場合は、無信号状態になるとロゴは表示されずブルーバック表示になります。

## 参考

- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

## 電源設定



## ●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、本機の消費電力が 0.5 ワットになります。スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータが消灯します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 「ノーマル」に設定していると、次の端子や機能が働きません。HDMI OUT 端子、Ethernet/HDBaseT ポート、USB ポート、LAN 機能、メール通知機能</li></ul>
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のときの消費電力が「ノーマル」に比べて高くなりますが、有線 LAN を使って本機の電源を入れることができます。スタンバイ状態のとき、電源インジケータはオレンジ色で点灯しステータスインジケータが消灯します。

## 重要

- 「ネットワークスタンバイ」を選択すると「オートパワーオフ」は灰色表示になり選択できなくなり、強制的に「0:15」が選択された状態になります。
- 以下の状態では、スタンバイモードの設定は無効となりスリープ状態\*になります。スリープ状態では内部部品保護のためにファンが回転します。
  - ※スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。
    - ・ ネットワークサービス→ AMX BEACON → 「オン」のとき
    - ・ ネットワークサービス→ CRESTRON → CRESTRON CONTROL → 「有効」のとき
    - ・ ネットワークサービス→ Extron XTP → 「オン」のとき
    - ・ 制御→リモコン受光部設定→ 「HDBaseT」のとき
    - ・ HDBaseT 伝送機器からの信号受信中
- 「ノーマル」を選択すると「オートパワーオン選択」は灰色表示になり選択できなくなり、自動的に「オフ」が選択された状態になります。



- 市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は、接続している機器の影響により、本機のスタンバイ時の消費電力が増加します。



- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメータの CO2 削減量の計算から除外しています。

## ●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (🔵 146 ページ) で設定している信号が投写されます。

## ●オートパワーオン選択

本機がネットワークスタンバイ状態のとき、コンピュータ、HDMI、DisplayPort、HDBaseT、SLOT から入力される同期信号を検出して自動的に投写する設定です。

オフ	オートパワーオン機能は動きません。
HDMI	選択した入力端子のコンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピュータ画面を投写します。
DisplayPort	
コンピュータ	
HDBaseT	
SLOT	



- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン選択を働かせたい場合は、入力端子の信号を遮断、またはケーブルを抜いて、電源を切ったあと 3 秒以上待ってから、設定した信号を入力してください。  
本機の電源を切りネットワークスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずネットワークスタンバイ状態を継続します。  
HDMI、DisplayPort、HDBaseT 信号が本機に入力され続けていると、本機の電源を切りネットワークスタンバイ状態にしても、外部機器の仕様によっては再度、本機が起動する場合があります。
- COMPUTER IN 端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピュータ信号の場合は動きません。



## ●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は動きません。
0:05 / 0:10 / 0:15 / 0:20 / 0:30 / 1:00	設定した時間（5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 1時間）以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。



- Ethernet/HDBaseT ポートからの信号を投写中はオートパワーオフは動きません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」のときは、オートパワーオフは灰色表示になり、強制的に「0:15」に設定されます。

## ●オフタイマー

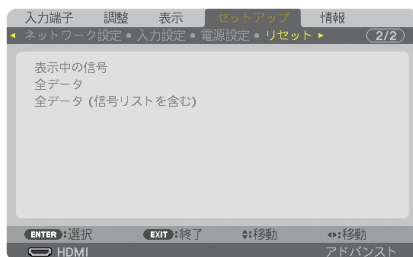
オフタイマーを設定しておく、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

## ● SLOT 電源

本機に取り付けたオプションボード（別売）への電源を設定します。

プロジェクターオン	SLOT（スロット）に取り付けた別売のオプションボードの電源の入／切を行います。
プロジェクタースタンバイ	本機がスタンバイ状態のとき、SLOT（スロット）に取り付けた別売のオプションボードに電源の供給を行うかどうかを設定します。

## リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

### ●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。



- 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

### ●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

信号リスト・言語・バックグラウンド・フィルタメッセージ・エッジブレンディング・マルチスクリーン・スクリーン設定・幾何学補正・基準ホワイトバランス・本体キーロック・セキュリティ設定・通信速度・時刻設定・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・ライト使用時間・総CO2削減量・有線LAN

### ●全データ（信号リストを含む）

信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

言語・バックグラウンド・フィルタメッセージ・エッジブレンディング・マルチスクリーン・スクリーン設定・幾何学補正・基準ホワイトバランス・本体キーロック・セキュリティ設定・通信速度・時刻設定・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・ライト使用時間・総CO2削減量・有線LAN



- 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

# 5-7. 情報

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

使用時間 \* 信号(1) \* 信号(2) \* 信号(3) \* 信号(4) (1/2)

ライト使用時間	0000 [H]
絵CO2削減量	0.000[kg-CO2]

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

使用時間 \* 信号(1) \* 信号(2) \* 信号(3) \* 信号(4) (1/2)

入力端子	HDMI
解像度	1024x768
水平同期周波数	48.58[kHz]
垂直同期周波数	62.13[Hz]
同期形態	セパレート
同期極性	H(-) V(-)
走査方式	ノンインターレース
信号名	1024x768
登録番号	1

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

使用時間 \* 信号(1) \* 信号(2) \* 信号(3) \* 信号(4) (1/2)

信号形式	RGB
ビデオ標準	NTSC
色深度	8[bits]
ビデオレベル	フル
データレート	2.7[Gbps]
レーン数	1[lane]
3Dフォーマット	フレームパッキング

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

使用時間 \* 信号(1) \* 信号(2) \* 信号(3) \* 信号(4) (1/2)

入力端子	---
解像度	1024x768
水平同期周波数	48.58[kHz]
垂直同期周波数	62.13[Hz]
同期形態	セパレート
同期極性	H(-) V(-)
走査方式	ノンインターレース
信号名	1024x768
登録番号	1

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

使用時間 \* 信号(1) \* 信号(2) \* 信号(3) \* 信号(4) (1/2)

信号形式	RGB
ビデオ標準	NTSC
色深度	8[bits]
ビデオレベル	フル
データレート	2.7[Gbps]
レーン数	1[lane]
3Dフォーマット	フレームパッキング

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

有線LAN \* VERSION(1) \* その他 \* HDBaseT (2/2)

IPアドレス	192.168.0.10
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
MACアドレス	00:0C:29:00:00:00

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

有線LAN \* VERSION(1) \* その他 \* HDBaseT (2/2)

FIRMWARE	1.00
DATA	1.00
SUB-CPU	1.00

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

有線LAN \* VERSION(1) \* その他 \* HDBaseT (2/2)

日付と時刻	01/01/2013 火 00:00
プロジェクト名	PX803UL Series
MODEL NO.	XXXXXXXXXX
SERIAL NUMBER	XXXXXXXXXX

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

入力端子 調整 表示 セットアップ 情報

有線LAN \* VERSION(1) \* その他 \* HDBaseT (2/2)

信号品質	ノーマル
オペレーションモード	HDBaseT
リンクステータス	HDBaseT
HDMIステータス	NO HDMI

EXIT:終了 移動 アドバンスト

HDMI

ライト使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- ・ 使用時間ページの「総 CO2 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。

[🔍 57 ページ](#)

- ・ 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使用します。「対応解像度一覧」([🔍 189 ページ](#)) もあわせてご覧ください。

## 6. 機器と接続する

### 6-1. レンズユニット(別売)を取り付ける

本機は8種類の別売レンズユニットが使用できます。ここではNP18ZL(標準ズーム)のレンズユニットで説明します。他のレンズユニットも同じ方法で取り付けてください。レンズの仕様は [195 ページ](#) をご覧ください。

レンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体の(Shutter/Calibration)ボタンを押すか、リモコンの(CTL)ボタンを押したまま(Info/L-Calib.)ボタンを押して、「レンズキャリブレーション」を実行してください。  
([▶36, 131 ページ](#))

レンズキャリブレーションを行うことにより、レンズメモリのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。

※キャリブレーションが必要なレンズユニットの型名

NP16FL/NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/NP20ZL/NP21ZL/NP31ZL



#### 警告

レンズユニットの着脱は(1)電源を切る操作をし、冷却ファンが停止するのを待つ、(2)主電源スイッチを切る、(3)電源コンセントを抜いて、本体が十分冷えてから行ってください。投写状態で行うと目の障害、感電やけなどの原因になります。

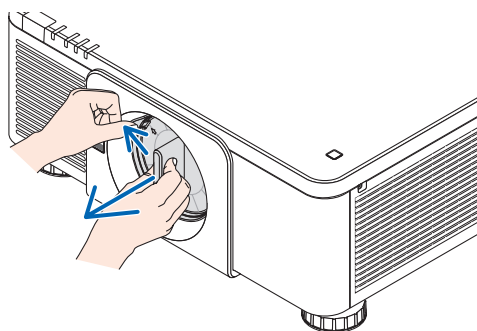


#### 重要

- プロジェクターおよびレンズユニットは精密部品でできています。衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。
- プロジェクターからレンズユニットを取り外す際は、プロジェクターの電源を切る前にレンズ位置をホームポジションに戻してください。ホームポジションに戻していないと、プロジェクターとレンズユニットの隙間が狭くなり、取り外しおよび取り付けの障害になります。
- 作業中、レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意ください。
- 作業は平らな場所で、傷が付かないように布などを敷いて行ってください。
- 長時間レンズユニットを外しておく場合は、防塵キャップを本体に取り付け、ほこりやゴミが内部に入らないようにしてください。レンズユニットを取り外したままにしておくと光学ユニット内部にほこりなどが入り光学部品が損傷したり画質が低下するおそれがあります。
- 本書に記載している以外の型名のレンズユニットを本機に取り付けることはできません。

## レンズユニットを取り付ける

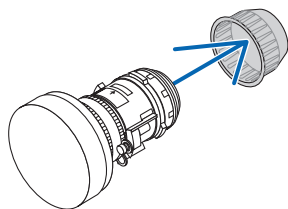
- 1** 本体の防塵キャップを外す。  
左上のつまみを外側に向けて押しなが  
ら、中央のつまみを引いて外してくだ  
さい。



- 2** レンズユニット後ろのレンズキャップ  
を外す。

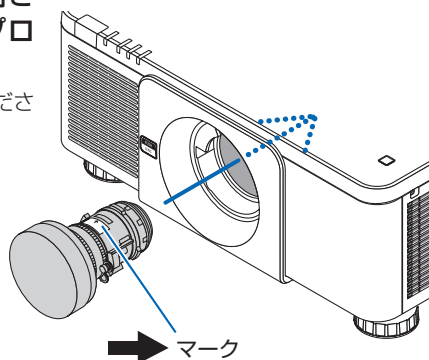
・レンズユニット NP18ZL で説明しています。

- 注意** ● 後ろのレンズキャップは必ず取り外し  
てください。後ろのレンズキャップを  
取り付けたまま本体に取り付けると故  
障の原因となります。



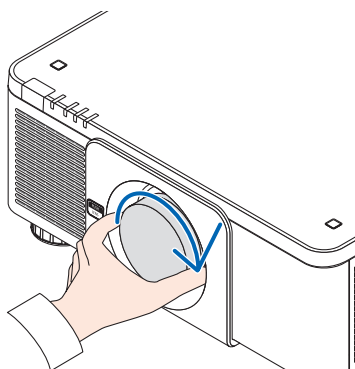
- 3** レンズユニットの矢印マークが印刷さ  
れているラベル面を上に向けて、プロ  
ジェクター本体に挿入する。

角度を維持したままゆっくり奥まで挿入してくだ  
さい。

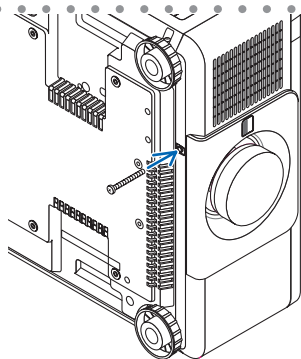


- 4** レンズユニットを右に回す。

カチッと音がするまで回します。  
レンズユニットがプロジェクター本体に固定されま  
す。



- レンズユニット盗難防止用ネジの取り付けかた  
レンズユニットを簡単に取り外されないようにする場合は、本機に添付のレンズユニット盗難防止用ネジを使って、本体とレンズユニットをネジ止めします。



## レンズユニットを取り外す

### レンズを取り外す前の準備

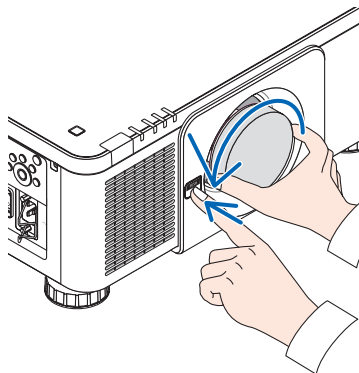
1. プロジェクターの電源を入れ投写状態にしてください。(▶35 ページ)
2. 本体の(LENS SHIFT/HOME POSITION)ボタンを長押し(約2秒以上)押ししてください。レンズ位置がホームポジションに戻ります。
3. 電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。(▶51 ページ)
4. しばらく待って、本体が十分に冷えたことを確認してください。

### 1 プロジェクター本体前面のレンズリリース (LENS) ボタンを奥まで押し込みながら、レンズを左に回す。

レンズユニットが外れます。

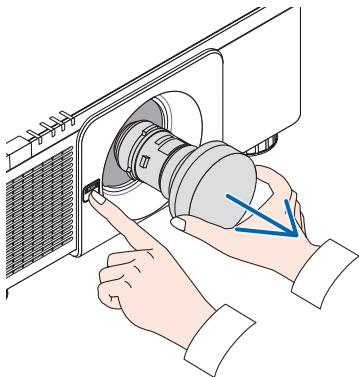
#### 注意

- レンズリリース (LENS) ボタンを押してもレンズユニットを取り外せない場合は、レンズユニット盗難防止用ネジが取り付けられていないか確認してください。



### 2 プロジェクター本体からレンズユニットをゆっくり引き出して、レンズリリース (LENS) ボタンをはなす。

- ・ 外したレンズユニットはレンズユニットに添付していたレンズキャップ(前と後)を取り付けてから保管してください。
- ・ レンズユニットを取り付けないときは、本体に添付の防塵キャップを取り付けてください。



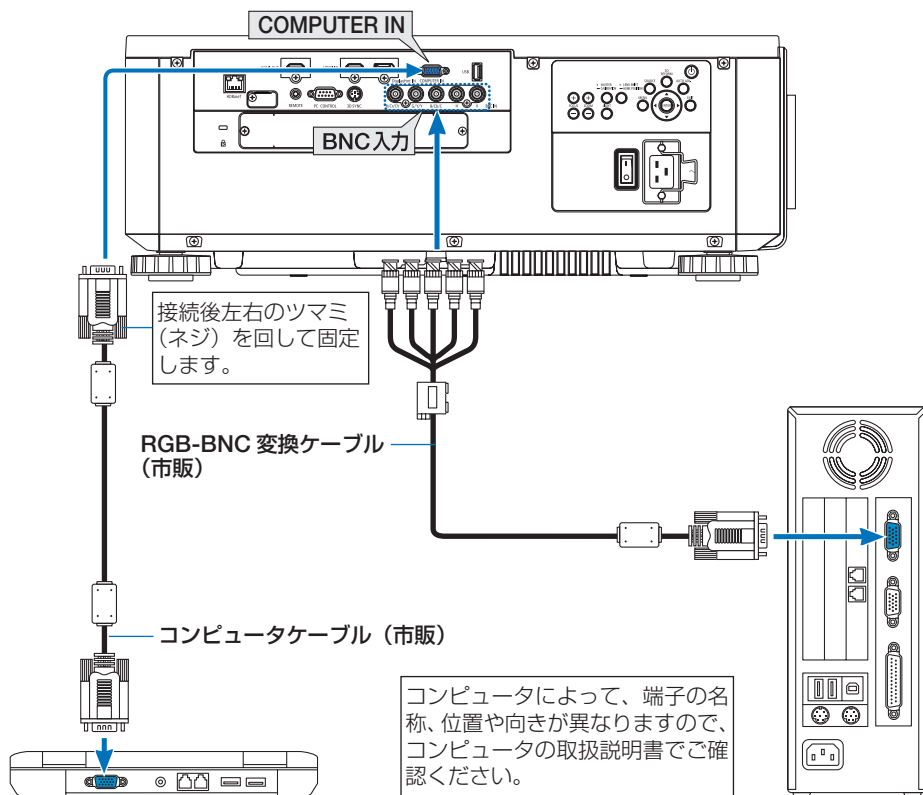
## 6-2. コンピュータと接続する

コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル、BNC ケーブル（5 芯タイプ）、HDMI ケーブル、および DisplayPort ケーブルを使用する方法があります。

接続ケーブルは添付しておりません。接続に合ったケーブルをご用意ください。

### アナログ RGB 信号の接続

- コンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機の COMPUTER IN 端子を接続します。フェライトコア付きコンピュータケーブルをご使用ください。
- コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と BNC 入力端子とを接続する場合は、BNC ケーブル（5 芯）→ミニ D-Sub15 ピン変換ケーブルをご使用ください。



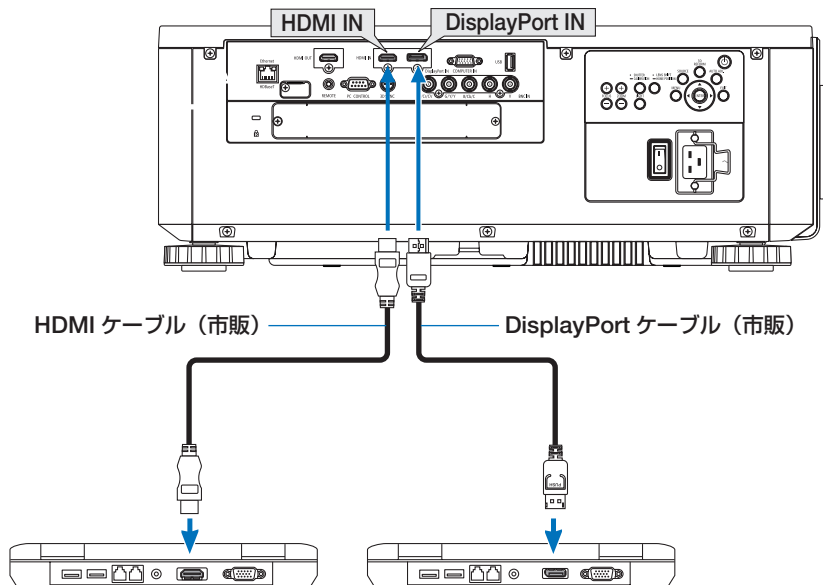
- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の (SOURCE) ボタン	リモコンのボタン
BNC 入力端子	●×5 BNC	(COMPUTER 2)
COMPUTER IN 端子	● コンピュータ	(COMPUTER 1)



## デジタル RGB 信号の接続

- HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI IN 端子を接続します。
  - DisplayPort ケーブルはコンピュータの DisplayPort 出力端子と本機の DisplayPort IN 端子を接続します。
- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の (SOURCE) ボタン	リモコンのボタン
HDMI IN 端子	 HDMI	 (HDMI)
DisplayPort IN 端子	 DisplayPort	 (DisplayPort)

- HDMI ケーブル接続時の注意
- HDMI ケーブルは、認証済みの HIGH SPEED ケーブルまたは ETHERNET 対応 HIGH SPEED ケーブルを使用してください。
- DisplayPort ケーブル接続時の注意
- DisplayPort ケーブルは、認証済み CERTIFIED ケーブルを使用ください。

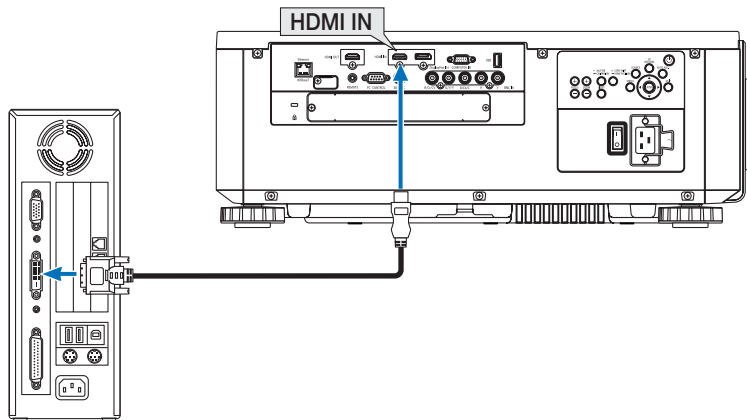


- コンピュータによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブル (市販) はロック付きのものが 있습니다。
- ケーブルを取り外す際は、ケーブルのコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- DisplayPort IN 端子からは接続機器へ電源供給が可能です (最大 1.65W)。ただし、コンピュータへの電源供給は行いません。

- ・信号変換アダプタを使用した機器からの信号を DisplayPort IN 端子に接続した場合、映像が表示されないことがあります。
- ・コンピュータの HDMI 出力端子と本機の DisplayPort IN 端子を接続する場合は、市販のコンバータを使用してください。

● DVI 入力時の注意

- ・コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の変換ケーブルを使用して本機の HDMI 端子に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。



**注意**

- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠したのものを使用してください。
- DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源が切れた状態で行ってください。
- DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI を選択します。最後にコンピュータを起動してください。  
上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピュータを再起動してください。
- コンピュータのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
- 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。  
一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

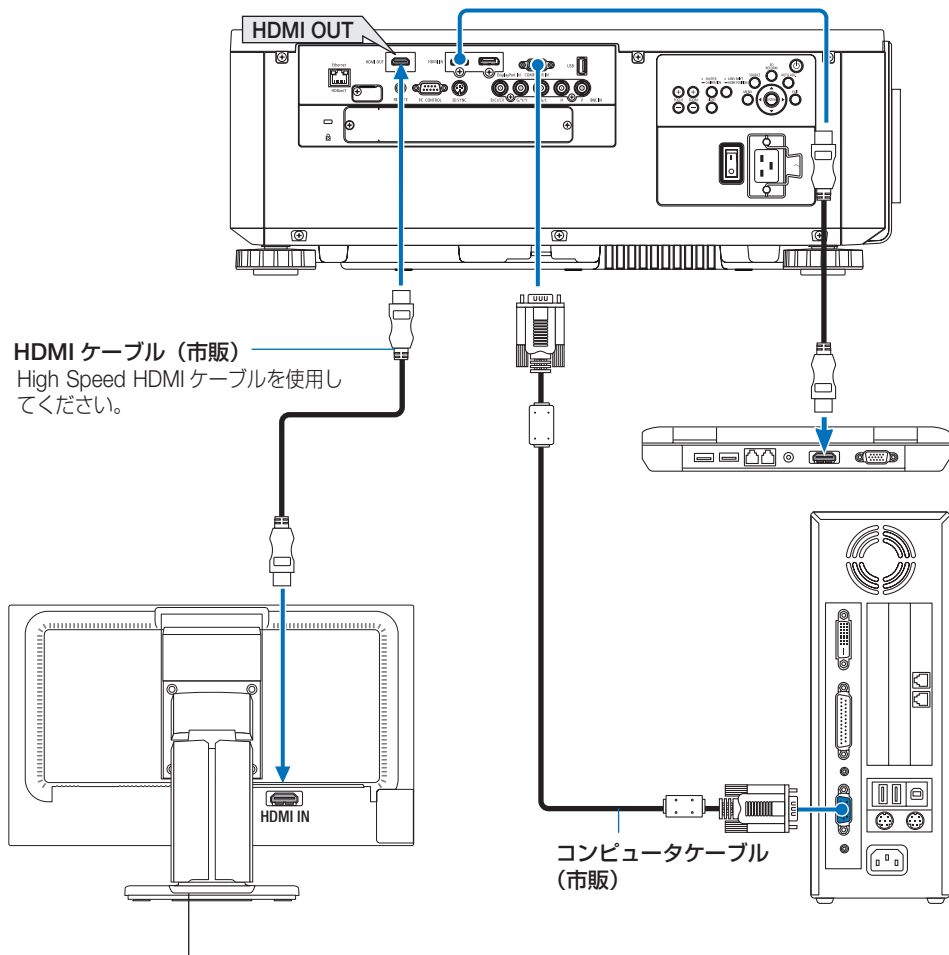
**参考**

- COMPUTER IN 端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。BNC 入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応していません。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。Mini DisplayPort を装備している Mac と本機を接続する場合は、市販の Mini DisplayPort - DisplayPort 変換ケーブルを使用してください。

## 6-3. ディスプレイと接続する

図のように、コンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。

- BNC (CV) のコンポジットビデオ信号と BNC (Y/C) の S-ビデオ信号は出力されません。
- PIP/PICTURE BY PICTURE 画面を表示しているときは [82 ページ](#)をご覧ください。



ディスプレイによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、ディスプレイの取扱説明書でご確認ください。

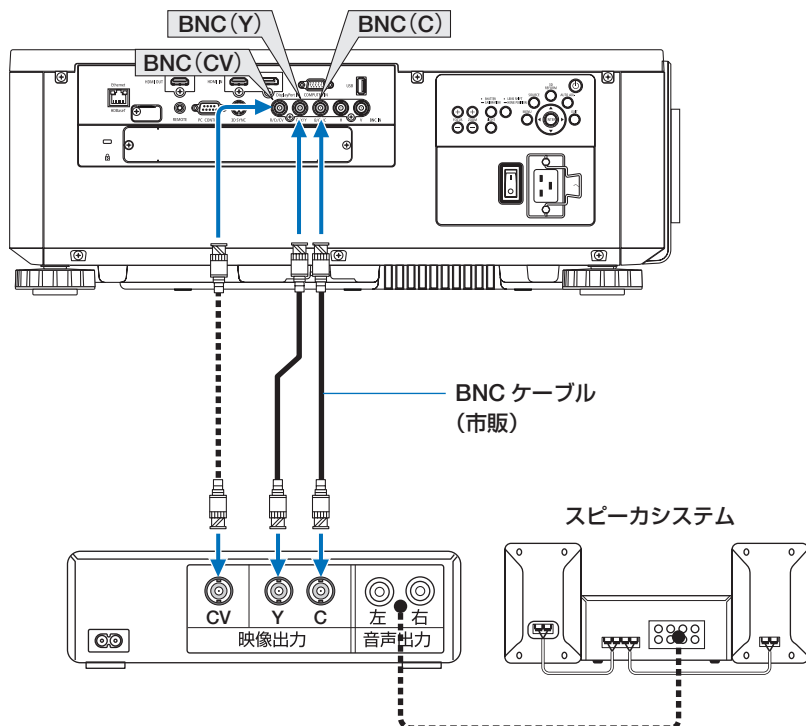
**注意**

- HDMI 信号を出力する場合は、本機に映像信号を入力する前に、出力する側の映像機器の電源を入れて接続した状態にしてください。  
本機の HDMI OUT 端子はリピーター機能を有しています。HDMI OUT 端子に機器が接続された場合、出力する信号は接続先の機器の対応解像度に制限されます。
- 2 台目以降のプロジェクターの端子切り替えや HDMI ケーブルの抜き差しを行うと、HDMI リピーター機能が動作しなくなります。
- 本機の HDMI OUT 端子の場合、論理値直列に接続できる台数は 7 台です。  
接続台数は、信号やケーブルなどの品質や外部環境により最大接続台数は少なくなります。  
接続できる台数は、HDCP のバージョン、ソース機器の HDCP リピート台数の制限、ケーブルの品位によって異なります。システムを構築する場合は、システム全体での事前確認が必要です。
- スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき、本機をスタンバイ状態にすると映像は出力されません。「ネットワークスタンバイ」に設定して、伝送機器の電源を入れて接続した状態にしてください。
- 本機のスタンバイモードの設定を「ノーマル」に設定していると HDMI 信号は出力しません。HDMI 信号を出力するには、スタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に設定し、伝送機器の電源を入れて接続した状態にしてください。

## 6-4. ブルーレイプレーヤなどの AV 機器と接続する

### コンポジットビデオ信号／S-ビデオ信号の接続

業務用ビデオ機器の映像を投写する場合は、市販の BNC ケーブルを使用してください。



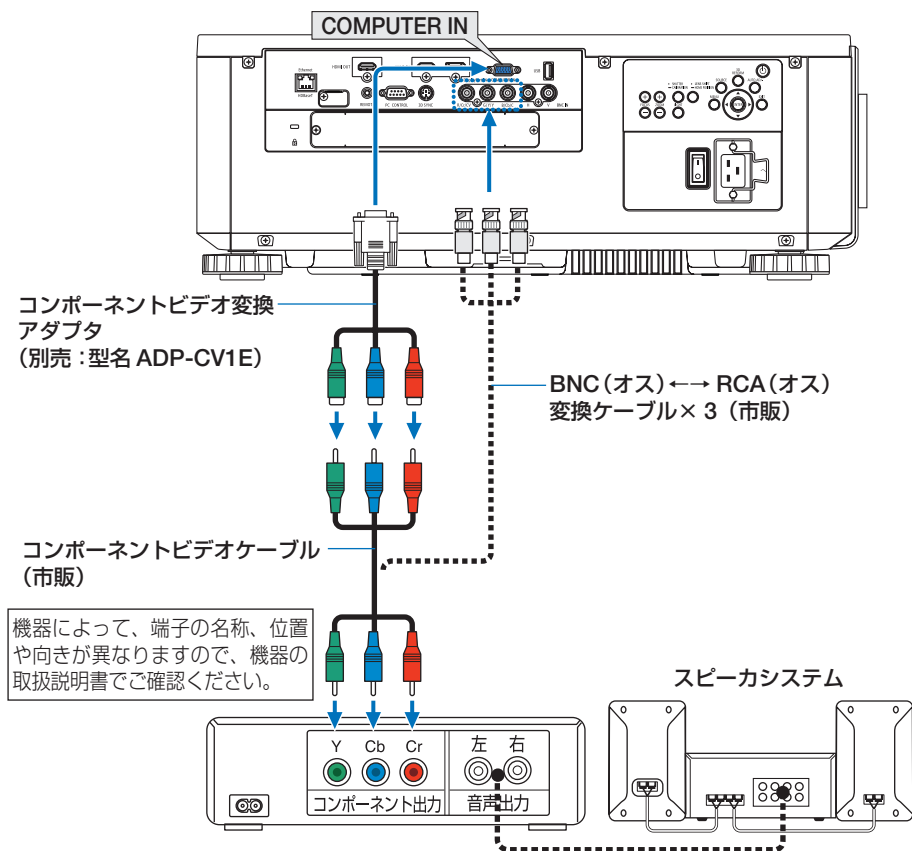
機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の (SOURCE) ボタン	リモコンのボタン
BNC (CV) 入力端子	●●● BNC (CV)	(VIDEO)
BNC (Y/C) 入力端子	●●● BNC (Y/C)	(S-VIDEO)

## コンポーネント信号の接続

ブルーレイプレーヤの色差出力端子（ブルーレイ映像出力）やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子（HD映像出力）を使って本機で投写することができます。ブルーレイプレーヤの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

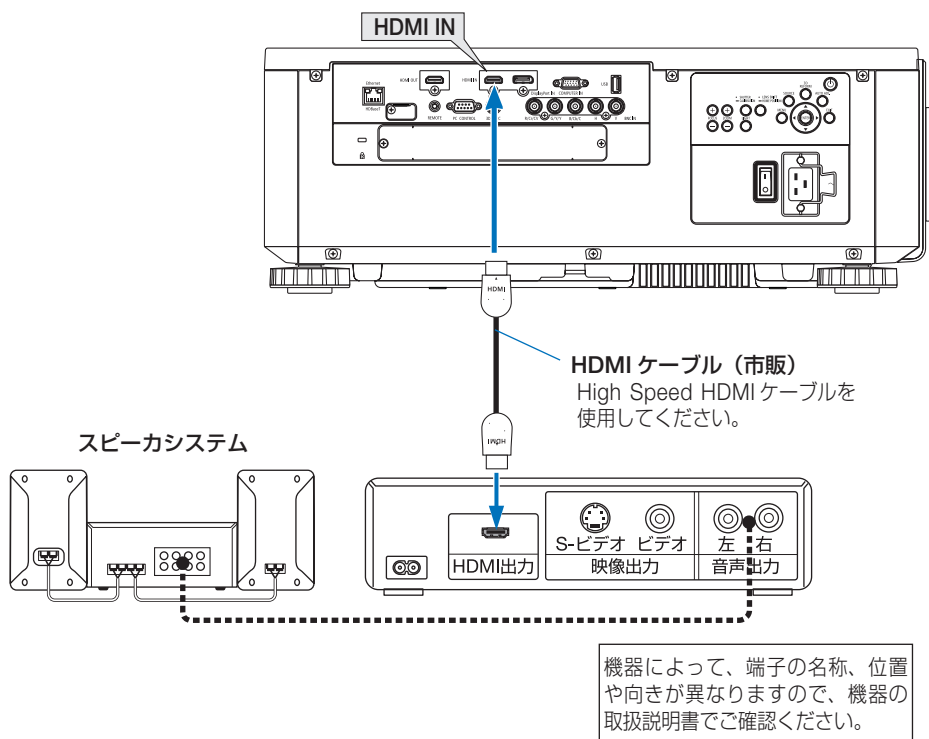
接続端子	本体の (SOURCE) ボタン	リモコンのボタン
COMPUTER IN 端子	コンピュータ	(COMPUTER 1)
BNC 入力端子	×5 BNC	(COMPUTER 2)

### 参考

- 信号形式を「自動」（工場出荷状態）に設定しているとコンピュータ信号とコンポーネント信号を自動で判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューの調整→ビデオ→信号形式で「コンポーネント」を選択してください。（113 ページ）
- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ（型名 ADP-DT1E）をお使いください。

## デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤまたはデジタル放送チューナなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。



- 本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

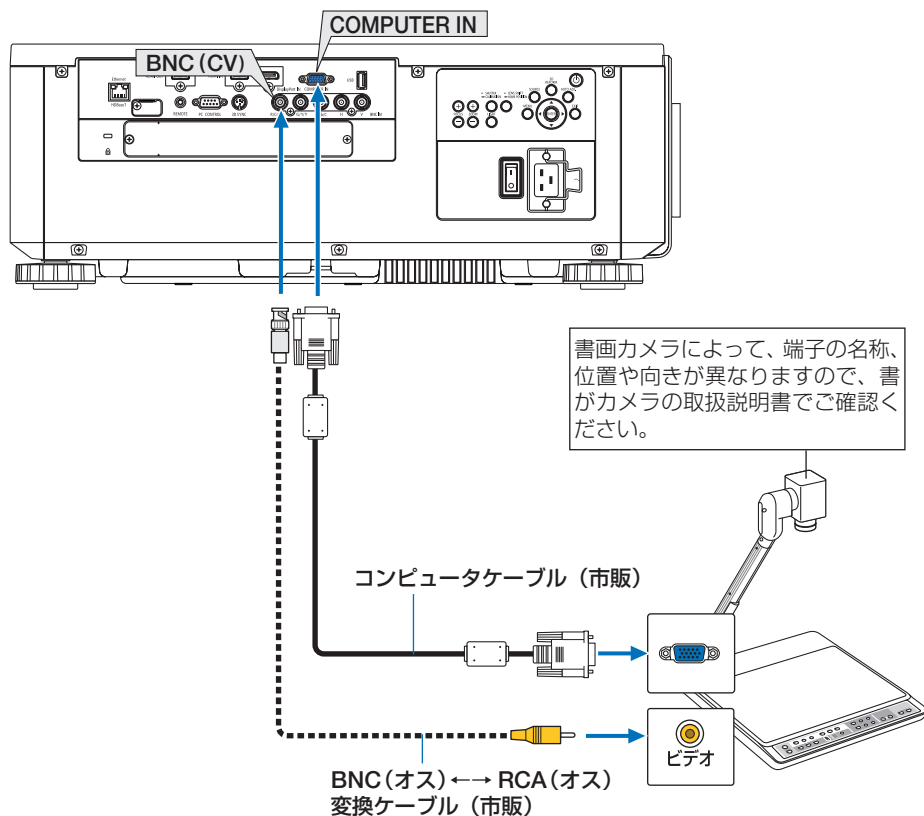
接続端子	本体の (SOURCE) ボタン	リモコンのボタン
HDMI IN 端子	 HDMI	(HDMI)

### 参考

- 本機の HDMI IN 端子にブルーレイプレーヤを接続している場合に、ブルーレイプレーヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの調整→ビデオ→ビデオレベルで設定します。ブルーレイプレーヤのビデオレベルの設定については、ブルーレイプレーヤの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は HDCP (不正コピー防止を目的とする著作権保護システム) を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI IN 端子の映像が表示されないことがあります。

## 6-5. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

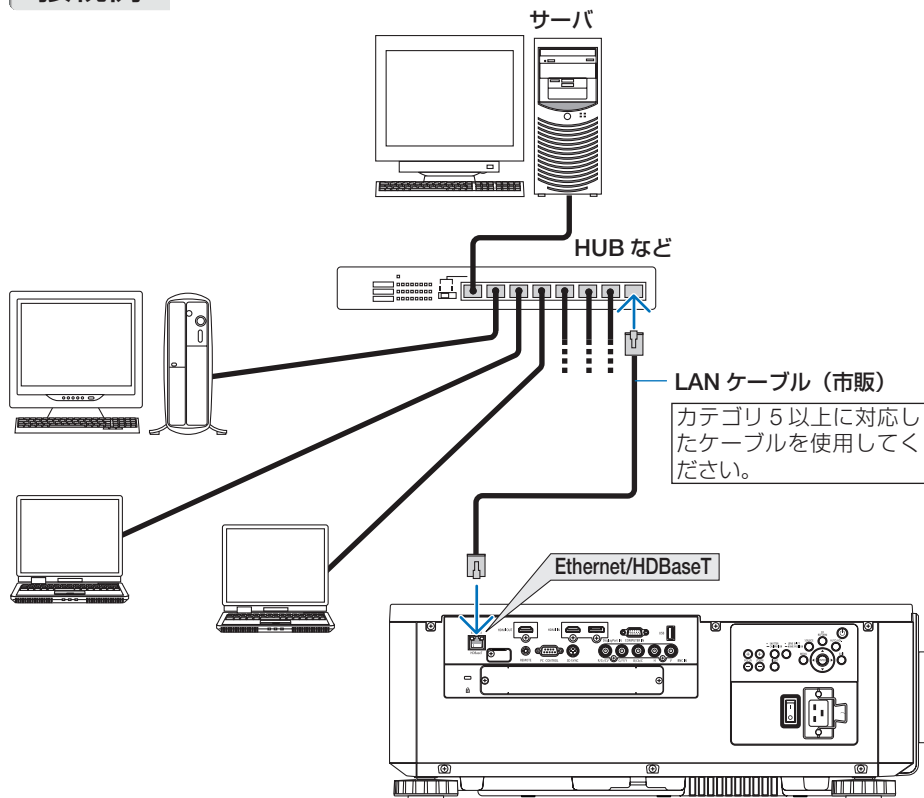
接続端子	本体の(SOURCE)ボタン	リモコンのボタン
COMPUTER IN 端子	 コンピュータ	(COMPUTER 1)
BNC (CV) 入力端子	 BNC (CV)	(VIDEO)



## 6-6. 有線 LAN と接続する

本機には Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45) が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→セットアップ→ネットワーク設定→有線 LAN (▶ 141 ページ) をご覧ください。

### 接続例

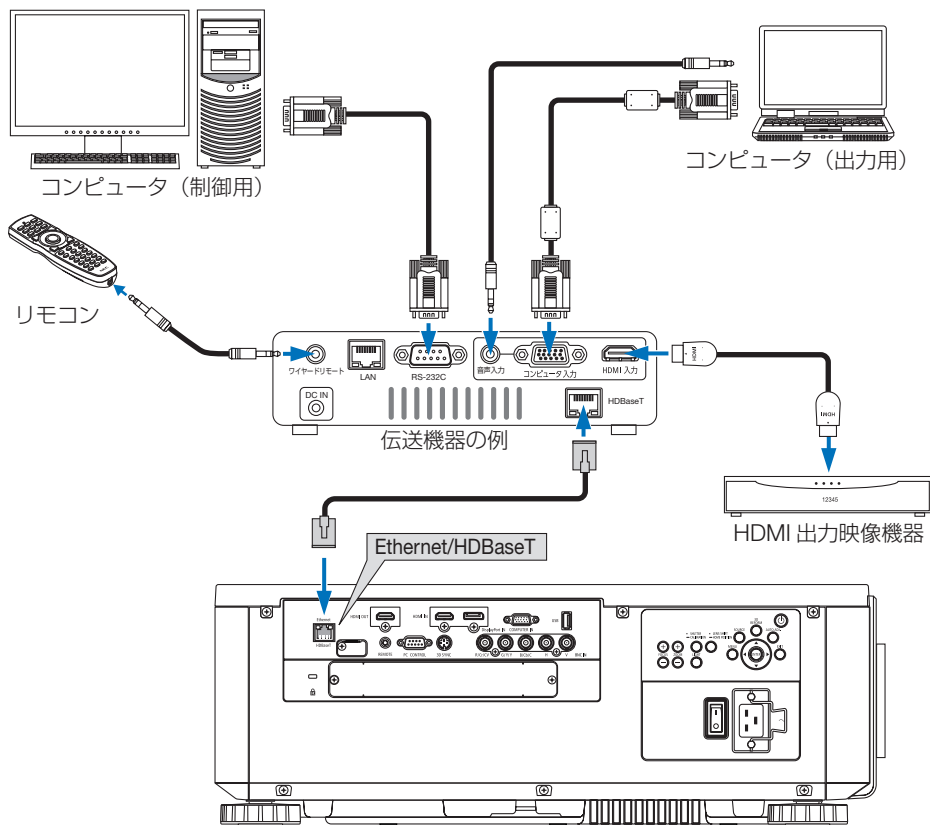


## 6-7. HDBaseT 対応の伝送機器 (市販) と接続する

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。市販の LAN ケーブルを使って、本機の Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45) を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。

本機の Ethernet/HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号 (HDCP 対応)、外部機器からの制御信号 (シリアル、LAN)、リモコン信号 (IR コマンド) に対応しています。

### 接続例

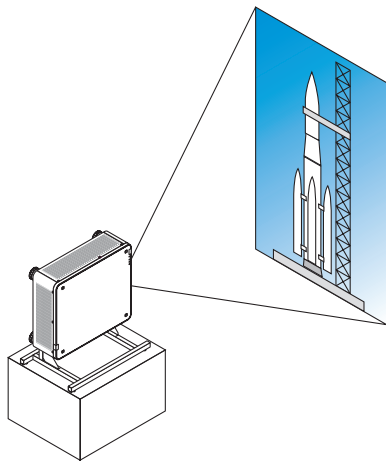


#### 注意

- LAN ケーブル (市販) は、カテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア (STP) ケーブルを使用してください。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です (4K 信号の場合は最長 70m)。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

## 6-8. ポートレート（縦向き）投写をする

本機を縦向きに設置することでコンピュータなどのポートレート画面を投写することができます。



### 設置上のご注意

- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。また、吸気口が塞がれて内部の温度が上昇し、故障や火災の原因になります。
- 吸気の確保や転倒防止のために、本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。
- 吸気口を下向きにして設置すると、光学部品の寿命が短くなります。

### スタンド設計製作の条件

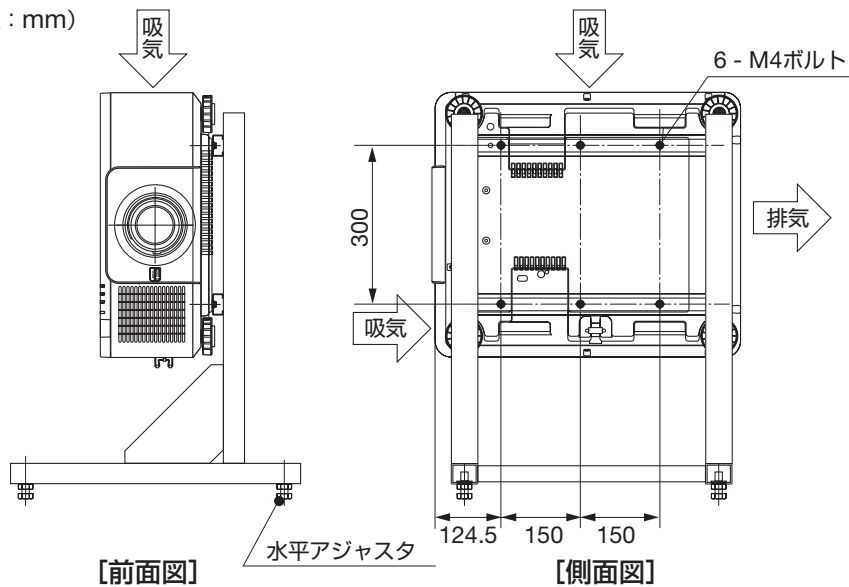
専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。設計に際しては次のことをお守りください。

- 本体の底面に3箇所の通風口があります。塞がないように設計してください。
- 本体背面にある6箇所のネジ穴を使ってスタンドと固定してください。  
ネジ穴センター寸法：300 × 300（ピッチ=150）mm  
本体のネジ穴寸法：M4 ネジ最大深さ 16mm  
4箇所のチルトフットは回して外すことができます。
- 水平調整機構（たとえばボルトとナット：4箇所）
- スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

### 参考図

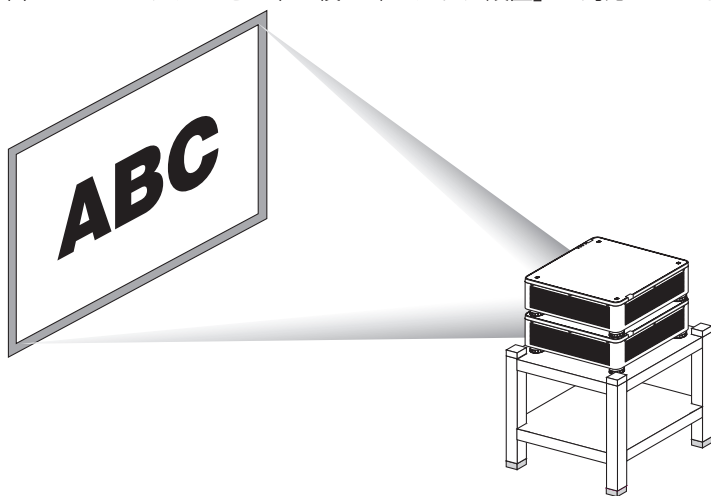
※寸法条件を表す図で、実際のスタンド設計図ではありません。

(単位：mm)



## 6-9. プロジェクターをスタック設置して投写する

プロジェクターを上下に積んで同じ映像を重ねてスクリーンに投写することにより、さらに輝度を上げることができます。これを「スタック投写」と呼びます。本機は、2台のプロジェクターを上下に積む「スタック設置」に対応しています。



### 注意

- 本機を持ち上げる際は、2人以上で行ってください。1人で持ち上げた場合、けがや腰痛の原因となることがあります。

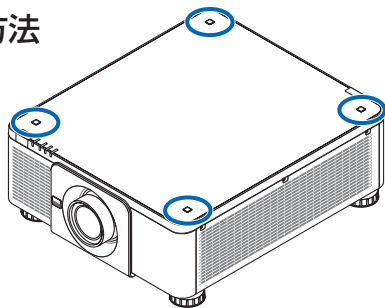
### 注意

- 異なった型名のプロジェクターを混在してスタック設置することはできません。また、別売のレンズユニットは同じ型名のものを使用してください。
- スタック設置する際は、下側のプロジェクターの天面に添付のスタッキングホルダー（4個）を取り付けてください。（[次ページ](#)）
- 本機のスタック投写は、細かい文字やCADなどの画像が完全に重なるような精度はありません。
- スタック投写する場合は、あらかじめ市販の信号分配器をお買い求めください。
- 設置上のご注意
  - ・ 設置や調整はサービスマンにご依頼ください。
  - ・ スタック設置の場所や構造物は、本機2台分の質量に長期間耐えうる強度を確保してください。本機1台の質量は、最大約31kg（レンズユニットを含む）です。
  - ・ 地震などによる転倒防止対策を十分に施してください。
  - ・ 本機を2台使用すると、より高温になります。室内の温度管理を十分行ってください。
  - ・ 天井にスタック設置することはできません。
  - ・ 最適な状態で使用するためには、1時間程度のウォームアップが必要です。
  - ・ スタック設置した場合、上側のプロジェクターは、下側のプロジェクターのチルトフット調整量がプラスされます。上側のプロジェクターの姿勢が仕様範囲を超えないように注意してください。
  - ・ レンズユニットは、ズームの+（ワイド）側と-（テレ）側で幾何学歪みが異なります。できるだけ歪みが小さくなるズーム位置を選んで設置してください。
  - ・ 横方向のレンズシフト位置はセンターに合わせてください。

## ●スタッキングホルダーの取り付け方法

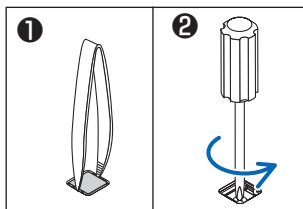
下側のプロジェクターの天面に取り付けます。

**準備**：プラスドライバーと添付のスタッキングホルダー 4 個を用意してください。  
プロジェクターのチルトフット（4 箇所）を縮めてください。



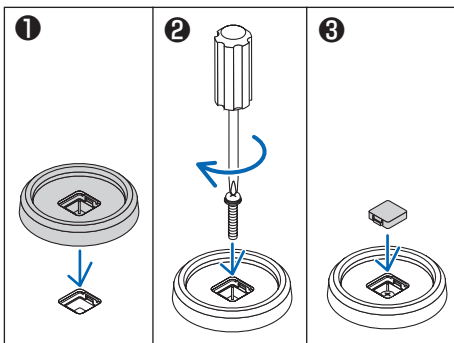
### 1 ゴムキャップとネジを外す（4 箇所）

- 1 爪やピンセットでゴムキャップを押さえ持ち上げると外れます。
- 2 ネジを左へ回して取り外します。



### 2 スタッキングホルダーを取り付ける（4 箇所）。

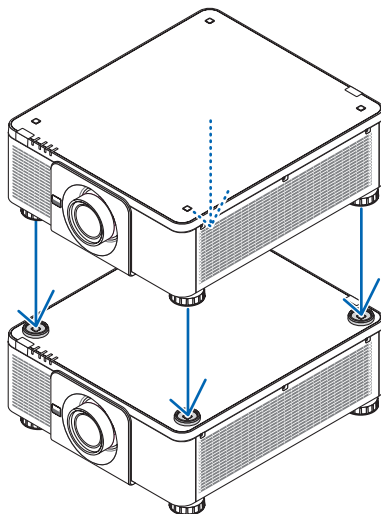
- 1 スタッキングホルダーを差し込みます。  
・どの向きでもかまいません。
- 2 外したネジを使い右へ回して締め付けます。
- 3 外したゴムキャップをスタッキングホルダーに差し込みます。  
・ゴムキャップにある爪部を左右の角穴に挿入してください。



### 3 プロジェクターをのせる。

スタッキングホルダーにプロジェクターのチルトフット（4 箇所）をのせてください。

- 参考**
- スタッキングホルダーを取り外す場合は、上記の手順を逆に行ってください。



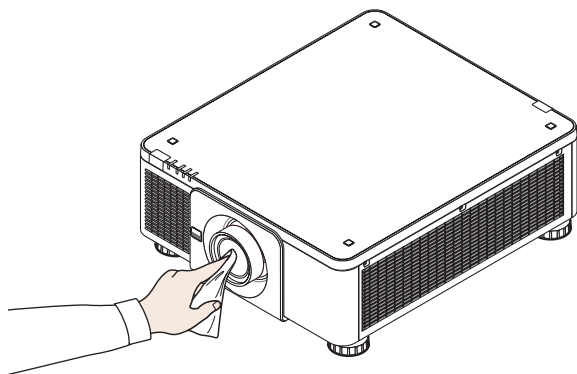
# 7. 本体のお手入れ

## 7-1. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



- レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。



## 7-2. キャビネットの清掃

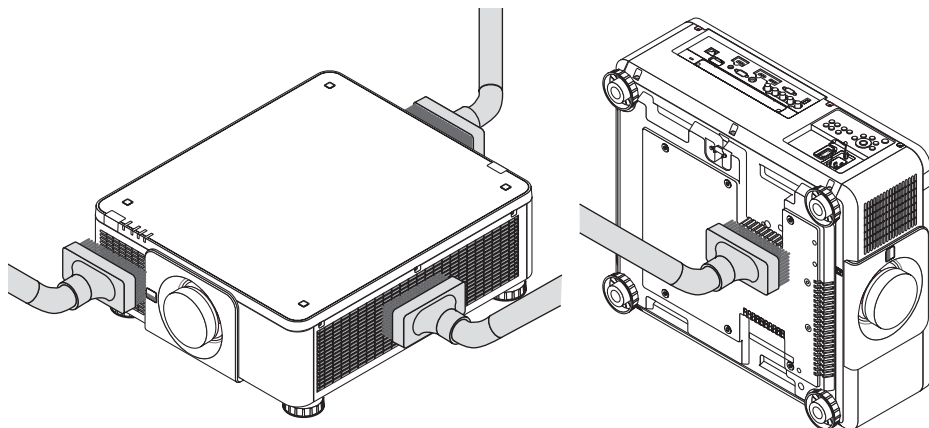


### 警告

キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。  
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口（本体底面にもあります）にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

### 注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。  
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげなどの原因となります。



# 8. ユーザーサポートウェア

## 8-1. 添付ソフトウェアについて

### 添付ソフトウェアの種類と主な機能

ソフトウェア名	主な機能
Virtual Remote Tool	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータとプロジェクターを有線 LAN を使って接続すると、コンピュータ画面に Virtual Remote 画面を表示し、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。 (👉 177 ページ)</li></ul>
PC Control Utility Pro 4 PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータとプロジェクターを有線 LAN を経由して接続すると、コンピュータ側からプロジェクターの様々な機能を制御できます。(👉 180 ページ) PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。</li></ul>

#### 注意

- Virtual Remote Tool、PC Control Utility Pro 4、PC Control Utility Pro 5 を使って本機とネットワーク接続する場合は、オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「ネットワーク設定」(👉 140 ページ) を使用してください。

### ダウンロードサービスのご案内

これらのソフトウェアのバージョンアップ情報および動作環境については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL: <http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

## 8-2. インストール方法

### Windows 用ソフトウェアのインストール

ソフトウェアは、Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP に対応しています。



注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- Windows 8.1、Windows 8、Windows XP Home Edition および Windows XP Professional において Virtual Remote Tool または PC Control Utility Pro 4 を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

- 説明とコンピュータの画面は Windows 7 で行っています。

#### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

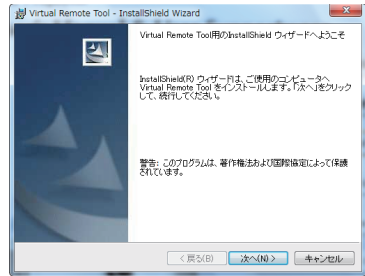
(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名<sup>(\*)</sup> (例:「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例: Q:¥LAUNCHER.EXE)  
<sup>(\*)</sup> CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。  
メニューウィンドウが表示されます。

## 2 インストールするソフトウェアをクリックする。

インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます



## 3 「次へ (N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。

### 参考

#### ●ソフトウェアのアンインストール方法

準備：アンインストールの前に、アンインストールするソフトウェアを終了してください。

アンインストールの際は、Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vistaは「管理者」権限、Windows XPは「コンピュータの管理者」権限で行ってください。

#### ◆Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合

- 1 「スタート」→「コントロールパネル」の順をクリックする。  
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラム」の下の「プログラムのアンインストール」をクリックする。  
プログラムと機能画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールするプログラムをクリックする。
- 4 「アンインストールと変更」または「アンインストール」をクリックする。
  - ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行 (C)」ボタンをクリックします。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

#### ◆Windows XP の場合

- 1 「スタート」→「コントロールパネル」の順をクリックする。  
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする。  
プログラムの追加と削除画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールするプログラムをクリックし、「削除」をクリックする。  
以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

## Mac 用ソフトウェアのインストール

PC Control Utility Pro 5 は、Mac OS X に対応しています。

### ● PC Control Utility Pro 5

#### 1 「PC Control Utility Pro 5.pkg」 をダブルクリックする。

インストーラがスタートします。

#### 2 [続ける] をクリックする。

使用許諾契約が表示されます。

#### 3 記載内容を確認し、[続ける] をクリックする。

確認ウィンドウが表示されます。

#### 4 [同意する] をクリックする。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



参考

### ● ソフトウェアのアンインストール方法

1 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをゴミ箱に入れる。

2 PC Control Utility Pro 5 の環境設定ファイルをゴミ箱に入れる

- ・ PC Control Utility Pro 5 の設定ファイルは、「/Users ( ユーザ ) / あなたのユーザ名 / Application Data / NEC Projector User Supportware / PC Control Utility Pro 5」にあります。

## 8-3. LAN を経由して本機を操作する (Virtual Remote Tool)

Virtual Remote Tool を使用すると、コンピュータの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウインドウまたはツールバー）を表示し、LAN を経由してプロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの操作ができます。

また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

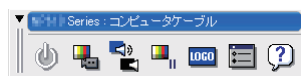
### 【Virtual Remote 画面】



リモコンウインドウ

### ●主な制御機能

- 電源の入/切
  - 入力信号切替
  - 映像・音声のミュート
  - 投写中の動画を静止する
  - プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピュータの画面上でのリモコン操作



ツールバー

ここでは、Virtual Remote Tool を使用するまでの流れを説明します。Virtual Remote Tool の詳しい操作については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。

[\(179 ページ\)](#)

### 注意

- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ（画像）には以下の条件があります。
  - \* ファイルサイズ：256 キロバイト以内
  - \* 画像サイズ：本機の解像度以内
  - \* ファイル形式：PNG（フルカラー）
- Virtual Remote Tool で送信したロゴデータ（画像）は中央に表示され、周囲の色は黒色になります。
- バックグラウンドロゴを工場出荷時の画面（NEC ロゴ）に戻すには、添付の NEC Projector CD-ROM に収録している画像ファイルを使用して、もう一度バックグラウンドロゴの登録をしておいてください。  
このとき、本機の場合は下記のロゴを選択してください。  
¥Logo¥NEC\_logo2015\_1920x1200.png

### 参考


- Virtual Remote Tool は、シリアル接続での制御も可能です。

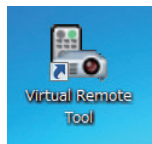
## 本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(165 ページ)、および「5-6. セットアップ」→ネットワーク設定 (140 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

## Virtual Remote Tool を起動する

### ◆ ショートカットアイコンから起動する

Windows のデスクトップ上のショートカットアイコン  をダブルクリックする。



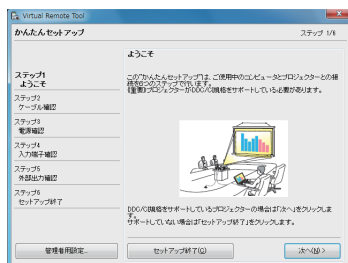
### ◆ スタートメニューから起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool」の順にクリックする。

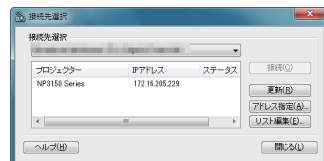
### 起動すると……

最初に起動したときは、かんたんセットアップ画面が表示されます。

本機は DDC/CI 規格に対応していませんので、かんたんセットアップを終了してください。



かんたんセットアップを終了すると、接続先選択画面が表示されます。



接続先を選択して、プロジェクターと接続すると、Virtual Remote 画面が表示されます。




**注意**

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク (有線 LAN) を介してプロジェクターの電源を入れることができません。

次ページに続く

- かんたんセットアップ終了画面の「□次回からかんたんセットアップを使用しない。」をクリックし、チェックマークを付けると、かんたんセットアップ画面を表示せずに Virtual Remote 画面（またはツールバー）を表示することができます。


● Virtual Remote Tool の終了方法

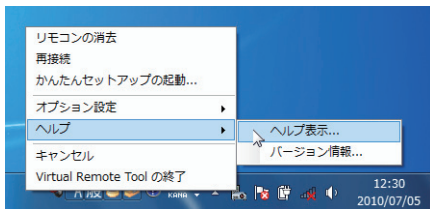
- 1 タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。  
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「Virtual Remote Tool の終了」をクリックする。  
Virtual Remote Tool が終了します。



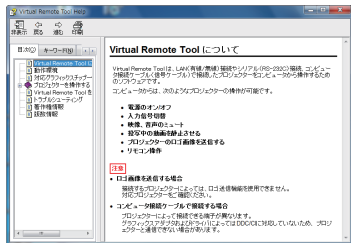
● Virtual Remote Tool のヘルプ表示方法

◆タスクトレイから表示する

- 1 Virtual Remote Tool が起動しているときに、タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。  
ポップアップメニューが表示されます。



- 2 「ヘルプ」→「ヘルプ表示」をクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。



◆スタートメニューから表示する

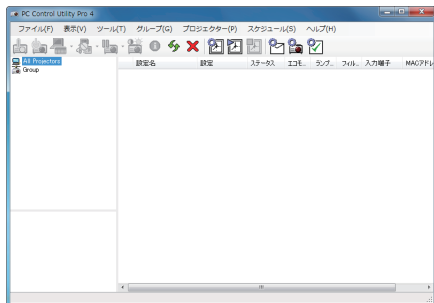
- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool Help」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

## 8-4. LAN を経由して本機を操作する (PC Control Utility Pro 4/Pro 5)

PC Control Utility Pro 4、PC Control Utility Pro 5 を使用すると、コンピュータから LAN を経由して本機を制御することができます。

PC Control Utility Pro 4 は、Windows 用のソフトウェアです。(🔗[次ページ](#))

PC Control Utility Pro 5 は、Mac OS 用のソフトウェアです。(🔗[182 ページ](#))



PC Control Utility Pro 4 画面

### ● 主な制御機能

電源オン／オフ、信号切替、フリーズ、映像ブランク、音声ミュート、調整、エラー通知メール、イベントスケジュール

ここでは、本機を LAN に接続して、PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用するまでの流れを説明します。PC Control Utility Pro 4/Pro 5 の詳しい操作については、各々のソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ステップ①：ソフトウェアをコンピュータにインストールする

ステップ②：本機を LAN に接続する

ステップ③：ソフトウェアを起動する

**参考**

● PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。



## Windows を使用する場合

### ● 本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(165 ページ)、「5-6. セットアップ」→ネットワーク設定 (140 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

### ● PC Control Utility Pro 4 を起動する

- 1 Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4」の順にクリックする。

#### 注意

- PC Control Utility Pro 4 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。  
あらかじめコントロールパネルの『電源オプション』を確認して、スリープ設定やスタンバイ設定などを解除してください。

#### 【例】Windows 7 の場合：

[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [電源オプション] → [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更] の [コンピュータをスリープ状態にする] を「なし」に設定します。

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN）を介してプロジェクターの電源を入れることができません。

#### 参考

#### ● PC Control Utility Pro 4 のヘルプ表示方法

##### ◆ PC Control Utility Pro 4 の起動中に表示する

- 1 PC Control Utility Pro 4 ウィンドウの「ヘルプ(H)」→「ヘルプ(H)…」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

##### ◆ スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4 Help」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

## Mac OS で使用する場合

### ●本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(165 ページ)、「5-6. セットアップ」→ネットワーク設定 (140 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

### ● PC Control Utility Pro 5 を起動する

- 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
- 2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
- 3 「PC Control Utility Pro 5」アイコンをクリックする。  
PC Control Utility Pro 5 が起動します。

#### 注意

- PC Control Utility Pro 5 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。  
あらかじめシステム環境設定の『省エネルギー環境設定』を確認して、コンピュータのスリープ設定を解除してください。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN）を介してプロジェクターの電源を入れることができません。

#### 参考

- PC Control Utility Pro 5 のヘルプ表示方法
  - ◆ PC Control Utility Pro 5 の起動中に表示する
    - 1 メニューバーの「ヘルプ」→「ヘルプ」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。
  - ◆ Dock から表示する
    - 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
    - 2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
    - 3 「PC Control Utility Pro 5 Help」アイコンをクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

# 9. 付 録

## 投写距離とスクリーンサイズ

本機は 8 種類の別売レンズユニットが使用できます。

このページの情報を参考にして、設置環境（スクリーンサイズと投写距離）に応じたレンズユニットをお使いください。また、レンズユニットの取り付け方法は、[▶ 153 ページ](#)をご覧ください。

### レンズユニットの種類と投写距離

#### ● NP16FL/NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/NP20ZL/NP21ZL/NP31ZL

**注意**

- 記載している投写距離は、各レンズユニットの先端から投写画面までの距離を示します。

スクリーン サイズ	レンズユニットの型名						
	NP16FL	NP17ZL	NP18ZL	NP19ZL	NP20ZL	NP21ZL	NP31ZL
40 型							0.6 ~ 0.8
50 型	0.8	1.3 ~ 1.9	1.8 ~ 2.4	2.4 ~ 4.0	3.8 ~ 5.8	5.6 ~ 8.9	0.8 ~ 1.0
60 型	1.0	1.6 ~ 2.3	2.2 ~ 2.9	2.8 ~ 4.8	4.6 ~ 7.0	6.8 ~ 10.7	1.0 ~ 1.2
80 型	1.3	2.2 ~ 3.1	3.0 ~ 3.9	3.8 ~ 6.4	6.2 ~ 9.3	9.1 ~ 14.4	1.3 ~ 1.6
100 型	1.7	2.7 ~ 3.9	3.7 ~ 4.9	4.8 ~ 8.0	7.7 ~ 11.7	11.5 ~ 18.1	1.6 ~ 2.0
120 型	2.0	3.3 ~ 4.7	4.5 ~ 5.9	5.8 ~ 9.6	9.3 ~ 14.1	13.8 ~ 21.7	2.0 ~ 2.5
150 型	2.5	4.1 ~ 5.8	5.6 ~ 7.4	7.2 ~ 12.0	11.7 ~ 17.6	17.4 ~ 27.3	2.5 ~ 3.1
200 型	3.4	5.5 ~ 7.8	7.5 ~ 9.9	9.7 ~ 16.1	15.6 ~ 23.5	23.3 ~ 36.4	3.3 ~ 4.1
240 型	4.1	6.6 ~ 9.4	9.1 ~ 11.9	11.6 ~ 19.3	18.8 ~ 28.3	28.0 ~ 43.8	4.0 ~ 5.0
300 型	5.1	8.2 ~ 11.7	11.3 ~ 14.9	14.5 ~ 24.1	23.5 ~ 35.4	35.0 ~ 54.8	5.0 ~ 6.2
350 型							5.8 ~ 7.3
400 型							6.6 ~ 8.3
450 型							7.5 ~ 9.4
500 型							8.3 ~ 10.4

**参考**

- 画面サイズからの投写距離計算法

NP16FL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 0.8$  : 0.8m (最小) ~ 5.1m (最大)

NP17ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.3 \sim H \times 1.8$  : 1.3m (最小) ~ 11.7m (最大)

NP18ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.7 \sim H \times 2.3$  : 1.8m (最小) ~ 14.9m (最大)

NP19ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 2.2 \sim H \times 3.7$  : 2.4m (最小) ~ 24.1m (最大)

NP20ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 3.6 \sim H \times 5.4$  : 3.8m (最小) ~ 35.4m (最大)

NP21ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 5.3 \sim H \times 8.3$  : 5.6m (最小) ~ 54.8m (最大)

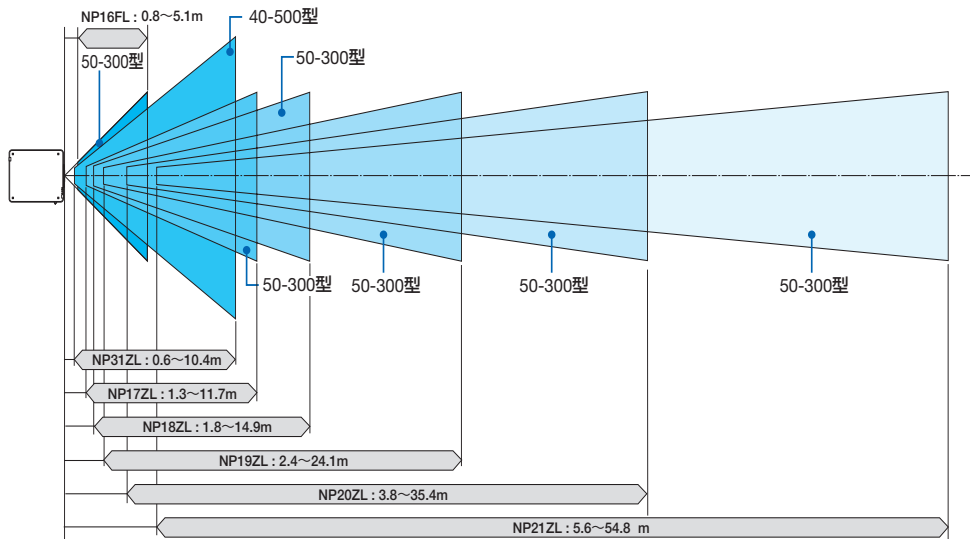
NP31ZL レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 0.8 \sim H \times 0.9$  : 0.6m (最小) ~ 10.4m (最大)

H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。

※近似計算ため上記表と数%の差があります。

(例) レンズユニット NP18ZL を使用して 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離「スクリーンサイズと寸法表」([▶ 185 ページ](#)) の表より、H (スクリーン幅) = 323.1cm となります。

投写距離は、 $323.1\text{cm} \times 1.7 \sim 323.1\text{cm} \times 2.3 = 549.3\text{cm} \sim 743.13\text{cm}$  となります (ズームレンズのため)。

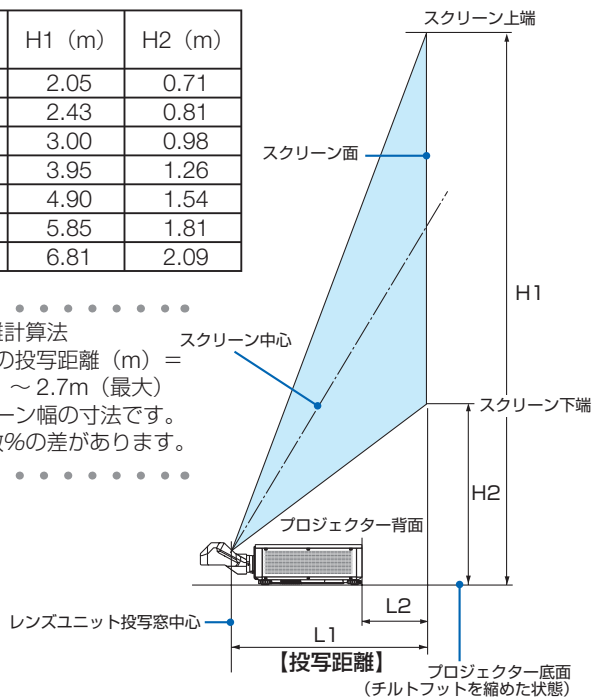


## ● NP39ML

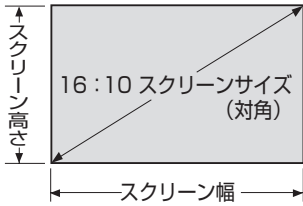
- 注意** ● 記載している投写距離は、レンズユニット投写窓中心から投写画面までの距離を示します。

スクリーンサイズ	投写距離 L1 (m)	L2 (m)	H1 (m)	H2 (m)
100 型	0.82	-0.024	2.05	0.71
120 型	0.97	0.13	2.43	0.81
150 型	1.20	0.35	3.00	0.98
200 型	1.57	0.73	3.95	1.26
250 型	1.95	1.11	4.90	1.54
300 型	2.33	1.49	5.85	1.81
350 型	2.71	1.87	6.81	2.09

- 参考** ● 画面サイズからの投写距離計算法  
 NP39ML レンズユニットの投写距離 (m) =  
 $H \times 0.38$  : 0.8m (最小) ~ 2.7m (最大)  
 H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。  
 ※近似計算ため上記表と数%の差があります。



## スクリーンサイズと寸法表



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
40	86.2	53.8
50	107.7	67.3
60	129.2	80.8
80	172.3	107.7
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9
200	430.8	269.2
240	516.9	323.1
300	646.2	403.9
350	753.9	471.2
400	861.6	538.5
450	969.3	605.8
500	1077.1	673.2

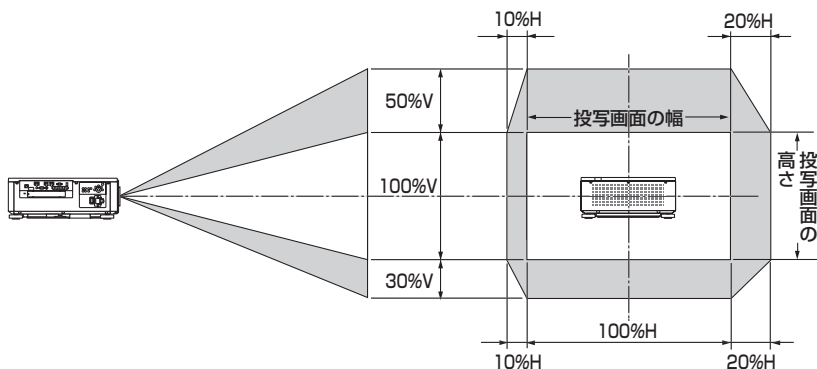
## レンズシフト範囲

本機にはボタン操作で画面位置を調整するレンズシフト機能（[42 ページ](#)）があります。次の範囲内のレンズシフトができます。

### 注意

- ポートレート投写を行う場合は、レンズシフト機能は使用しないでください。レンズユニット NP16FL/NP17ZL/NP18ZL/NP19ZL/NP20ZL/NP21ZL/NP31ZL の場合は、センターで使用してください。レンズユニット NP39ML の場合は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [設置 (2)] → [レンズポジション] → [種類] を実行した最適な位置で使用してください。

記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表わし、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表わしています。



※天吊り設置の場合もレンズシフト範囲は同じです。

(計算例) 150 インチで投写している場合  
「スクリーンサイズと寸法表」([185 ページ](#)) のスクリーン表により  $H=323.1\text{cm}$ 、 $V=201.9\text{cm}$  になります。

垂直方向の調整範囲：上方向  $0.5 \times 201.9\text{cm} \doteq 101\text{cm}$ 、下方向  $0.3 \times 201.9\text{cm} \doteq 60.6\text{cm}$  投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。

水平方向の調整範囲：左方向  $0.1 \times 323.1\text{cm} \doteq 32.3\text{cm}$ 、右方向  $0.2 \times 323.1\text{cm} \doteq 64.6\text{cm}$  投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

# オプションボードの取り付け方法（別売）

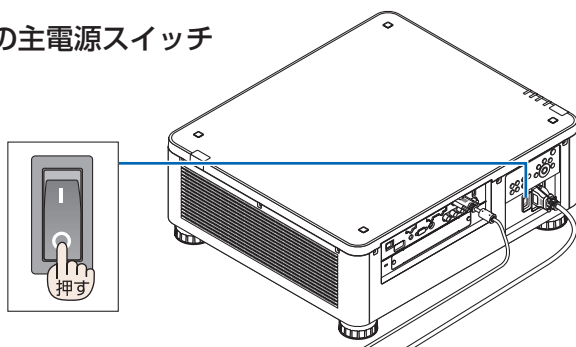


**注意**

- オプションボードの取り付け／取り外しは、必ずプロジェクター電源を切り冷却ファン停止後、主電源スイッチを切ってから行ってください。プロジェクターの主電源スイッチを切らずに行うと、感電の原因となることがあります。

準備：プラスドライバーを用意してください。

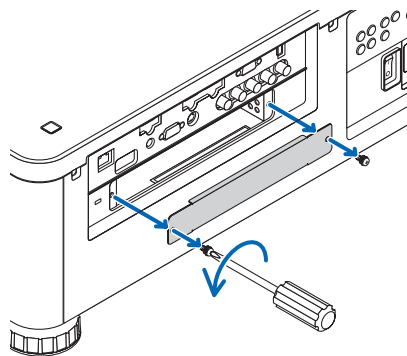
## 1 プロジェクター本体の主電源スイッチを切る。



## 2 プロジェクターの接続端子部にある SLOT（スロット）のネジ（2箇所）をゆるめ、ネジとパネルを外す。

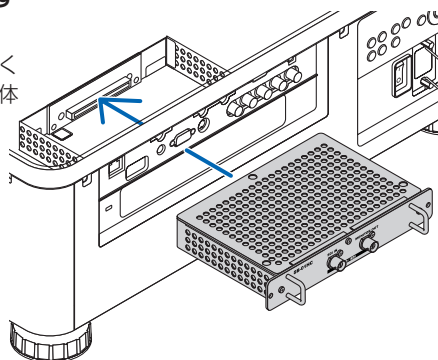


- 外したネジとパネルは大切に保管しておいてください。



## 3 オプションボードをスロットに挿入する。

オプションボードの表示向きを本体に合わせてください。上下の向きを間違えるとコネクタが本体と接続されません。



**4** 手順2で外した左右2箇所のネジを締めてオプションボードを固定する。

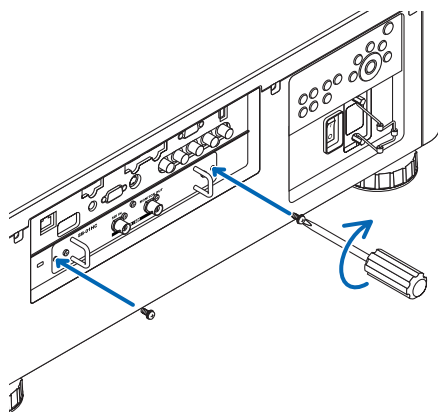
- ・ネジは確実にしめてください。

これで、取り付けが終わりました。

オプションボードの入力信号は本機側の入力選択でSLOTを選択してください。

**注意**

- オプションボードによっては、プロジェクターがスタンバイ状態になっても、ボードを冷却するためファンが回転する場合があります。また、動作時のファンの回転数も上昇する場合があります。故障ではありません。





# 対応解像度一覧

## アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/72/75/85/iMac
XGA	1024 × 768	4 : 3	60/70/75/85/iMac
XGA+	1152 × 864	4 : 3	60/70/75/85
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1360 × 768 <sup>*1</sup>	16 : 9	60
	1366 × 768 <sup>*1</sup>	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75/85
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75/85
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60/75
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 <sup>*2</sup>	4 : 3	60/65/70/75
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200 <sup>*2</sup>	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080	17 : 9	60
Full HD	1920 × 1080 <sup>*2</sup>	16 : 9	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870 <sup>*3</sup>	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

## HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768 <sup>*1</sup>	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200 <sup>*2</sup>	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080 <sup>*2</sup>	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 <sup>*2</sup>	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080	17 : 9	60
WQHD iMac 27"	2560 × 1440	16 : 9	60
WQXGA	2560 × 1600	16 : 10	60 Reduced Blanking

4K	3840 × 2160	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30
	4096 × 2160	17 : 9	24
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30/50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	48/50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480i/p)	720/1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i/p)	720/1440 × 576	4:3 / 16:9	50

## DisplayPort

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768 <sup>*1</sup>	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200 <sup>*2</sup>	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080 <sup>*2</sup>	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 <sup>*2</sup>	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080	17 : 9	60
WQHD iMac 27"	2560 × 1440	16 : 9	60
WQXGA	2560 × 1600	16 : 10	60 Reduced Blanking
4K	3840 × 2160	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30
	4096 × 2160	17 : 9	24
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720/1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720/1440 × 576	4:3 / 16:9	50

## コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

## コンポジットビデオ / S-ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

## HDMI 3D

信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
1920 × 1080p		16 : 9	23.98/24	Frame Paking Top and Bottom
			50	Side By Side
			59.94/60	Side By Side
1920 × 1080i		16 : 9	50	Side By Side
			59.94/60	Side By Side
1280 × 720p		16 : 9	50	Frame Paking
				Side By Side
			59.94/60	Top and Bottom
				Frame Paking
Side By Side				
Top and Bottom				

## DisplayPort 3D

信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
1920 × 1080p	16 : 9	23.98/24	23.98/24	Side By Side
				Top and Bottom
			25	Side By Side
				Top and Bottom
50	Side By Side			
	Top and Bottom			
59.94/60	Side By Side	Top and Bottom		
		Top and Bottom		
1920 × 1080i	16 : 9	50	50	Top and Bottom
				Side By Side
			59.94/60	Top and Bottom
				Side By Side
1280 × 720p	16 : 9	50	50	Side By Side
				Top and Bottom
			59.94/60	Frame Paking
				Side By Side
Top and Bottom				

\*1: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

\*2: リアル表示

\*3: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「4 : 3」に設定してください。

- 本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- 出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。

# 仕様

型名	NP-PX803UL-WHJD/NP-PX803UL-BKJD		
方式	1 チップ DLP 方式		
主要部品仕様	DMD パネル	サイズ	0.67 型、アスペクト比 16:10
		画素数 (*1)	2,304,000 画素 (1920 ドット× 1200 ライン)
	投写レンズ		投写レンズ仕様 (別売) をご覧ください。 (🔗 195 ページ)
	光源		レーザーダイオード
光学装置		カラーフィルタ回転による色分離	
明るさ (*2) (*3)	8000lm		
コントラスト比 (*2) (全白/全黒)	10,000:1 (ダイナミックコントラスト「オン」のとき)		
画面サイズ (投写距離)	「投写距離と スクリーンサイズ」 をご覧ください。 (🔗 183, 184 ページ)		
色再現性	10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色)		
走査周波数	水平	アナログ :15KHz、24 ~ 100kHz (RGB 入力は 24kHz 以上) VESA 準拠 デジタル :15KHz、24 ~ 153KHz VESA 準拠	
	垂直	アナログ :48Hz、50 ~ 85Hz、100、120Hz VESA 準拠 デジタル :24、25、30、48Hz、50 ~ 85Hz、100、120Hz VESA 準拠	
主な調整機能	電動ズーム、電動フォーカス、電動レンズシフト、入力信号切替 (HDMI/DisplayPort/BNC/BNC(CV)/BNC(Y/C)/ コンピュータ /HDBaseT/SLOT)、画像自動調整、画面拡大、ミュート (映像)、電源オン/スタンバイ、オンスクリーン表示 / 選択など		
最大表示解像度 (横×縦)	アナログ :1920 × 1200 (アドバンスド・アキュブレンドによる対応) デジタル : 4096 × 2160 (アドバンスド・アキュブレンドによる対応)		
入力信号	R,G,B,H,V	RGB:0.7Vp-p / 75 Ω	
		Y:1.0Vp-p / 75 Ω (with Negative Polarity Sync)	
		Cb,Cr (Pb, Pr) : 0.7Vp-p / 75 Ω	
		H/V Sync:4.0Vp-p/TTL	
		Composite Sync : 4.0Vp-p / TTL	
		Sync on G : 1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync)	
	コンポジットビデオ	1.0Vp-p / 75 Ω	
	S-ビデオ	Y:1.0Vp-p / 75 Ω	
		C:0.286Vp-p / 75 Ω	
	コンポーネント	Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync)	
Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω			
DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p (50Hz)			
DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)			

型名		NP-PX803UL-WHJD/NP-PX803UL-BKJD	
入出力端子	コンピュータ/コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1、BNC 端子× 5
	HDMI	映像入力	HDMI® コネクタ タイプ A × 1 Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 LipSync 対応、HDCP 対応 (*4)、4K 対応、3D 対応
		映像出力	リピーター
		音声入力	HDMI : サンプル周波数 32/44.1/48kHz サンプルビット 16/20/24bit
	HDBaseT	映像入力	Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 LipSync 対応、HDCP 対応 (*4)、4K 対応、3D 対応
		音声入力	サンプル周波数 32/44.1/48kHz サンプルビット 16/20/24bit
	DisplayPort	映像入力	DisplayPort × 1 データレート : 2.7Gbps/1.62Gbps レーン数 : 1 レーン /2 レーン /4 レーン 色深度 : 6 ビット、8 ビット、10 ビット Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 HDCP 対応 (*4)
	BNC(CV)	映像入力	BNC 端子× 1
	BNC(Y/C)	映像入力	BNC 端子× 2
	PC コントロール端子		D-Sub 9 ピン× 1
	USB ポート		USB タイプ A × 1、USB タイプ B × 1 (サービス用)
	Ethernet/HDBaseT ポート		RJ-45 × 1、BASE-TX 対応
	リモート端子		ステレオミニジャック× 1
3DSync 出力端子		5V/10mA、3D 用同期信号出力	
使用環境 (*5)		動作温度 : 5 ~ 40℃ 動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度 : - 10 ~ 60℃ 保存湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 動作高度 : 0 ~ 3000m	
電源		AC 100 - 240V 50/60Hz (*6)	
消費電力	ライトモード	ノーマル時	874W (100-130V) / 850W (200-240V)
		エコ 1 時	695W (100-130V) / 680W (200-240V)
		エコ 2 時	456W (100-130V) / 446W (200-240V)
	スタンバイモード	ノーマル時	0.18W (100-130V) / 0.27W (200-240V)
		ネットワークスタンバイ時	4.3W (100-130V) / 4.4W (200-240V)
定格入力電流		9.6 - 4.0A	
外形寸法		500 (幅) × 211 (高) × 577 (奥行) mm (突起部含まず) 500 (幅) × 216 (高) × 583 (奥行) mm (突起部含む)	
質量		28kg (レンズユニット含まず)	

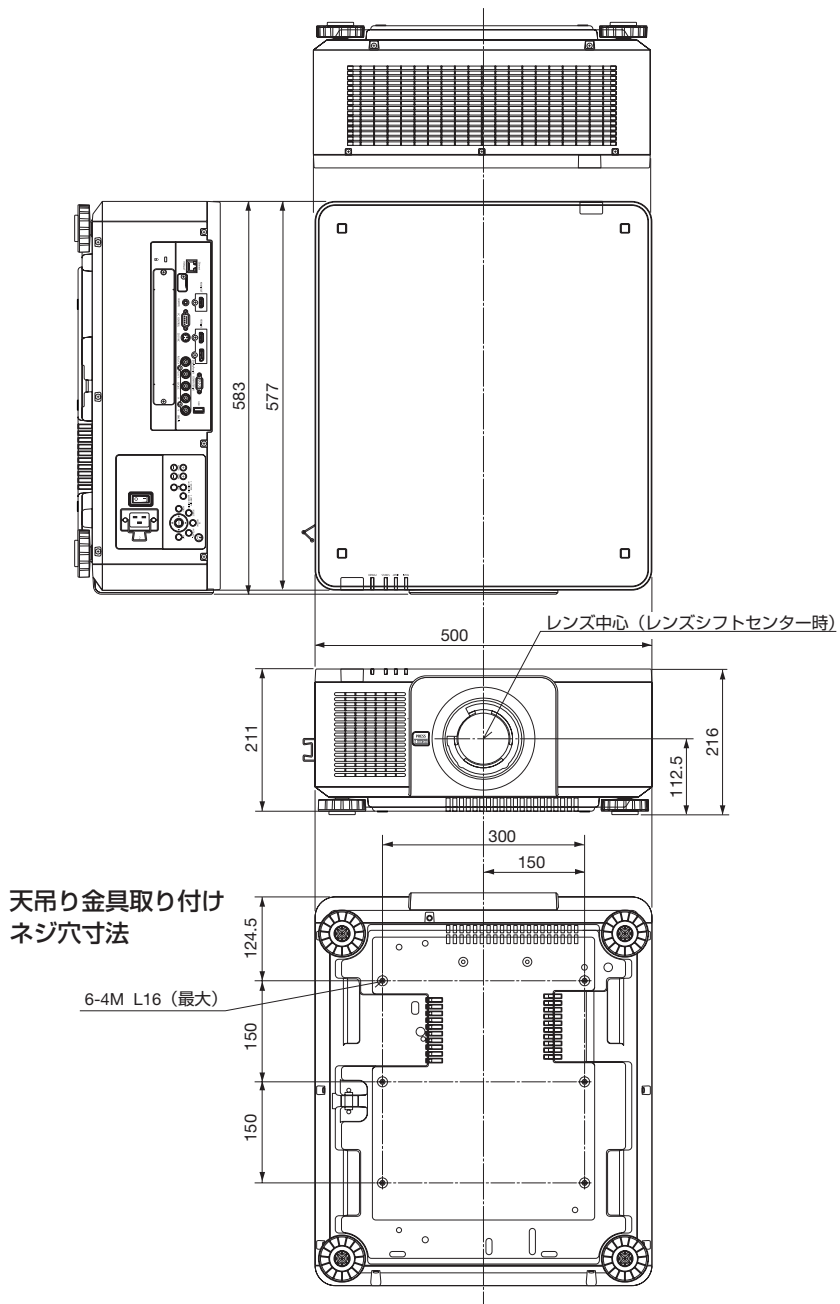
- (\* 1) : 有効画素数は 99.99%です。
  - (\* 2) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。
  - (\* 3) : 別売のレンズユニット(NP18ZL)を装着しライトモードが「ノーマル」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。ライトモードを「エコ1」または「エコ2」にすると明るさが低下します(エコ1:約 80%、エコ2:約 50%)。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。
  - (\* 4) : HDCP/HDCP 技術とは？  
HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。  
本機には、DisplayPort IN 端子、HDMI IN 端子、HDBaseT 端子を装備しています。  
本機の DisplayPort IN 端子、HDMI IN 端子、HDBaseT 端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。  
ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していても、DisplayPort IN 端子、HDMI IN 端子、HDBaseT 端子の映像が表示されないことがあります。  
映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync  
音声 : LPCM; チャンネル数 ; 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48KHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット
  - (\* 5) : 標高と温度により「強制エコモード」になります。 [\(C\) 57 ページ](#)
  - (\* 6) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。
- ・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

## ●投写レンズ仕様 (別売)

NP16FL	電動フォーカス (投写比 0.76 : 1、F1.85、f=11.6mm)
NP31ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 0.75 ~ 0.93 : 1、F 1.96 ~ 2.3、f=11.3 ~ 14.1 mm)
NP17ZL	電動レンズシフト、動ズーム、電動フォーカス (投写比 1.25 ~ 1.79 : 1、F1.9 ~ 2.5、f=18.7 ~ 26.5mm)
NP18ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 1.73 ~ 2.27 : 1、F1.6 ~ 1.9、f=25.7 ~ 33.7mm)
NP19ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 2.22 ~ 3.67 : 1、F1.9 ~ 2.5、f=32.91 ~ 54.23mm)
NP20ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 3.58 ~ 5.38 : 1、F1.9 ~ 2.4、f=52.8 ~ 79.1mm)
NP21ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 5.31 ~ 8.26 : 1、F1.9 ~ 2.5、f=78.5 ~ 121.9mm)
NP39ML	電動フォーカス (投写比 0.38 : 1、F2.0、f=5.64mm)

# 外觀図

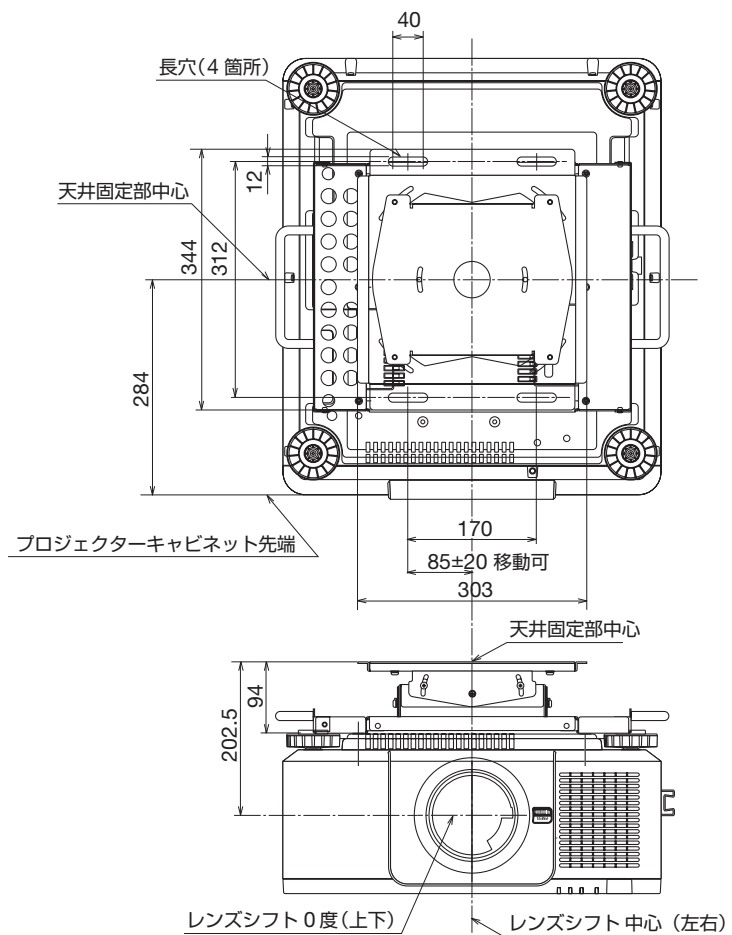
単位：mm





## 天吊り金具（別売）取り付け図

天井設置面寸法図（単位：mm）

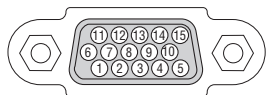


注) 天吊り金具が 左右0度、上下0度、傾き0度の位置です。

# 主な端子のピン配列と信号名

## ● COMPUTER IN 端子 (ミニ D-Sub 15ピン)

### 各ピンの接続と信号レベル



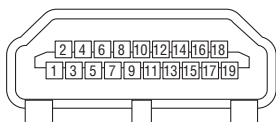
### 信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p (アナログ)

同期信号：TTLレベル

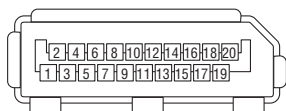
ピン番号	RGB 信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

## ● HDMI IN 端子 (タイプ A)



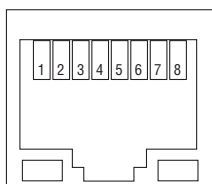
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロッキー シールド
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ 1 +	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 -	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック+		

## ● DisplayPort IN 端子 (DisplayPort)



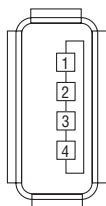
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	メインリンク レーン 3 -	11	接地 0
2	接地 3	12	メインリンク レーン 0 +
3	メインリンク レーン 3 +	13	コンフィグ 1
4	メインリンク レーン 2 -	14	コンフィグ 2
5	接地 2	15	補助チャンネル+
6	メインリンク レーン 2 +	16	接地 4
7	メインリンク レーン 1 -	17	補助チャンネル-
8	接地 1	18	ホットプラグ検知
9	メインリンク レーン 1 +	19	リターン
10	メインリンク レーン 0 -	20	+3.3V 電源

## ● Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45)



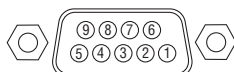
ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD - / HDBT1 -
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

## ● USB ポート (USB タイプ A)



ピン番号	信号
1	V <sub>BUS</sub>
2	D -
3	D +
4	接地

## ● PC CONTROL 端子 (D-Sub 9 ピン)



ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD 受信データ
3	TxD 送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS 送信要求
8	CTS 送信可
9	未使用

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

## 現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	33
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	206
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	51
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマー、オートパワーオフ、またはプログラムタイマーを「オン（時間を選択）」にしていますか。	149, 133
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	38
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	156～164
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	107
	オンスクリーンメニューのパワーオンシャッターが「閉」に設定されていませんか。	129
	(SHUTTER/CALIBRATION) (リモコンは(SHUTTER)) (レンズシャッター) または(AV-MUTE) (映像消去) ボタンが押されていませんか。	53
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。コンピュータの解像度を確認してください。	189
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、画面調整を正しく行っていますか。	50
映像が出ない	コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、203 ページをご覧ください。	—

映像が出ない	HDMI IN 端子および DisplayPort IN 端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピュータに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピュータ、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただけますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また IR、RS232C が対応できない場合があります。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	94
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってください。	150
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	62
映像が歪む	正しく設置されていますか。	41
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	58. 117
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	44
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	41
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	183
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか。	186
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピュータ信号 (RGB) の場合、(AUTO ADJ.) ボタンを押してください。	50
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	57
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号 (RGB) の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	109
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	189

コンピュータ信号 (RGB) で文字がちらついたり色がずれている	(AUTO ADJ.)ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	50 108,109
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	30
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	29
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	30
	リモコンの有効範囲を超えていませんか。	30
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	137
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	205,206
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	51

## コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

### ●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

#### 参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。  
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。(151 ページ)

### ●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

#### 参考

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

<b>[Fn]</b> + <b>[F3]</b>	NEC
<b>[Fn]</b> + <b>[F8]</b>	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

### ●ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

## ● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプタ（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

## ● MacBook と本機を同時に表示させる場合

MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

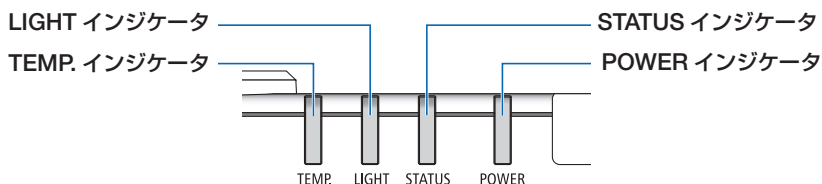
## ● Mac の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。



# インジケータ表示一覧

本体操作部の4つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



## ● POWER インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	主電源が切れている	—	
点滅	青色 (短い点滅)	電源オン準備中	
	青色 (長い点滅)	オフタイマー (有効状態) プログラムタイマー (オフ時刻有効状態)	しばらくお待ちください。
	オレンジ色 (短い点滅)	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色 (長い点滅)	プログラムタイマー (オン時刻有効状態)	—
点灯	青色	電源オン状態	—
	赤色	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」)	—
	オレンジ色	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」)	—

## ● STATUS インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし、またはスタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」)	—	
点滅	赤色 (1回周期)	レンズ未装着	レンズが正しく取り付けられているかを確認してください。
	赤色 (4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。 注：スタンバイ状態では、ネットワークが競合しても、本機のステータスインジケータはオレンジ色に点滅しません。

次ページへ続く

点灯	緑色	スタンバイ状態がスリープ状態*	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。 (🔗 136 ページ)
		プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	コントロール ID を確認してください。 (🔗 137 ページ)

\*スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。

## ● LIGHT インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		光源消灯	—
点滅	赤色 (6 回周期)	光源不点灯	光源が点灯しません。1 分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
点灯	緑色	光源点灯中	—

## ● TEMP. インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色 (2 回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。 (🔗 このページ) 涼しい場所へ移動しても点滅する場合は、周囲温度測定機能が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
点灯	オレンジ色	高温 (強制エコモード中)	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。

### ●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、光源が消灯し、TEMP. インジケータが点滅します (2 回点滅の繰り返し)。

同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。

このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 172 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

# トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。 ※このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度  常時  時々(  回中  回)  その他(  )

## 電源関係

- 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。
  - 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - ④ ボタンを押しても電源が入らない。
  - 主電源スイッチは「入 (I)」側になっている。
- 使用中、電源が切れる。
  - 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
  - オフタイマーは「オフ」に設定されている。

## 映像・音声関係

- コンピュータの画面が投写されない。
  - コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。
  - ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。  
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押しすと外部出力信号が出力されます(コンピュータによって異なります)。
- 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。
  - (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
  - リセットを実行してもなおらない。
  - 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
  - 画面に何かメッセージが出ている。  
(  )
  - 接続している入力を選択している。
  - 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
  - 入力是对応している解像度・周波数の信号である。
- 映像が暗い。
  - 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- 映像が歪む。
  - 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。
- 映像が切れる。
  - (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
  - リセットを実行してもなおらない。
  - 水平または垂直方向に映像がずれる。
  - コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
  - 入力是对応している解像度・周波数の信号である。
  - 数ドット欠けている。
- 映像がちらつく。
  - (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
  - リセットを実行してもなおらない。
  - コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
  - ファンモードを「高速」から「自動」にしてもなおらない。
- 映像がぼやける・フォーカスが合わない。

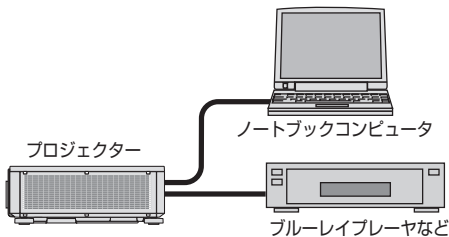
## その他

- リモコンが利かない。
  - リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
  - 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
  - プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。
- 本体操作パネルのボタンが利かない。
  - 本体キーロック設定のある機種において
  - 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
  - 本体の (SOURCE) ボタンを10秒以上押ししてもなおらない。

症状を具体的に記入してください。

### 使用状況・環境

**プロジェクター**  
型名:  NP-PX803UL-WHJD  
 NP-PX803UL-BKJD  
製造番号:  
購入時期:  
ライト使用時間:  
エコモード:  オフ  オン  
入力信号情報:  
水平同期周波数 [kHz]  
垂直同期周波数 [Hz]  
同期極性 H  (+)  (-)  
V  (+)  (-)  
同期形態  セパレート  ミックス  
 Gシンク  
ステータスインジケータの状態  
点灯 (オレンジ・緑)  
点滅 ( 回周期)



**信号ケーブル**  
純正・その他 (型名: 長さ: m)  
分配器 型名:  
スイッチャ 型名:  
アダプタ 型名:

### 設置環境

スクリーンサイズ: 型  
タイプ:  ホワイトマット  ビーズ  偏光  
 広視野角  ハイコントラスト  
投写距離: m  
投写方法:  天吊り  床置き  
電源コンセントは?  
 壁からのコンセントを直接利用している。  
 電源用テーブルタップを利用している。  
(他、接続機器の数: 台)  
 電源ドラム (ロール式) を利用している。  
(他、接続機器の数: 台)

### コンピュータ

メーカー:  
型名:  
ノートブックコンピュータ・デスクトップ一体型  
解像度:  
リフレッシュレート:  
ビデオボード:  
その他:

### 接続機器

ビデオ・ブルーレイプレーヤ・カメラ・ゲーム・  
その他  
メーカー:  
型名:

# 索引

## 数字／アルファベット

3D	64
3D エミッタ	66
3D メガネ	64, 129
3D 設定	114
3D 視聴注意メッセージ	125
4 点補正	58, 118
AC IN 端子	22, 33, 34
AMX BEACON	73, 144
AV ミュート	53
Brilliant Color	106
CRESTRON	73, 145
DHCP	71, 141
DICOM SIM.	104
DisplayPort	25, 157
DLP® Link	64, 129
DNS	71, 142
Ethernet/HDBaseT ポート	25, 165, 166
Extron XTP	73, 145
HDBaseT	139, 166
HDCP	163, 195
HDMI	25, 157, 163
HTTP	68, 144
ID 表示	124
IP アドレス	68, 71, 141
L/R 反転	114
LAN	165, 177, 180
LIGHT (リモコン)	29
LIGHT インジケータ	23, 206
MAC アドレス	151
NEC Projector CD-ROM	20, 173
PC Control Utility Pro 4	173, 180
PC Control Utility Pro 5	173, 182
PIP/PICTURE BY PICTURE	82, 116
PIP 設定	116
PJLink	144
POWER インジケータ	23, 205
SLOT	187
SLOT 電源	149
sRGB	104
STATUS インジケータ	23, 205
TEMP. インジケータ	23, 206
Virtual Remote Tool	173, 177

## 五十音

<b>【ア行】</b>	
明るさ	107
アスペクト	110
アドバンストメニュー	94, 132
アラートメール	143
位相	109
色温度	106
色補正	107
インジケータ表示	205
インジケータ表示部	23
映像	104
映像設定 (マルチスクリーン)	122
エコ	56
エッジブレンディング	85, 121
オートパワーオフ	149
オートパワーオン選択	148
オーバースキャン	110
オフタイマー	90, 149
オプションボード	187
オンスクリーンミュート	54
オンスクリーンメニュー	90, 94
温度プロテクタ	206
<b>【カ行】</b>	
カーボンメータ	57
解像度	112, 189
画像設定	108
壁色補正	127
カラー	107
カラー方式	146
ガンマ補正	105
管理者モード	132
キーワード	61, 137
幾何学補正	117
基準ホワイトバランス	129
基準レンズメモリ	74, 130
輝度一定モード (ライトモード)	128
吸気口	21, 22
強制エコモード	57, 90
クローズドキャプション	146
クロック周波数	108
黒レベル (エッジブレンディング)	88, 121
ゲートウェイ	71, 141
言語	36, 124

コントラスト	107
コントロール ID	137
コンピュータケーブル	33, 156, 164
<b>【サ行】</b>	
サブ入力	116
サブネットマスク	71, 141
参照	105
色相	107
自動調整	50
自動調整（入力設定）	145
シャッター設定	129
シャープネス	107
詳細設定	105
情報	151
初期入力選択	39, 146
信号形式	113
スイートビジョン	113
垂直	109
水平	109
スクリーンサイズ（映像）	106
スクリーンサイズ（投写距離）	183, 185
スタッキングホルダー	20, 170
スタック設置	169
スタンバイモード	147
制御	132
静止	54
セキュリティ	61, 137
セキュリティバー	22
接続端子部	22, 25
設置（1）	126
設置（2）	129
セットアップ	124
<b>【タ行】</b>	
台形歪み	58
台形補正	117
ダイナミックコントラスト	106
ダイレクトパワーオン	148
調整	104
調整（ライトモード）	128
チルトフット	21, 49
ツール	132
ツールバー（Virtual Remote Tool）	177
通信速度	137
デインターレース	113
テストパターン	100
電源	35, 51
電源コード	4, 19, 33, 52

電源コードストッパー	34
電源設定	147
電池	29
投写距離	183
投写方法	126
盗難防止用ロック	22
ドメイン	71, 142, 143
<b>【ナ行】</b>	
入力信号	38
入力信号解像度	112
入力設定	145
入力端子	25, 100
入力端子表示	124
ネットワークサービス	144
ネットワーク設定	71, 140
ノイズリダクション	112
<b>【ハ行】</b>	
バックグラウンド	146
ピクチャーインピクチャー	82
ピクチャーバイピクチャー	82
日付と時刻設定	136
表示	116
表示位置入替え	116
表示境界	117
表示時間	125
表示色選択	124
ピンクッション補正	120
ビデオ	112
ビデオレベル	113
ファンモード	90, 128
フォーマット（3D）	114
部分拡大	55
ブランキング	109
プリセット	104
プログラムタイマー	133
プロジェクター調整	69
プロジェクター名	72, 142
ベーシックメニュー	94, 132
防塵キャップ	19, 154
ポートレート	167
ホームポジション	42, 131
ホワイトバランス	106
ホワイトバランス（マルチスクリーン）	122
本体キーロック	136
本体操作部	22, 23

**【マ行】**

マウス設定				136
マルチスクリーン	78,			122
メール通知				143
メニュー設定				124
メニューモード				132
モード				104
モード (エッジブレンディング)				121
モード (表示)				116
文字入力画面				93

**【ヤ行】**

有線 LAN	68,	71,	73,	141
	165			

**【ラ行】**

ライトモード	56,	90,		128
ライト使用時間				151
リセット				150
リセット (映像)				108
リセット (幾何学補正)				120
リセット (基準レンズメモリ)				130
リセット (レンズメモリ)				114
リモコン	19,			27
リモコン受光部	21,			30
リモコン受光部設定				139
レンズ	21,			171
レンズキャップ				21
レンズキャリブレーション	13,	36,		43
	131			
レンズシフト	42,			186
レンズシフト範囲				186
レンズシャッター				53
レンズポジション				131
レンズメモリ	74,	114,		130
レンズユニット	12,	153,		195
レンズユニット盗難防止		22,		155
レンズユニットの種類				183
ロゴ	146,			177

## 本製品に含まれるTOPPERS 適用ソフトウェアの ライセンスについて

本製品には TOPPERS License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属 CD-ROM 内の「about TOPPERS」フォルダ内の readme.pdf をご参照ください。



## 別売品／商標について

### ●別売品

	商 品 名	型 名
レンズユニット	固定焦点レンズ	NP16FL
	ズームレンズ	NP17ZL
	ズームレンズ	NP18ZL
	ズームレンズ	NP19ZL
	ズームレンズ	NP20ZL
	ズームレンズ	NP21ZL
	ズームレンズ	NP31ZL
	固定焦点レンズ	NP39ML
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP15CM
3G/HD/SD-SDI ボード		SB-04HC

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

次ページに続く

## ●商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlend、スイートビジョンは、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe、Adobe PDF、Adobe Reader、および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。
- ・ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の登録商標または商標です。



- ・ DisplayPort, DisplayPort Compliance Logo は Video Electronics Standards Association の商標です。



- ・ HDBaseT は、HDBaseT Alliance の商標です。



- ・ DLP (Digital Light Processing)、BrilliantColor はテキサス・インスツルメンツの商標です。
- ・ PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Extron および XTP は RGB Systems, Inc. (RGB システムズ社)の米国における登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

# 保証と修理サービス（必ずお読みください）

## 保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

### ●保証期間

・本体：お買い上げ日から1年間です。（ただし添付品は除く）

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(🔍200 ページ) に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(🔍207, 208 ページ) で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

### ●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

### ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター
型名	NP-PX803UL-WHJD/ NP-PX803UL-BKJD
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎ ( ) -
-----------	-------------	---------

## 修理料金の仕組み

- ・ **技術料**  
故障した製品を正常に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- +
- ・ **部品代**  
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- +
- ・ **引取費用**  
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの  
トータルサポート窓口

## NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

**受付時間** 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)  
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

**ホームページ** <http://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

### 輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社